

平成 25 年度

岩手県立博物館

年報

# 平成 25 年度博物館年報



## 第 64 回企画展

「いわての光る生きものたち～大震災からの復興の光～」

平成 25 年 6 月 29 日(土)～8 月 18 日(日)

「兵庫県香住高等学校、兵庫県立人と自然の博物館、盛岡ペットワールド  
専門学校とのコラボレーションによるホタルイカイルミネーション」

8 月 9 日(金)撮影

## 目で見る岩手県立博物館この1年



テーマ展「いわての昭和モノがたり  
一戦後復興の軌跡、震災復興への希望」  
平成 25 年 3 月 30 日(土)～5 月 26 日(日)



第 64 回企画展「いわての光る生きものたち～  
大震災からの復興の光～」  
平成 25 年 6 月 29 日(土)～8 月 18 日(日)



テーマ展「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」  
平成 25 年 10 月 1 日(火)～11 月 10 日(日)



移動展「文化・芸術が集うとき in 紫波町」  
平成 25 年 11 月 14 日(木)～11 月 17 日(日)  
紫波町情報交流館



テーマ展「新収蔵資料展  
—2008～2012 新コレクション—」  
平成 25 年 12 月 7 日(土)～平成 26 年 2 月 23 日(日)



テーマ展「比爪—もう一つの平泉—」  
平成 26 年 3 月 15 日(土)～5 月 11 日(日)





こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル  
平成 25 年 6 月 29 日(土)・30 日(日)  
アクアマリンふくしま移動水族館



夏休み子どもツアー  
平成 25 年 8 月 7 日(水) 撮影  
ひかるバッジづくり



全館燻蒸準備  
平成 25 年 9 月 1 日(日)  
第三収蔵庫前



第 1 回防災訓練  
平成 25 年 9 月 1 日(日)  
本館前



館内清掃  
平成 25 年 9 月 10 日(火)  
総合展示室



第 5 回岩手県立博物館まつり  
平成 25 年 10 月 6 日(日)  
「アンダーパス！」と「わんこきょうだい」

## 目 次

目で見る岩手県立博物館この1年

刊行に当たって .....	1
1. 沿革 .....	2
2. 施設の概要 .....	3
3. 博物館協議会 .....	5
4. 予算 .....	5
5. 事業の概要 .....	6
(1) 展示活動 .....	6
(2) 教育普及活動 .....	18
(3) 調査研究活動 .....	32
(4) 資料収集保管活動 .....	42
(5) 総務企画調整 .....	47
6. 文化財レスキュー活動 .....	50
7. 岩手県立博物館友の会 .....	54
8. 博物館入館者利用状況 .....	56
9. 組織及び職員構成 .....	58
10. 岩手県立博物館使命書 .....	59
11. 関係条例・規則等 .....	60

## 刊行にあたって

岩手県立博物館は昭和 55 年の開館以来、県民の学術文化の重要な拠点の一つとして皆様から日頃温かいご支援とご協力を賜っております。はじめに、このことについて深く感謝申し上げます。

東日本大震災津波から 3 年が経過しました。当館では、現在もお文化財等修復作業に携わっております。昨年 1 月にレスキュー作業の成果を展示したテーマ展「2011. 3. 11 平成の大津波被害と博物館」を開催し、好評を博しました。これ迄、ご協力とご支援をいただいた全国の関係機関に感謝の意を込めて、昭和女子大学光葉博物館を皮切りに大阪市立自然史博物館、櫃原市昆虫館、伊丹市昆虫館、江戸東京博物館で巡回展を開催させていただきました。特に江戸東京博物館での開催に当たっては天皇、皇后両陛下に御覧をいただいたことが反響を呼び、多くの方々にご鑑賞いただきました。平成 26 年も兵庫県立歴史博物館、宮崎県総合博物館、最後に全国巡回展を飾るにふさわしい上野の東京国立博物館で開催することになっております。

また、当館のいわて自然史展示室に隣接して被災文化財等保存修復施設の設置を進めておりましたが、お陰様で完了しご来館いただいた皆様に修復作業の様子を見ていただくことができるようになりました。ご期待下さい。これもひとえに、ご支援いただいた皆様の賜です。あらためて感謝申し上げます。

平成 25 年度の活動の中で、展示活動におきましては、企画展「いわての光る生きものたち」の開幕にあわせた「こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル」では、2 日間で 5,000 名を越える来館者をお迎えできました。テーマ展「盛岡藩絵師川口月嶺」は、絵師のまなごしという切り口から充実した内容で、落ち着いた展示会となり好評を博しました。冬期間は、新収蔵資料展開催中でも来館者が少なく寂しい思いをしましたが、年度末から開催した「比爪ーもう一つの平泉ー」は、県民のニーズに応えたテーマ展で、1 日で約 500 名近い入館者を数える日もありました。お陰様で、入館者数は目標数値の 4 万人を超え、約 44,210 人となっております。

教育普及活動におきましては、日曜講座をはじめとした各種講演会、観察会、現地見学会やチャレンジ!はくぶつかん、たいけん教室等の子ども向け事業も多くの参加者を集め、満足度の高い評価を得ております。一昨年、高校の新学習指導要領・教科書と当館の常設展示目録対照表を作成しましたが、今年度は小・中学校分も作成してホームページに掲載し、学校教育との連携強化に取り組みました。

調査研究活動につきましては、研究テーマの見直しを行いながら成果をあげ、学術研究集会や各種学会誌上等での発表に加え、当館刊行の『研究報告』等で広く公表いたしました。その成果は今後の展示や教育普及活動で活用されることとなります。また、文部科学省から科学研究費補助金申請の研究機関として指定を受けました。

資料収集保管活動におきましても、多くの方々からの資料の受贈をはじめとする資料の収集整理、これらを適切に保管管理しながらの県内外の博物館等への貸出等を行いました。加えて、資料の生物学的劣化からの防除や科学分析・保存処理も積極的に推し進めております。

さらには、博物館活動を推進する上記 4 つの活動に加え、博物館活動全体を調整して外部連携を進めながら事業を推進しております。平成 26 年度も引き続き県民の皆様方の学術文化活動の支援を図ってまいり所存ですので、今後とも温かいご協力とご指導をお願い申し上げます。

平成 26 年 4 月

岩手県立博物館長 中山 敏



# 1. 沿革

昭和 48 年 4 月	県教育委員会事務局社会教育課に博物館準備係（3 名）を設置
昭和 48 年 5 月	県庁内に、副知事を委員長とし関係部長等を委員とする博物館調査委員会を設置
昭和 48 年 6 月	博物館資料調査委員（委員 22 名）を委嘱
昭和 48 年 7 月	民意集約機構として博物館建設調査協議会（委員 25 名）を設置
昭和 48 年 8 月	展示内容等の専門的指導助言を得るため、博物館専門委員会（委員 20 名）を設置
昭和 49 年 4 月	県教育委員会事務局に博物館開設準備室（庶務係、学芸班 10 名）を設置
昭和 50 年 5 月	博物館建設調査事務終了に伴い、引続き県立博物館建設委員会（委員 6 名）を設置
昭和 51 年 1 月	県立博物館の建設地を、盛岡市上田字松屋敷四十四田公園地内に決定
昭和 51 年 10 月	建設基本設計の委託を株式会社佐藤武夫設計事務所（東京都）に決定
昭和 52 年 4 月	博物館開設準備室を廃し、博物館建設事務所（総務課、学芸課、工務課、17 名）を設置
昭和 53 年 6 月	起工式
昭和 53 年 10 月	展示工事着手、民家の移築復元工事を財団法人文化財建造物保存技術協会に委託
昭和 54 年 11 月	定礎式
昭和 55 年 7 月	博物館条例公布、館の名称を岩手県立博物館 と決定
昭和 55 年 7 月	コンパニオン（非常勤専門職員 15 名）任用
昭和 55 年 10 月	岩手県立博物館設置
昭和 55 年 10 月	落成記念式典及びマイヨール作「三人の妖精」除幕式（4 日）
昭和 55 年 10 月	岩手県立博物館開館（5 日）
昭和 55 年 10 月	日本博物館協会、全国科学博物館協議会加盟
昭和 56 年 3 月	第 1 回岩手県立博物館協議会開催
昭和 59 年 10 月	皇太子同妃両殿下ご来館（14 日）
昭和 60 年 4 月	財団法人岩手県文化振興事業団発足、岩手県立博物館管理運営を委託
昭和 62 年 5 月	入館者 100 万人を突破（1 日）
平成 元年 3 月	地質総合展示室改修完了
平成 2 年 5 月	岩手県立博物館友の会設立（1 日）
平成 2 年 7 月	歴史古代展示室改修完了
平成 2 年 10 月	開館 10 周年記念特別企画展「北の鉄文化」開催
平成 3 年 2 月	入館者、県民人口を超える（14 日）
平成 3 年 11 月	入館者、150 万人を達成（1 日）
平成 3 年 12 月	歴史中世展示室改修完了
平成 4 年 1 月	コンパニオンの名称「解説員」に
平成 5 年 2 月	秋篠宮同妃両殿下ご来館（5 日）
平成 5 年 3 月	現勢展示室イヌワシの山改修完了
平成 5 年 10 月	国民文化祭いわて'93 記念展「じょうもん発信」開催
平成 5 年 10 月	皇太子殿下ご夫妻ご来館（10 日）
平成 6 年 1 月	「中尊寺黄金秘宝展」開催
平成 6 年 12 月	屋上改修工事完了
平成 8 年 4 月	重要文化財勸告出品館となる
平成 9 年 2 月	重要文化財公開承認施設となる
平成 9 年 7 月	入館者、200 万人を達成（16 日）
平成 9 年 12 月	文化振興事業団 10 周年記念「柳の御所遺跡発掘調査展」開催
平成 10 年 1 月	ハイビジョン室設置
平成 12 年 3 月	収蔵庫等改修工事完了
平成 12 年 3 月	企画展第 50 回目を迎える（「岩手の経塚」）
平成 12 年 10 月	開館 20 周年記念特別企画展「北の馬文化」開催
平成 13 年 5 月	近代美術展示閉鎖（美術館へ移管）
平成 14 年 3 月	マメンキサウルス（モシリユウ）全身骨格複製標本展示
平成 18 年 4 月	施設等の管理部門に「指定管理者制度」導入。（財）岩手県文化振興事業団が指定管理者となる
平成 21 年 1 月	入館者、250 万人を達成（10 日）
平成 21 年 4 月	（財）岩手県文化振興事業団が 2 期目の指定管理者となる
平成 22 年 1 月	外部階段改修工事完了
平成 22 年 10 月	開館 30 周年記念特別企画展「いわての漆」開催
平成 23 年 3 月	美化事業完了
平成 24 年 4 月	（公財）岩手県文化振興事業団が 3 期目の指定管理者となる
平成 24 年 12 月	秋篠宮同妃両殿下ご来館（20 日）
平成 25 年 1 月	岩手県議会商工文教委員会現地調査（22 日）
平成 26 年 3 月	文部科学大臣から科学研究費補助金規程に規定する研究機関に指定される（20 日）
平成 26 年 3 月	仮設陸前高田市立博物館被災文化財等保存修復施設設置（建築面積 115.22 m <sup>2</sup> 、延床面積 230.44 m <sup>2</sup> ）



## 2. 施設の概要

### (1) 建築の概要

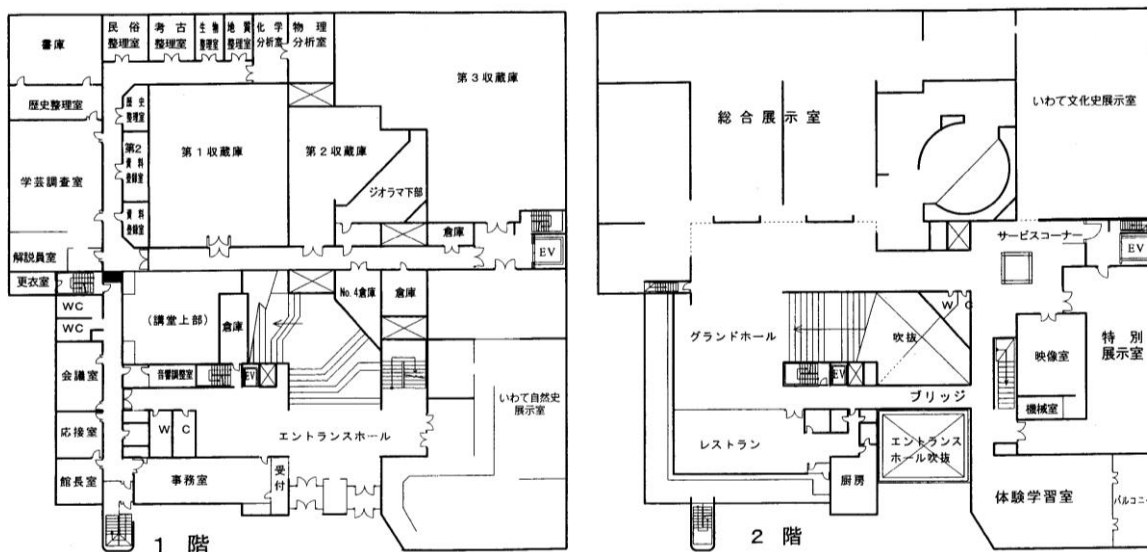
〈総工事費〉 44億3,000万円

〈工期〉 ●着工 昭和53年3月15日 ●完成 昭和55年9月30日

〈建築概要〉 ●敷地面積 53,112.78㎡ ●建築面積 5,192㎡ ●延床面積 12,051.56㎡

※仮設施設の面積等は含んでいない

### (2) 配置図・展示室等平面図

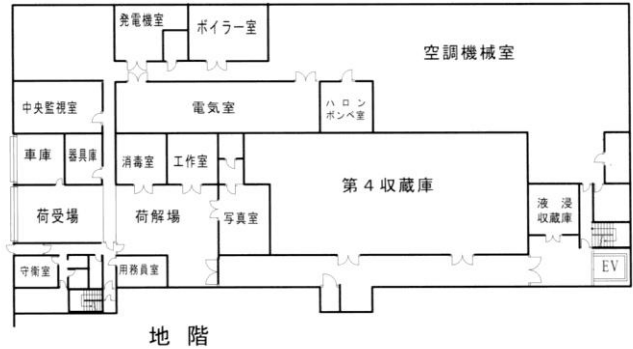




中地階平面図



地階平面図



(3) 各室面積表

部屋名		面積(m <sup>2</sup> )	部屋名		面積(m <sup>2</sup> )	部屋名		面積(m <sup>2</sup> )
地階	空調機械室	766.09	1階	いわて自然史展示室	729.27	2階	総合展示室	1,553.85
	発電気室	50.26		パネル倉庫	35.56		県土の誕生	102.35
	蓄電気室	9.71		風除室	3.21		いわての夜明け	187.60
	ボイラー室	64.36		受付	18.65		いわてのあゆみ	743.20
	中央監視室	64.67		印刷室	8.50		庶民のくらし	210.00
	電話交換機室	8.89		事務室	116.01		いわての今	310.70
	電気室	142.54		館長室	43.33		いわて文化史展示室	489.07
	ハロンポンベ室	37.86		応接室	41.40		ミニプラザ(1)	210.42
	消火栓ポンベ室	17.14		会議室	64.23		ミニプラザ(2)	129.50
	エレベーター機械室	20.52		倉庫	14.25		特別展示室	292.20
	第4収蔵庫	464.48		身障者便所	6.47		映像室	124.00
	第5収蔵庫(液浸)	39.72		No.3便所	43.85		No.4便所	30.11
	エレベーターシャフト	18.24		No.2便所	39.67		体験学習室	217.17
	車庫	38.33		音響調整室	20.84		厨房	54.93
	器具庫	25.24		同上前室	10.28		休憩室	160.08
	消毒室	37.86		予備室	32.07		休憩室便所	10.98
	工作室	35.90		ロッカー室	10.45		厨房事務室	10.24
	暗室	11.91		女子更衣室	20.55		厨房便所	4.16
	作業室	4.06		学芸調査室	236.04		食品庫	6.90
	写真室	52.94		歴史整理室	59.21		グランドホール	213.66
	荷受場	79.63		書庫	113.36		階段・廊下・その他	618.20
	荷解場	113.75		民俗整理室	35.84		小計	4,125.47
	用務員室	26.39		考古整理室	35.84		塔屋	133.44
	守衛室	18.00		生物整理室	25.10		合計	12,051.56
	宿直室	21.17		地質整理室	25.20			
	湯沸室	3.81		歴史整理室	35.43			
	浴室	5.71		第1資料登録室	21.90		●展示面積	3,404.31 m <sup>2</sup>
便所	6.75	化学分析室	41.66	●収蔵庫面積	1,665.98 m <sup>2</sup>			
タラップ室	6.75	物理分析室	53.94	●学芸調査室	236.04 m <sup>2</sup>			
フォークリフト置場	12.75	第2資料登録室	20.72	●研究室	274.91 m <sup>2</sup>			
廊下・階段・その他	280.32	第1収蔵庫	365.15					
小計	2,485.75	第2収蔵庫	188.25					
中地階	いす保管庫	98.61	第3収蔵庫	608.38				
	外部用倉庫	20.38	倉庫	9.18				
	教室	81.07	No.4倉庫	42.69				
	準備室	22.83	ジオラマ下部	119.13				
	実技室	115.66	グランドホール	133.19				
	便所	29.02	ロビー1	101.79				
	講堂	164.09	ロビー2	35.84				
	効果室	14.50	階段・廊下・その他	888.10				
	ホワイエ	68.29	小計	4,454.53				
	タラップ室	5.14						
	廊下・その他	232.78						
	小計	852.37						

### 3. 博物館協議会

岩手県立博物館協議会は、館長の諮問に応じ、博物館の運営に関し調査審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置されている。平成 25 年度の開催期日・協議事項は次のとおりである。

期日：平成 25 年 11 月 22 日（金）

場所：岩手県立博物館会議室

- 協議事項
- ・平成 24 年度博物館協議会の意見等への対応状況について
  - ・平成 25 年度博物館事業実施状況について
  - ・平成 26 年度博物館事業計画（案）について
  - ・運営全般について

#### 岩手県立博物館協議会委員名簿（任期 平成 27 年 6 月 22 日まで）（平成 26 年 3 月 31 日現在）

氏名	職	分野
佐藤 典子	盛岡市立山王小学校長	学校教育 県小学校長会
高橋 清之	盛岡市立巻堀中学校長	学校教育 県中学校長会
工藤 良裕	岩手県立盛岡第四高等学校長	学校教育 県高等学校長協会
佐々木 訓	岩手県青年団体協議会副会長	社会教育
野田 和子	NPO法人岩手県地域婦人団体協議会副会長	社会教育
米澤 慎悦	一般社団法人岩手県PTA連合会顧問	社会教育
齋藤 桃子	石神の丘美術館主任学芸員	学識経験者 県博物館等連絡協議会
遠藤 健悦	八幡平市教育委員会教育長	学識経験者 県市町村教育委員会協議会
前田 千香子	岩手県立博物館友の会会員	学識経験者 県博物館友の会
鈴木 多聞	(株)岩手日報社編集局学芸部次長	学識経験者
名越 利幸	岩手大学教授	学識経験者
遠山 稿二郎	岩手医科大学教授	学識経験者
飯坂 真紀	画家・民俗芸能研究者	学識経験者
齋藤 めぐみ	盛岡ふるさとガイドの会会員	学識経験者

### 4. 予算

（単位：千円）

項目	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
管理運営費	183,612	178,948	179,862	179,923	177,931	174,216	175,957	170,462
総務企画調整費								5,243
展示活動費	18,370	20,753	13,763	17,227	16,120	13,372	17,775	11,673
資料収集保管活動費	44,683	43,032	40,755	41,866	43,020	41,262	40,659	40,319
調査研究活動費	5,042	5,069	5,069	4,012	4,012	4,487	4,811	7,273
教育普及活動費	3,993	3,993	4,504	4,504	4,888	5,465	5,450	1,987
計	255,700	251,795	243,953	247,532	245,971	238,802	244,652	236,957
項目	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
総務企画調整費	3,759	4,172	3,945	3,782	5,317	4,471	3,984	3,807
展示活動費	10,074	7,090	10,826	8,115	3,949	7,443	6,619	6,811
資料収集保管活動費	29,894	27,599	21,846	21,983	22,817	20,911	21,109	21,446
調査研究活動費	7,326	7,585	7,276	7,304	7,556	6,921	6,703	6,611
教育普及活動費	1,633	1,683	1,798	1,558	1,616	1,664	1,770	1,515
業務管理費	37,699	34,282	34,155	33,251	32,439	32,122	32,529	33,880
指定管理者事業費	127,861	130,034	129,269	132,832	131,395	132,600	130,502	130,401
計	218,246	212,445	209,115	208,825	205,089	206,132	203,216	204,471

- ※ 1 職員の人件費を除く  
 2 予算は、いずれも各年度の当初予算である。  
 3 総務企画調整は 17 年度から項目を起こした。  
 4 18 年度から、指定管理者制度が導入されたことにより業務管理費・指定管理者事業費の項目を起こした。

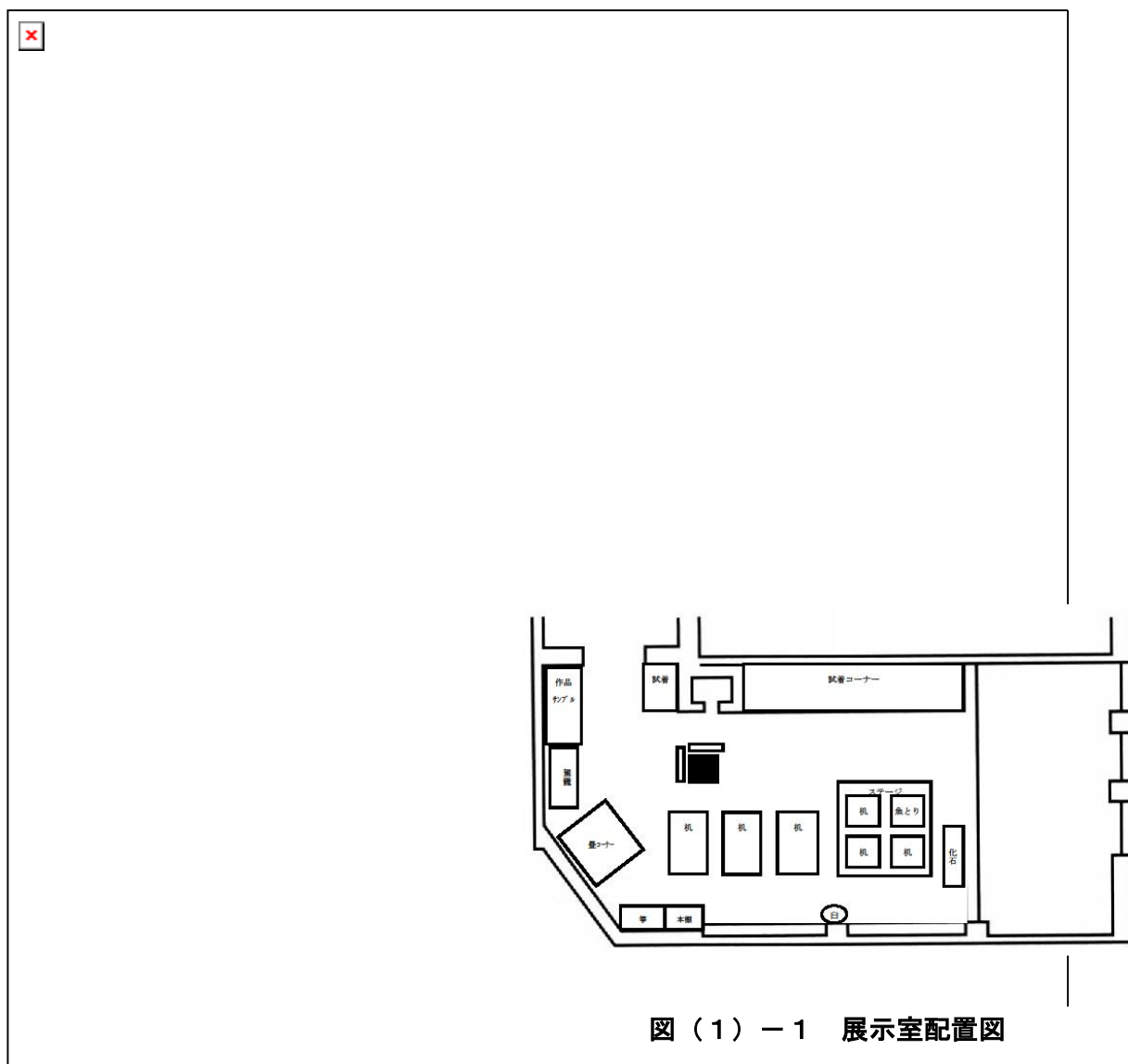
## 5. 事業の概要

### (1) 展示活動

開館以来、県民の皆様からの寄贈資料や学芸員が自ら収集してきた資料、及び入手が困難なものについては購入等による資料収集活動を行ってきた。平成 25 年度（2013 年）までに収蔵されている博物館資料の総点数は、約 25 万点以上にのぼる。その中で、常設展示として展示されているものはわずか 2,000 点程度に過ぎず、残りは収蔵庫に保管されている。収蔵庫保管資料については劣化防止、季節や年中行事にあわせた資料など展示替えの際に活用されている。

総合展示室では、地質・考古・歴史・民俗・生物の各部門に関連する展示資料が、いわて文化史展示室には民俗・歴史・考古部門に関連する展示資料が、いわて自然史展示室には地質・生物など自然史に関するより専門的な資料が展示され、充実した展示内容となっている。

平成 25 年度は、企画展「いわての光る生きものたち ～大震災からの復興の光～」、テーマ展「いわての昭和モノがたりー戦後復興の軌跡、震災復興への希望ー」、「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」、「新収蔵資料展ー2008～2012 新コレクションー」、「比爪ーもう一つの平泉ー」を開催した。また、岩手県文化振興事業団による埋蔵文化財センター・県立美術館等との合同移動展を紫波町で開催した。



## ア. 展示構成

### エントランスホール

- ・兜蹴毘沙門天立像
- ・モシリユウとマメンキサウルス
- ・岩手の眺望

### 総合展示室

#### ●県土の誕生(地質)

##### 1 県土のおいたち

- ① 東北地方の地下断面
- ② 気仙隕石
- ③ 岩手県の地質と岩石

##### 2 いわたの古生物相の変遷

- ④ 生命史以前
- ⑤ 古生代の生きもの
- ⑥ 中生代の生きもの
- ⑦ 古第三紀～中生代の生きもの
- ⑧ 鮮新世～第四紀の生きもの

#### ●いわての夜明け(考古)

##### 3 旧石器時代

- ⑨ 氷河期の人びと

##### 4 土器の時代

- ⑩ 岩手の縄文土器
- ⑪ 貝塚の形成
- ⑫ 埋葬と装飾品
- ⑬ 縄文人の暮らし
- ⑭ 大洞文化

##### 5 稲作を始めた時代

- ⑮ 弥生文化と岩手

##### 6 古墳を築いた時代

- ⑯ 拓かれる北上平野
- ⑰ 群集墳
- ⑱ 集落と住居
- ⑲ 生産技術の変革

#### ●いわての歩み(歴史)

##### 7 蝦夷から奥州藤原氏へ(古代)

- ⑳ 古代の城柵
- ㉑ 安倍氏の台頭
- ㉒ 奥州平泉とその文化

##### 8 戦乱の時代とその文化(中世)

- ㉓ 文治五年奥州合戦
- ㉔ 豪族たちの動きと庶民
- ㉕ 新しい仏教文化
- ㉖ 九戸政実の乱

##### 9 藩政時代の人々(近世)

- ㉗ 藩政の確立
- ㉘ 凶作と一揆
- ㉙ 盛岡城と町づくり
- ㉚ 産金と製鉄

- ㉛ 南部と馬
- ㉜ 街道と舟運
- ㉝ 藩学と寺子屋
- ㉞ 先駆者たち
- ㉟ 維新前夜

##### 10 進む近代化(近代)

- ㊱ 生活の洋風化
- ㊲ 岩手県の誕生

##### 11 古美術

- ㊳ 鐺
- ㊴ 絵画・工芸
- ㊵ 刀剣
- ㊶ 絵画・工芸
- ㊷ 絵画

#### ●庶民のくらし(民俗)

##### 12 家のくらし

- ㊸ いろり
- ㊹ 正月の行事
- ㊺ 庶民の信仰

##### 13 働く人びと

- ㊻ 農村の人びと
- ㊼ 漁村の人びと
- ㊽ 山村の人びと

##### 14 まつりと芸能

#### ●いわての今(現勢・生物)

##### 15 わたしたちの郷土いわて

- ㊾ 岩手県地形模型
- ㊿ 岩手の四季
- ㉀ 県の鳥・木・花

##### 16 恵まれた自然

- ㉁ 岩手の風土
- ㉂ 山や川の生き物
- ㉃ イヌワシの山
- ㉄ 豊かな海

### いわての自然史展示室

- ① 大地の中の小さな輝き  
— 鉱物コレクション —
- ② 地球史の中の岩手の自然
- ③ 海にもどって大進化
- ④ 海の哺乳類
- ⑤ 空に向かって大進化
- ⑥ 水辺の生きもの
- ⑦ 日本のキツツキと希少な鳥獣
- ⑧ 早池峰山の自然
- ⑨ 大空の覇者ワシ・タカの世界
- ⑩ 写真でみる岩手の自然

### いわて文化史展示室

#### 考古

- ① 岩手の土器
- ② 北上山系の洞穴遺跡
- ③ 岩手の石器と鉄器
- ④ 三陸の貝塚
- ⑤ 豊岡遺跡
- ⑥ 柳之御所遺跡

#### 歴史

- ⑦ 中国古印
- ⑧ 信仰
- ⑨ 近代
- ⑩ 板碑
- ⑪ 江戸時代の貨幣
- ⑫ 藩政時代の村

#### 民俗

- ⑬ 南部小絵馬
- ⑭ オンラサマ
- ⑮ まいりのほけ
- ⑯ 郷土料理
- ⑰ いわたの民芸
- ⑱ 南部絵暦
- ⑲ むかしの暮らし大図鑑
- ㉑ いわたの民俗

### 体験学習室

- ① 「身につける」
- ② 「ためす」
- ③ 「遊ぶ」

### 屋外展示

#### 民家

- ・直屋 旧藤野家住宅(重文)  
奥州市江刺区伊手御堂
- ・曲屋 旧佐々木家住宅(重文)  
下閉伊郡岩泉町指畑

#### 散策広場

- ・植物園(県内の植物等 345 種)
- ・岩石園  
(火山岩、変成岩、堆積岩 49 種)

## イ. 常設展示の展示替え及び展示コーナーの新規開設

常設展示では、長期の展示による資料の劣化防止、季節や年中行事などにあわせた展示のため、展示替えを行っている。主な展示替えは以下のとおりである。



表(1)－1 平成25年度の主な展示替え

No.	展示場所	テーマ	展示資料	期日
1	総合展示室「いわての夜明け」(考古)	展示替え(大洞文化コーナー)	縄文時代の土面 1点	25.4.12～
2	総合展示室「庶民のくらし」(民俗)	トピック展「端午の節供～館蔵人形コレクション～」	武者人形2種4点、花巻人形12点 計16点	25.4.16～ 5.19
3	総合展示室「いわての歩み」(歴史)	展示替え	紺糸威最上胴具足 1点	25.4.16～ 8.18
4	総合展示室「いわての歩み」(歴史)	展示替え(古美術コーナー)	前九年合戦図屏風、後三年合戦絵巻、銀装衛府太刀拵、亀甲花菱紋鶴高蒔絵鞍鐙 計4点	25.4.23～ 8.18
5	いわて文化史展示室(民俗)	展示替え(むかしの暮らし大図鑑)	蠅取り器と膳、リボンハイトリ、蠅帳、蚊遣り豚、かき氷器と食器・スプーン、扇風機 計10点	25.4.27～ 10.12
6	いわて文化史展示室(歴史)	展示替え	荒川文助ポスターなど	25.5.20～ 8.31
7	いわて文化史展示室(歴史)	展示替え(明治の殖産興業と岩手：近代コーナー)	錦絵ほか摺物5点、簿冊3点、貨幣7点、夜会服2点 計17点	25.5.20～ 8.31
8	ミニプラザ(民俗)	トピック展「馬の玩具～館蔵コレクション～」	県内の玩具8種9点、県外の玩具6種11点 計20点	25.5.28～ 6.17
9	体験学習室	新設(みにつけるコーナー)	エジコ1点、草履2点、雪ぐつ1点 計4点	25.6.1～
10	いわて文化史展示室(考古)	トピック展「野田村蒲沢遺跡～震災復興事業関連遺跡調査速報～」	蒲沢遺跡出土資料(土師器、土製紡錘車、琥珀、黒曜石製石器など)、上新山遺跡出土巖手刀 計27点	25.6.26～ 8.31
11	体験学習室	七夕かざり	参加型展示	25.7.2～ 8.7
12	ミニプラザ(民俗)	トピック展「夏の風物詩 ほたるかご」	蛍籠 附屏風〔村田英作氏蔵〕 1点	25.7.20～ 8.25
13	いわて自然史展示室(生物)	トピック展「みんなで救った生物標本」	陸前高田市立博物館所蔵標本・陸前高田市海と貝のミュージアム旧蔵標本	25.7.23～ 9.22
14	体験学習室	季節の折り紙 せみ	参加型展示	25.8.8～ 8.31
15	ミニプラザ(文化財科学)	文化財レスキュー関連展示「再生へ向かう三陸の文化財」コーナー	8インチ砲弾1点〔釜石市郷土資料館蔵〕、青い目の人形1点〔陸前高田市立気仙小学校蔵〕 計2点	25.8.13～ 10.31
16	総合展示室「いわての歩み」(歴史)	展示替え「川口月嶺」(古美術コーナー特集展示)	猪図、孔雀図、猿まわし図、藤に亀の図ほか 計15点	25.8.20～ 12.1
17	いわて文化史展示室(考古)	展示替え	野田村根井貝塚出土資料 計47点	25.8.24～
18	ミニプラザ(民俗・日本民俗建築学会)	民家展「盛岡街角スケッチ 廣内勝志展」		25.9.11～ 10.14
19	総合展示室「いわての歩み」(歴史)	展示替え(蝦夷から奥州藤原氏〔古代〕コーナー)	鉄鋳物製内耳鉄鍋(柳之御所遺跡出土、重要文化財) 1点	25.9.11～
20	総合展示室「いわての今」(生物〔現勢〕)	新設	蛍光メダカ、蛍光サンゴ展示水槽	25.9.11～
21	体験学習室	季節の折り紙 うさぎ	参加型展示	25.9.12～
22	総合展示室「いわての歩み」(歴史)	展示替え(古美術コーナー)	太刀 銘「助真」(重要文化財)1点、太刀 無銘(伝一文字)1点 計2点	25.9.12～ 26.3.16
23	総合展示室「いわての今」(生物〔現勢〕)	新設(いわての森コーナー)	ツキヨダケ発光ジオラマ	25.9.15～
24	いわて自然史展示室(生物)	新設	皮製ヒメボタル拡大模型	25.9.15～
25	いわて自然史展示室(地質)	久慈産恐竜についてレプリカと解説を追加。	久慈産恐竜化石複製5点	25.9.20～
26	いわて自然史展示室(生物)	トピック展「みんなで救った生物標本」(展示替え)	陸前高田市立博物館所蔵標本・陸前高田市海と貝のミュージアム旧蔵標本	25.9.24～ 11.17
27	体験学習室	季節の折り紙 きのこ	参加型展示	25.10.2～
28	体験学習室	新設(みにつけるコーナー)	乳幼児用の陣羽織・野良着・ちりめん製兜 計3点	25.10.2～
29	いわて文化史展示室(民俗)	展示替え(むかしの暮らし大図鑑)	ドンコ汁複製、釜敷き、白金懷炉、湯たんぼ、豆炭アンカ、鉄瓶、豆炭、長火鉢 計8点	25.10.13～

30	いわて文化史展示室(歴史)	展示替え(岩手の自由民権運動:近代コーナー)	錦絵「地方官会議之図」など3点、簿冊「求我社『盛岡新誌』」など4点、一紙物「演説会届出状」など2点、衆議院議員投票函 計10点	25.10.29～ 26.1.26
31	体験学習室	季節の折り紙 サンタさん	参加型展示	25.11.13～
32	総合展示室「いわての歩み」(歴史)	展示替え	縦矧桶川五枚胴具足(七戸南部家伝来) 1点	25.11.19～ 26.3.16
33	いわて自然史展示室(生物)	トピック展「みんなで救った生物標本」(展示替え)	陸前高田市立博物館所蔵標本・陸前高田市海と貝のミュージアム旧蔵標本	25.11.19～ 26.1.26
34	ミニプラザ(文化財科学)	文化財レスキュー関連展示「再生へ向かう三陸の文化財」コーナー	文化財レスキューに関するパネルと釜石製鉄所製銚鉄など2点	25.11.30～
35	総合展示室「庶民の暮らし」(民俗)	トピック展「原家の祝い膳」	原敬家の祝い膳 2点	25.12.6～ 26.1.13
36	いわて自然史展示室(地質)	展示替え	三陸ジオパーク認定に関するパネル2枚、及び幟1点	25.12.12～
37	総合展示室「いわての歩み」(歴史)	展示替え(古美術コーナー)	鉄瓶「桜に鳥図鉄瓶(二代高橋萬治作)」など2点、鐺「馬透鐺(銘 武州住正恒作)」1点、屏風「龍図屏風(小野寺周徳筆)」1点、掛幅「盛岡城・桜馬場・御薬園図(狩野存信筆)」など3点ほか 計16点	25.12.17～ 26.3.23
38	総合展示室「庶民の暮らし」(民俗)	トピック展「土人形～正月縁起物づくし～」	花巻土人形 13点	25.12.17～ 26.2.16
39	ミニプラザ(民俗)	展示替え	馬にまつわる信仰・芸能を紹介するパネル4枚、馬っこつなぎ版木 1点	25.12.17～ 26.3.23
40	いわて自然史展示室(生物)	新設	吊り下げ式ヒロビレイカに襲われるハダカイワシ模型	25.12.28～
41	体験学習室	季節の折り紙 つる	参加型展示	26.1.5～
42	ミニプラザ(総務課)	冬の写生会作品展展示会		26.1.25～ 2.16
43	いわて文化史展示室(歴史)	展示替え(20世紀の戦争と岩手:近代コーナー)	陸軍軍服(平服)、陸軍軍服(礼服)、巡査用サーベル、憲兵服一式、一七年度防空用防毒面、警防役割分担表示板、盛岡空襲の砲弾等、錦絵「騎馬天覧図」、ポスター「東亜新秩序建設」など戦争画6点 計14点	26.1.28～
44	総合展示室「いわての今」(生物[現勢])	新設	吊り下げ式ゲンジボタル拡大模型、岩手県産ホタル3種発光説明装置	26.1.4～
45	いわて自然史展示室(生物)	トピック展「みんなで救った生物標本」(展示替え)	陸前高田市立博物館所蔵標本・陸前高田市海と貝のミュージアム旧蔵標本	26.1.28～ 3.30
46	グランドホール(地質)	トピック展「新燃岳の火山噴火」	爆発的噴火の写真と火山噴出物(噴石と降下火山灰)	26.2.5～ 3.5
47	いわて文化史展示室(歴史)	展示替え	盛岡領絵図、國統全圖 官處割分 度里數附、鹿角・二戸・三戸・九戸郡絵図 計3点	26.2.5～
48	総合展示室「庶民の暮らし」(民俗)	トピック展「ひいなを愛でる」	くくり雛11点、古今雛2組4点、享保雛1組2点、小道具8点 計25点	26.2.18～ 4.6
49	総合展示室「いわての夜明け」(考古)	展示替え(大洞文化コーナー)	一戸町蒔前遺跡出土縄文土器(重要文化財)	26.2.28～
50	総合展示室「いわての歩み」(歴史)	展示替え	卯花威紅羅紗地唐獅子牡丹文二枚胴具足(岩手県指定有形文化財、南部利正所用) 1点	26.3.18～
51	いわて自然史展示室(地質)	展示替え(「地球史の中の岩手の自然」「いわて地球科学学習室」コーナー)	解説パネル等5点	26.3.18～
52	いわて自然史展示室(地質)	展示替え(「地球史の中の岩手の自然」「地質観察会の歩み」コーナー)	解説パネル等7点	26.3.18～
53	いわて自然史展示室(地質)	展示替え(「早池峰山の自然」の「早池峰山の生いたち」コーナー)	解説パネル1点および地質図1点	26.3.18～

54	総合展示室「いわての歩み」 (歴史)	展示替え (古美術コーナー)	桜に山鳥蒔絵冠台 (盛岡南部家伝来)、吉野山蒔絵文台・硯箱 (伝盛岡南部家伝来)、二代歌川広重画『新撰花鳥尽』の内「さくらに百舌鳥」、山鳥・桜図 罌、狩野存信筆「桜之図」、岩手焼 酒器ほか	26. 3. 25～
55	総合展示室「いわての今」 (生物[現勢])	新設	岩手県産発光性深海魚ボックス	26. 3. 31～
※資料貸出等に伴う展示替えは不掲載。				

## ウ. 特別展示の概要

平成 25 年度は以下の企画展・テーマ展等を開催した。合同移動展は公益財団法人岩手県文化振興事業団主催の事業で、当館・美術館・県民会館・埋蔵文化財センターの 4 事業所が共同で紫波町を会場として行ったものである。

表(1)－2 平成 25 年度の企画展・テーマ展・特別展

	種 別	名 称	会 期
(ア)	テーマ展	「いわての昭和モノがたり －戦後復興の軌跡、震災復興への希望－」	平成 25 年 3 月 30 日(土)～5 月 26 日(日)
(イ)	企画展	「いわての光る生きものたち ～大震災からの復興の光～」	平成 25 年 6 月 29 日(土)～8 月 18 日(日)
(ウ)	テーマ展	「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」	平成 25 年 10 月 1 日(火)～11 月 10 日(日)
(エ)	移動展	「文化・芸術が集うとき in 紫波町」	平成 25 年 11 月 14 日(木)～11 月 17 日(日)
(オ)	テーマ展	「新収蔵資料展 －2008～2012 新コレクション－」	平成 25 年 12 月 7 日 (土)～平成 26 年 2 月 23 日(日)
(カ)	テーマ展	「比呂－もう一つの平泉－」	平成 26 年 3 月 15 日(土)～5 月 11 日(日)

### (ア) テーマ展「いわての昭和モノがたり－戦後復興の軌跡、震災復興への希望－」

会期：平成 25 年 3 月 30 日 (土)～平成 25 年 5 月 26 日 (日)

会場：特別展示室・ミニプラザ

会期中の入館者数：5,252 人 (このうち平成 25 年度分の入館者数 4,918 人)

#### 【展示内容】

#### 第 1 章 敗戦からの再建

昭和 20 年代を中心として、終戦直後のいわての動向について、政治・産業・商業活動・文化の復興という観点より紹介した。

主な展示資料：高村光太郎「岩手の人」原稿、富士製鐵釜石製鉄所第八高炉火入れ記念文鎮、更生市場関係資料、多賀神楽関係資料

#### 第 2 章 高度成長の時代

昭和 30 年代から 40 年代を中心に、電化が人々の生活を大きく変えていった様子を、当時生産された電化製品をはじめとする資料から紹介した。またいわての戦後復興を象徴するイベントの一つである昭和 45 年岩手国体についてもあわせて紹介した。

主な展示資料：電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ、岩手国体役員ユニフォーム

#### 第 3 章 めん王国の誕生！

いずれも戦後復興のなかで現在のスタイルが確立された、「三大麺」とよばれるわんこそば、冷麺、じゃじゃ麺の歴史をたどることで、前章までとは違う視点から戦後のいわてのあゆみを紹介した。

主な展示資料：570 杯のわんこそば用椀、木製製麺機、じゃじゃ麺製造用鍋、馬場勝彦氏関連資料

#### 第4章 平成のなかの昭和

昭和という時代が終わり四半世紀が過ぎた現在、昭和という時代がどのように評価され、活用されているか、東日本大震災後に新たに見出された価値観もふまえながら紹介した。

主な展示資料：ポーズ人形、ブリキ製玩具、手回し洗濯機、井上ひさし氏母、兄の書簡及び関連資料

※以上に加え、会期中ミニプラザにおいて、昭和45年岩手国体の写真パネル展、岩手県宮古市在住の人形作家、佐々木昇子氏の作品による「昭和の風景展」を実施した。

#### 【関連事業】

##### ①ミュージアムシアター

4月6日(土) 13:30~15:00 「映像でみる昭和」 視聴者43人

5月4日(土) 13:30~15:00 「昭和のヒーロー特集」 視聴者63人

##### ②関連講演会

1 「朝鮮半島における炸醬麵の定着と新たな展開」 林史樹氏(神田外語大学教授)

4月14日(日) 13:30~15:00 聴講者36人

2 「いわての昭和モノがたり」 目時和哉(当館学芸調査員) 5月12日(日) 13:30~15:00

聴講者24人

3 「岩手県復興と井上ひさし」 石井正己氏(東京学芸大学教授) 5月25日(土) 13:00~14:30

聴講者29人

##### ③展示解説会

3月30日(土) 14:30~15:30 参加者13人

4月29日(月・祝) 14:30~15:30 参加者12人

5月25日(土) 14:30~15:30 参加者10人

#### 【印刷物】

1 ポスター B2判4色刷 500枚

2 リーフレット A4判表面4色裏面1色刷 13,000枚

3 パンフレット A4判全頁4色刷 16頁 1,000部

※GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)の助成を受けて作成し、沿岸部の教育機関・文化施設等に無償配布した。

#### (イ) 第64回企画展「いわての光る生きものたち ~大震災からの復興の光~」

ホタルを導入として、日頃目にすることのない発光バクテリアをはじめとする生物発光の美しさに触れ、発光魚やホタル類などの光コミュニケーションまでの進化を紹介した。また、岩手の発光生物を取り巻く環境の変化に触れながら、人類が医療などへと発光生物の利用を拓げている現状を報告する展覧会を実施した。

会期：平成25年6月29日(土)~8月18日(日)

会場：特別展示室・ミニプラザ

会期中の入館者数：15,510名(巡回展の入館者人数は含まない。)



## 〔主な展示内容〕

### I プロローグ ホタルの木

マレーシアのホタルの木プテロプティックス・テナー標本（横須賀市自然・人文博物館蔵）、インドネシアのホタルの木プテロプティックス・エフルゲンス発光写真（大場蛍研究所）、プテロプティックス・エフルゲンス拡大模型（岩手県立博物館制作）など

### II なぜ、光る？

発光バクテリア培養フラスコ（長崎大学 和田実氏協力）、ヤコウタケ生体展示（八丈島観光リクリエーション研究会・名古屋市科学館協力）、岩手のブナ原生林内のツキヨタケディスプレイ（岩手県立博物館制作）、ウミホタル発光実験水槽（大洗水族館協力）、ウミホタル及びヤコウチュウ拡大模型（兵庫県立人と自然の博物館蔵）、ウミホタルの発光及び生息環境ディスプレイ（岩手県立博物館制作）、イソミミズ発光写真（名古屋大学 大場裕一氏）、東北沖産マルアオメエソ・エゾイソアイナメ発光動画（岩手県立博物館蔵）、東北沖産他発光性深海魚液浸標本・写真（北海道大学蔵）、フジクジラ発光写真とミノエビ発光動画（沖縄美ら海水族館蔵）、チョウチンアンコウ発光動画（新江ノ島水族館蔵）、ヒカリキンメダイ・マツカサウオ生体展示（岩手県立博物館制作）、ヘイケボタル生体展示（桐蔭学園高等学校 池谷氏協力）など

### III 光る生きものを取り巻く環境

日本のヒメボタル標本（兵庫県立人と自然の博物館蔵）、ホタル生息環境ジオラマと体験型ホタル発光装置（岩手県立博物館制作）、世界と日本のホタル標本（横須賀市自然・人文博物館蔵）、岩手県産ヒメボタル革製拡大模型（岩手県立博物館制作）など

### VI エピローグ 人と光る生きもの

GFP遺伝子導入カイコのマユと絹糸（農業生物資源研究所）、GFP遺伝子導入メダカ生体展示（基礎生物学研究所 NBRP Medaka）、ホタルの浮世絵（名古屋大学 大場裕一氏）、ホタルかご（大場蛍研究所）、東日本大震災被災エゾイソアイナメ・フジクジラ・ツキヨタケ液浸標本（陸前高田市立博物館蔵）など

（トピック展示）佐藤嘉宏氏・小原 玲氏ホタル写真

## 〔関連事業〕

### 1 展示解説会

平成 25 年 6 月 30 日（日）、7 月 21 日（日）、8 月 10 日（土）いずれも 14:30～15:30 参加者延べ 108 人

### 2 こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル

平成 25 年 6 月 29 日（土）・30 日（日）いずれも 9:30～16:00 参加者 5,061 人

### 3 ミュージアムシアター（ホタル特集）

平成 25 年 7 月 6 日（土）、8 月 3 日（土）いずれも 13:30～15:00 参加者延べ 94 人

### 4 たいけん教室（光るバッジづくり）

平成 25 年 7 月 7 日（日）13:00～14:30 参加者 41 人

### 5 ひかりフォーラム

平成 25 年 7 月 14 日（日）10:00～12:00 参加者 35 人

### 6 第 66 回自然観察会

平成 25 年 7 月 14 日（日）13:30～20:45 参加者 41 人

### 7 さかなクン特別トークショー

平成 25 年 7 月 25 日 (木) 13:00~14:00 参加者 148 人

#### 8 光の実験室

平成 25 年 7 月 27 日 (土)、7 月 28 日 (日) いずれも 11:30~12:00、14:00~14:30 参加者延べ 135 人

#### 9 深海生物ペーパークラフト教室

平成 25 年 8 月 3 日 (土) 10:00~12:00、13:00~15:00 参加者延べ 197 人

#### 10 記念講演会[兼日曜講座]

平成 25 年 8 月 11 日 (日) 13:30~15:00 「ホテルの点滅の不思議 -地球の奇跡、復興への光-」大場信義氏(大場蛸研究所所長) 参加者 38 人

#### 11 巡回展

平成 25 年 8 月 28 日 (水)~9 月 2 日 (月)9:00~16:30 宮古市 (岩手県立水産科学館) 入館者数 650 人

平成 25 年 9 月 5 日 (木)~9 月 8 日 (日)9:00~18:00 久慈市 (もぐらんぴあ・まちなか水族館)

入館者数 1,293 人

#### 〔事業成果物〕

- 1 企画展ポスター B2 判 4 色 800 部
- 2 企画展リーフレット A4 判 4 色 80,000 部
- 3 企画展図録 A4 判 38 ページ 500 部 (配布用 300、販売用 200)
- 4 ひかりフォーラム資料 A4 判 ページ 100 部 (配布用 100)
- 5 巡回展ポスター A1 判 4 色 110 部
- 6 巡回展リーフレット A4 判 4 色 3,000 部
- 7 巡回展資料 A4 判 ページ 600 部 (配布用 600)
- 8 企画展展示解説アプリケーション 一式
- 9 発光生物の光る缶バッジ 6 種 32mm サイズ 1,200 個
- 10 発光性深海生物ペーパークラフト 3 種 900 部

以上の展示制作、関連事業については、公益財団法人日本財団の助成を受けて行った。

#### 〔ウ〕テーマ展「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」

川口月嶺(1811-1871)は、江戸時代後期の盛岡藩を代表する絵師である。陸奥国鹿角郡花輪村(現秋田県鹿角市)に生まれ、江戸で修行した後、その画才を認められて盛岡藩に召し抱えられ、盛岡城大奥の障壁画制作などに腕をふるった。

岩手県立博物館では月嶺の写生帳や画稿類を数多く所蔵しており、本展では館藏品と併せて関連する作品や盛岡藩の記録類を展示し、画業に打ち込む絵師の修行と仕事の様子を紹介した。

会期：平成 25 年 10 月 1 日 (火) ~11 月 10 日 (日)

会場：特別展示室

会期中の入館者数：7,367 名 (岩手県立博物館まつり入館者数を含む)

#### 〔展示内容〕

- 1 絵師の眼と手 画を写す/自然を写す  
絵手本や古画の模写、風景や動植物の写生等を紹介
- 2 絵師の心得 写す/たくわえる/活かす  
描き貯めた模写や写生を活かした作品等を紹介

- 3 殿さまに仕える 南部利済の時代／南部利剛の時代  
盛岡藩の記録類と藩主からの命を受けて制作した作品等を紹介
- 4 絵心と詩心 絵を描く／歌を詠む  
月嶺が友人や知人の詩歌に絵を付した作品等を紹介

#### 〔関連事業〕

- 1 展示解説会  
10月14日(月・祝) 14:30～15:30 参加者7名  
11月9日(土) 14:30～15:30 参加者11名
- 2 県博日曜講座  
10月27日(日) 13:30～15:00 聴講者47名  
「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」 齋藤里香(当館学芸員)
- 3 文化講演会  
11月3日(日) 13:30～15:00 聴講者97名  
「南部利済の功罪」 兼平賢治氏(東北大学大学院文学研究科助教)

#### 〔印刷物〕

- 1 ポスター B2判4色刷 300枚
- 2 リーフレット A4判表裏4色刷 3,500枚
- 3 パンフレット A4判4色刷12ページ 300部

#### 〔エ〕移動展 岩手県文化振興事業団プレゼンツ「文化・芸術が集うとき in 紫波町」

年に一度、博物館を飛び出して県内市町村で展示会を行う事業、「岩手県立博物館移動展」。平成20年度からは、岩手県立埋蔵文化財センターとの合同展(岩手県立博物館移動展・埋蔵文化財展)という形態で実施されてきた。さらに昨年度から、合同展という形はそのままに、(公財)岩手県文化振興事業団の4事業所(埋蔵文化財センター、岩手県立美術館、岩手県民会館、当館)が一堂に会する事業「文化・芸術が集うとき」の一環として行われている。

今年度はこの合同展をさらに一歩進めて、企画段階から当館と埋蔵文化財センターが共に作業を行い、同一フロア内で統一仕様による一連の展示を行う形態を採った。昨年度まで計4回開催された合同展は、両事業所がそれぞれ独自に企画・展示を行うという、一会場に二つの展示会が併存する形であった。このやり方にも意味・意義はあるものの、当館考古部門と埋蔵文化財センターはいずれも考古資料を扱う部署であり、本質的に性格が重複する。来場者の視点に立てば、合同展を事業所ごとにあえて区切る必要はなく、むしろ一連の流れで観覧できることのほうが重要である。このような観点から、展示会場・内容ともにより一体性を持たせるため、当館考古部門と埋蔵文化財センターが共同で企画・実施する形を初めて採用した。本来的な意味での「合同展」となったわけである。

さらに、今年度実施した新しい取り組みとして、合同展会場内における美術品の展示が挙げられる。これは、紫波町及び町内在住の作品所蔵者の方々のご厚意により、その所蔵作品をお借りする形で実現した。展示品は同町出身の画家・橋本八百二の作品3点で、これに関連する講座を県立美術館学芸員が行うなど、新しい形での事業展開を図った。

会期：平成25年11月14日(木)～17日(日) 4日間

会場：紫波町情報交流館 大スタジオ

タイトル：『合同展～平成25年度岩手県立博物館移動展・第34回埋蔵文化財展～』

来場者数：545人（紫波町内小学校児童の集団見学…星山小学校 13人、彦部小学校 31人、上平沢小学校 54人）

【展示内容】 展示総数 453点

- 1 考古 宮手遺跡出土品（縄文時代早期末～前期初頭の土器）、西田遺跡出土品（縄文時代早期の石器、中期の土器・石器・土偶ほか土製品・硬玉製大珠ほか石製品など）、墳館遺跡出土品（弥生時代の大型壺）、稲村遺跡出土品（奈良時代の土師器・土製品・ガラス製玉など）、下川原Ⅰ・Ⅱ遺跡出土品（平安時代の土師器・須恵器・かわらけ）、南日詰小路Ⅰ・Ⅱ遺跡出土品（平安時代の陶磁器・木質遺物）など 計 312点
- 2 歴史 金銅聖観音菩薩立像（複製）、盛岡藩領内図、柳田館遺跡出土陶磁器片、奥羽寒図記（川口月村画）、錦絵「前太平記 宗任以下降人出る図」（歌川芳年画）、錦絵「源義経奥州下向平泉館にて秀衡の親子に対面の図」 計 48点
- 3 民俗 紫波・花巻・高田の土人形「男雛」「女雛」、正月の餅料理（複製）、森口多里コレクション 写真「志賀理和氣神社春季例祭 田植踊り」など 計 50点
- 4 生物 シラオネツタイチョウ 幼鳥、アルビノのツキノワグマ親子、ツキノワグマの嬰兒、アオバト・ヨタカ・アカショウビンなど特徴ある鳴き声の鳥など（すべて剥製） 計 14点
- 5 地質 サケ化石、硬骨海綿類 ケーティテス、四放サンゴ ディブノフィルム、床板サンゴ 日石サンゴ、蛇紋岩、石灰岩、砂金、東沸石、宮沢賢治着色地質図草稿（複製）、同地質図草稿関連岩石など 計 29点

【関連事業】

- 1 出張博物館学芸員講座 11月15日（金）10:30～11:30（紫波町情報交流館内 市民交流ステージ）「比爪の考古学的研究」羽柴直人（当館主任専門学芸員） 聴講者 39人
- 2 展示解説会 11月16日（土）、11月17日（日）（両日とも 14:00～15:00） 参加者 39人

（オ）テーマ展「新収蔵資料展－2008～2012 新コレクション－」

平成20年度～平成24年度に68,501点の資料を新たに収集、登録した資料から1,183点を展示。寄贈者への謝意を表すとともに、資料を収集、管理し後世へ引き継ぐ博物館活動への広い理解を促すもの。

会期：平成25年12月7日（土）～翌26年2月23日（日）

会場：特別展示室・ミニプラザ

会期中の入館者数：4,911名

【展示内容】

I 考古

縄文時代石器 奥州市江刺区伊手

II 地質

雲母状赤鉄鉱（岩石鉱物）

黄鉄鉱（岩石鉱物）

琥珀（後期白亜紀・久慈宇部町）

黄鉄鉱（岩石鉱物 北上市和賀仙人鉱山）

砂漠の砂（タクラマカン砂漠、サハラ砂漠等）

海浜砂（グリーンビーチ、ガラパゴス諸島等）



### Ⅲ 歴史

七福神図など絵画（藤田永湖・田鎖鶴立斎・狩野存信）

那珂梧桜書 七言絶句（幕末～明治）

齋藤実書「観水亭」、「克勤克儉」（1930年代）

日清戦争・日露戦争資料（軍服・勲章・従軍記章）

太平洋戦争資料（出征のぼり・写真・脚絆・天幕）

戦時報国債券（1937～1945）

絵葉書コレクション（昭和初期～）

切手コレクション（1960年代～）

### Ⅳ 民俗

佐藤松之助資料（大工・建築資料 幕末～近代）

花巻・佐藤家の生活関連資料（江戸時代～昭和時代）

漆絵菓子盆（近代）

千葉家の郷土玩具コレクション（現代・全国）

消防資料（革バンテン・腕章・古写真）

昭和の暮らしを再現する資料（南部鉄瓶、手回し計算機、屋根葺き用スレート他）

切り菓子（昭和24年 雫石町御明神）

信仰関係資料他

### Ⅴ 生物

鳥類剥製（ハヤブサ・アカウソ・ハイイロウミツバメ等）

植物標本（シダ植物・スミレ科・変形菌等）

昆虫標本（チョウ類・オナガアゲハ異常個体等）

昆虫図鑑（1929～1934）

### 【関連事業】

#### 1 展示解説会（いずれも 14：30～15：30）

平成25年12月15日（日）、平成26年2月11日（火）延べ20人

### 【印刷物】

1 ポスター B2判4色 500枚

2 リーフレット A4判表4色裏1色 3,000枚

3 パンフレット A4判18ページ 350冊（館内印刷）

### （カ）テーマ展「比爪—もう一つの平泉—」

近年、岩手県紫波町周辺では、発掘調査事例の積み重ねにより、奥州藤原氏の第二の拠点「比爪」の様相の解明が進展しつつある。これまでの発掘調査、考古学研究の成果から、「比爪」の居館、都市は「平泉」と共通する構造、規模を有し、出土遺物の質、内容も「平泉」と全く遜色ないことが明らかになっている。また、「比爪」より北に位置する、岩手郡、比内、津軽、外ヶ浜、糠部でも、12世紀の遺跡が確認されており、遺物の特徴や、交通ルートの想定から「比爪」との関係が浮かびあがっている。

本展示は、比爪の実像について考古学的資料を中心に紹介し、平泉をも含む奥州藤原氏の研究進展、啓発に寄与するものである。

会期：平成26年3月15日（土）～5月11日（日）

会場：特別展示室

会期中の入館者数：6,258人（このうち平成25年度分 3月15日～30日の入館者数1,942人）

### 〔展示内容〕

- 1 奥州藤原氏の勢力範囲と内部構造  
奥州藤原氏の勢力圏  
勢力圏内の内部構造
- 2 平泉－奥州藤原氏第一の拠点－  
平泉の都市構造  
平泉の物質文化  
平泉の経塚 金鶏山（考古資料相互活用推進事業による出品）
- 3 比爪－奥州藤原氏第二の拠点－  
比爪とは・・・比爪の都市構造 比爪と平泉の比較  
中核遺跡・・・比爪館 小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡 伝大莊嚴寺阿弥陀仏  
周縁遺跡・・・下川原Ⅰ・Ⅱ遺跡 栗田Ⅲ遺跡 高水寺城跡  
宗教遺跡・・・弥勒地経塚 新山経塚 山屋館経塚 蓮華廃寺（赤沢）  
赤沢七仏薬師 赤沢毘沙門天（レプリカ）
- 4 北方への広がり－奥六郡の北へ－  
岩手郡・・・大館町遺跡（盛岡市） 黄金堂遺跡（岩手町）  
閉伊・・・川原遺跡（釜石市） 八木沢野来遺跡（宮古市）  
比内・・・矢立廃寺跡（大館市） 長森経塚（大館市）  
津軽・・・中崎館遺跡（弘前市） 浪岡城跡（青森市浪岡） 板留（2）遺跡（黒石市）  
外ヶ浜・・・新田（1）遺跡（青森市） 白狐塚遺跡（平内町）  
糠部・・・左組遺跡（七戸町） 仁昌寺Ⅱ遺跡（一戸町） 中新山遺跡（野田村）  
北海道・・・国内最北の経塚 宇隆Ⅰ遺跡（厚真町）
- 5 比爪その後－鎌倉時代の紫波  
比爪氏のその後  
鎌倉時代の紫波地方  
紫波郡の板碑文化

### 〔関連事業〕

- 1 展示解説会  
① 3月16日（日）14:30～15:30 参加者51人  
② 5月10日（土）14:30～15:30 参加者33人 ※平成26年度実施
- 2 関連講演会・事業（平成26年度実施分も含む）  
① 平成25年度考古学セミナー講演会平成26年3月21日（金・祝）13:30～15:00  
「御館・大名・国人 一中世成立期の東日本における<sup>つわもの</sup>兵たち」  
高橋 一樹氏（武蔵大学教授）聴講者89人  
② 県博日曜講座（25年度）平成26年3月23日（日）13:30～15:00「俺の平泉－比爪を斬る－」  
八重樫忠郎氏（平泉町役場・岩手大学客員准教授）聴講者168人  
③ 県博日曜講座（26年度）平成26年4月13日（日）13:30～15:00「比爪－もう一つの平泉－」  
羽柴 直人（当館学芸員）聴講者169人※平成26年度実施  
④ 平成26年度考古学セミナー講演会 平成26年4月27日（日）13:30～15:00  
「北の経塚」 藤沼 邦彦氏（元弘前大学教授）聴講者80人※平成26年度実施  
⑤ 平成26年度考古学セミナー現地見学会 平成26年4月29日（火・祝）13:30～16:30  
「比爪館を歩く」参加者29名 ※平成26年度実施

### 〔印刷物〕

- 1 ポスター B2判4色刷 800枚
- 2 リーフレット A4判両面4色刷 35,000枚
- 3 パンフレット A4判全頁4色刷 32頁 1,000部

## (2) 教育普及活動

平成 25 年度の教育普及事業として 24 事業を開催した。講演会・講座としては、県博日曜講座、自然観察会、地質観察会、考古学セミナー、古文書入門講座を開催した。5 回目を迎えた博物館まつりを始め、たいけん教室、チャレンジ！はくぶつかん等の休日の子供け事業や、毎月第 1 土曜日開催のミュージアムシアター、沿岸部の小学生を招待した夏休み子どもツアー、学校支援や社会教育事業の一環としての県博出前講座、伝統芸能鑑賞会などを開催した。また、国際博物館の日の関連イベントとしてバックヤードツアーを開催し好評を得ている。企画展「光る生きものたち」関連イベントである「こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル」では、全国の博物館等からの支援のもと多くの来場者があった。

### ア. 開催事業

表(2) — 1 平成 25 年度開催事業

#### I 解説会

学芸員による展示解説会(展覧会)

事業名	延べ数	月日	曜日	内訳	演者	場所	摘要
展覧会 展示解説会 〔全 10 回〕	220	4/29	月祝	12	目時和哉	特別 展示室	テーマ展「いわての昭和モノが たり」展示解説会
		5/25	土	10	目時和哉		企画展「いわての光る生きもの たち」展示解説会
		6/30	日	20	藤井千春		
		7/21	日	35	藤井千春		テーマ展「盛岡藩絵師 川口月嶺 のまなざし」展示解説会
		8/10	土	53	藤井千春		
		10/14	月祝	7	齋藤里香		テーマ展「新収蔵資料展」展示 解説会
		11/9	土	11	齋藤里香		
		12/15	日	9	笠原雅史, 八木勝枝, 吉田充, 齋 藤里香, 瀬川修, 川向富貴子, 藤 井千春, 鈴木まほろ		
		2/11	火祝	12	笠原雅史, 八木勝枝, 吉田充, 齋 藤里香, 藤井千春, 鈴木まほろ		
移動展展示 解説会 〔全 2 回〕	39	3/16	日	51	羽柴直人	紫波町	テーマ展「比爪」展示解説会
		11/16	土	23	丸山浩治, 佐々木勝宏, 川向富 貴子, 藤井忠志, 吉田充		文化・芸術が集うとき in 紫波町
		11/17	日	16	丸山浩治, 笠原雅史, 川向富貴 子, 藤井忠志, 吉田充		

解説員による展示解説(常設)

定時解説				通覧解説						解説総計		入館者数	入館者に占める 参加者数割合
開催 件数	実施 件数	参加 者数	成功 率	一般		英語		計		実施 件数	参加 者数		
				実施 件数	参加 者数	実施 件数	参加 者数	実施 件数	参加 者数				
288	76	202	26.4%	124	2662	8	29	132	2691	208	2893	44,210	6.50%

※定時解説は日曜日をのぞいて実施していたが、平成 25 年 7 月より毎日実施している。

#### II 講演・講座

事業名	延べ数	月日	曜日	内訳	演者	場所	摘要
古文書入門講座 〔全 8 回〕	112	5/11	土	17	及川(岡)陽一郎氏(兵庫大 学講師)	教室	申込者 17 名
		5/12	日	16			
		5/25	土	13			
		5/26	日	13			
		6/1	土	13			
		6/2	日	14			
		6/8	土	12			
6/9	日	14					

博物館実習 〔全7日〕	63	8/22	木	9	学芸職員ほか	館内	申込者9名
		8/23	金	9			
		8/24	土	9			
		8/25	日	9			
		8/27	火	9			
		8/28	水	9			
文化財等取扱講習会 〔全3日〕	102	2/5	水	34	学芸職員	館内	申込者34名
		2/6	木	34			
		2/7	金	34			
県博日曜講座 〔全22回〕	974	4/14	日	36	林史樹氏〈神田外語大学〉	講堂	朝鮮半島におけるじゃじゃ麵（炸醬麵）の変容と定着
		4/28	日	46	藤井忠志	講堂	鳥類目録改訂と特筆すべき岩手県産鳥類
		5/12	日	24	目時和哉	教室	いわての昭和モノ語り
		5/26	日	50	羽柴直人	講堂	安倍氏の考古学的研究
		6/9	日	88	佐々木勝宏	教室	志和代官所の年中行事～鳴海家文書を読み解く～
		6/23	日	18	吉田充	教室	パンニングで残る重い砂
		7/14	日	19	赤沼英男	教室	被災金属資料からみた東日本における古代・中世の物質文化交流
		8/11	日	38	大場信義氏〈大場蛭研究所〉	講堂	ホテル点滅の不思議ー地球の奇跡、復興への光ー
		8/25	日	31	川向富貴子	教室	新春を彩る岩手の蘇民祭
		9/22	日	65	川村寿郎氏〈宮城教育大学〉，内野隆之氏〈産業技術総合研究所〉	講堂	早池峰山周辺の地質について・1/5 万地質図幅「早池峰山」について
		10/13	日	19	鎌田勉	教室	清衡の瓦
		10/27	日	47	齋藤里香	教室	盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし
		11/10	日	27	増田勝彦氏〈昭和女子大学光葉博物館〉	講堂	日本の絵画・文書の損傷と修復
		11/24	日	21	笠原雅史	教室	唐三彩に見る東西文化伝播について
		12/8	日	25	八木勝枝	教室	縄文時代の「孔」について
		12/22	日	39	瀬川修	教室	はじめての南部絵暦～南部絵暦を読み解く・入門編～
		1/12	日	13	川又晋	教室	重要文化財「白磁四耳壺」の修復
		1/26	日	45	大石雅之	教室	北三陸・大地のおいたち資源の魅力
		2/9	日	64	米倉浩司氏〈東北大学〉，上野雄規氏〈東北植物研究会〉，鈴木まほろ	講堂	岩手県植物誌改訂に向けて
2/23	日	39	丸山浩治	教室	平安時代の火山噴火と遺跡		
3/9	日	52	中山敏	講堂	エクスカッション「盛岡」～3コースで盛岡を探る～		
3/23	日	168	八重樫忠郎氏〈平泉町役場〉	講堂	俺の平泉～比爪を斬る～		
移動展出張博物館学芸員講座	39	11/15	金	39	羽柴直人	紫波町	比爪の考古学的研究
民俗講座	29	5/25	土	29	石井正己氏〈東京学芸大学〉	講堂	岩手県復興と井上ひさし
考古学セミナー	89	3/21	金	89	高橋一樹氏〈武蔵大学〉	講堂	御館・大名・国人ー中世成立期の東日本における兵たちー
文化講演会	97	11/3	日	97	兼平賢治氏〈東北大学大学院文学研究科助教〉	講堂	南部利済の功罪
冬期文化講演会	45	2/6	木	45	千葉武勝氏〈元岩手県農業研究センター研究員〉	講堂	昆虫標本の意義と保管上の留意点



いわて学講座	79	6/8	土	79	大石雅之, 羽柴直人, 佐々木勝宏, 鈴木まほろ, 川又晋, 川向富貴子, 八木勝枝	講堂	三陸から知る岩手
ひかりフォーラム	35	7/14	日	35	小原玲氏〈動物写真家〉, 猿渡敏郎氏〈東京大学大気海洋研究所〉, 八木剛氏〈兵庫県人と自然の博物館〉ほか	講堂	

### Ⅲ 現地見学会・観察会、鑑賞会

事業名	延べ数	月日	曜日	内訳	演者	演題・テーマ	場所	摘要
第65回自然観察会	72	6/16	日	31	島田直明氏〈岩手県立大学〉	津波に耐えた砂浜の植物	久慈市	申込者 33
第66回自然観察会		7/14	日	41	八木剛氏〈兵庫県立人と自然の博物館〉		二戸市	
第65回地質観察会	72	7/7	日	37	吉田裕生氏〈盛岡大学〉	山口鉱山をたずねて	宮古市	申込者 41
第66回地質観察会		9/23	月	35	川村寿郎氏〈宮城教育大学〉		盛岡市～花巻市	
考古学セミナー	31	9/21	土	31	浅利英克氏〈金ヶ崎町〉, 考古部門	現地見学会「安倍氏の本拠地鳥海柵遺跡を訪ねて」	金ヶ崎町	申込者 31
【事業団自主事業】伝統芸能鑑賞会	111	6/2	日	111	高屋敷神楽保存会	一戸の山伏神楽「高屋敷神楽」公演	旧佐々木家住宅	演者14名を含まず
県博バックヤードツアー〔全3回〕	29	5/18	土	29	八木勝枝, 目時和哉, 笠原雅史, 齋藤里香, 鈴木まほろ, 瀬川修, 藤井千春, 丸山浩治, 大石雅之, 赤沼英男, 協栄テックス	※国際博物館の日記念事業	館内	1名は乳児
ミュージアムシアター〔全10回〕	350	4/6	土	43	上映：盛岡教育事務所中央地域視聴覚ライブラリー映写ボランティア〔シネマ友の会〕	映像でみる昭和／県政映画ほか	講堂	一般41、子ども2
		5/4	土	63		昭和のヒーロー特集／鉄腕アトムほか		一般35、子ども28
		6/1	土	15		郷土の歴史アニメ／アテルイ		一般15、子ども0
		7/6	土	53		特集「光る生きもの」ホタル／蛍の舞う街でほか		一般20、子ども33
		8/3	土	41		夏休みアニメ／虹色ホタルほか		一般18、子ども23
		10/5	土	14		世界名作童話特集／ダンボほか		一般8、子ども6
		11/2	土	6		大自然特集／ジャングル大帝ほか		一般4、子ども2
		12/7	土	74		真冬のおぼけ特集／日本のおぼけ話シリーズほか		一般31、子ども43
		2/1	土	20		おに特集／泣いた赤おにほか		一般7、子ども13
		3/1	土	21		人形特集／おこんじょうるりほか		一般8、子ども13

### Ⅳ 児童生徒対象事業

事業名	延べ数	月日	曜	内訳	演者（対応者）	演題・テーマ	場所	摘要
たいけん教室～みんなのためそう～〔全48回〕	1787	4/7	日	20	解説員	まが玉アクセサリー	実技室	うち子ども10
		4/14	日	28	解説員	石のオリジナルはんこ	実技室	うち子ども18
		4/21	日	32	解説員	こいのぼりース	実技室	うち子ども16

		4/28	日	47	解説員	化石のレプリカづくり	実技室	うち 子ども 24
		5/5	日	39	解説員	土偶づくり	実技室	うち 子ども 21
		5/12	日	40	解説員	砂絵	実技室	うち 子ども 24
		5/19	日	45	解説員	こはくの玉づくり	実技室	うち 子ども 26
		5/26	日	27	解説員	石から絵の具をつくろう	実技室	うち 子ども 15
		6/2	日	44	解説員	チャグチャグ馬コづくり	実技室	うち 子ども 28
		6/9	日	44	解説員	草花のそめもの	実技室	うち 子ども 27
		6/16	日	44	解説員	スライムであそぼう	実技室	うち 子ども 29
		6/23	日	30	解説員	のびちぢみしゃくとり虫	実技室	うち 子ども 20
		6/30	日	38	解説員	ふしぎなビー玉おもちゃ	実技室	うち 子ども 21
		7/7	日	41	解説員	光るバッジづくり	実技室	うち 子ども 27
		7/14	日	34	解説員	ちぎり絵のうちわ	実技室	うち 子ども 20
		7/21	日	36	木藤古徳一郎氏, 解説員	木の工作教室	実技室	うち 子ども 19
		7/28	日	50	解説員	まが玉アクセサリー	実技室	うち 子ども 26
		8/4	日	45	解説員	ちぎり絵のうちわ	実技室	うち 子ども 24
		8/11	日	49	解説員	土偶づくり	実技室	うち 子ども 26
		8/18	日	32	解説員	恐竜ぬりえカード	実技室	うち 子ども 18
		8/25	日	37	解説員	ガラス万華鏡	実技室	うち 子ども 21
		9/15	日	34	解説員	入浴剤づくり	実技室	うち 子ども 20
		9/22	日	36	解説員	ばねのキツツキおもちゃ	実技室	うち 子ども 18
		9/29	日	25	佐藤克英氏, 解説員	竹トンボ	実技室	うち 子ども 15
		10/13	日	45	解説員	こはくの玉づくり	実技室	うち 子ども 26
		10/20	日	31	解説員	スライムであそぼう	実技室	うち 子ども 17
		10/27	日	24	解説員	葉っぱのカラフルカード	実技室	うち 子ども 14
		11/3	日	32	解説員	かけじくをつくろう	実技室	うち 子ども 18
		11/10	日	28	解説員	まが玉アクセサリー	実技室	うち 子ども 17
		11/17	日	46	解説員	化石のレプリカづくり	実技室	うち 子ども 22
		11/24	日	47	解説員	石のオリジナルはんこ	実技室	うち 子ども 28
		12/1	日	39	解説員	松ぼっくりのXmas ツリー	実技室	うち 子ども 21
		12/8	日	43	飯坂真紀氏, 解説員	ごんげんさまのカスタネット	実技室	うち 子ども 24
		12/15	日	42	解説員	まゆで干支(午)づくり	実技室	うち 子ども 26

		12/22	日	44	解説員	かんたん門松づくり	実技室	うち 子ども 24
		1/5	日	45	解説員	まゆで干支(午)づくり	実技室	うち 子ども 25
		1/12	日	36	解説員	みずきだんご	実技室	うち 子ども 19
		1/19	日	40	解説員	たこづくり	実技室	うち 子ども 22
		1/26	日	37	解説員	入浴剤づくり	実技室	うち 子ども 19
		2/2	日	31	解説員	石のオリジナルはんこ	実技室	うち 子ども 18
		2/9	日	22	解説員	ほかほかカイロづくり	実技室	うち 子ども 14
		2/16	日	42	解説員	土器づくり	実技室	うち 子ども 24
		2/23	日	37	解説員	はまぐりのおひなさま	実技室	うち 子ども 23
		3/2	日	39	解説員	こはくの玉づくり	実技室	うち 子ども 22
		3/9	日	40	解説員	化石のレプリカづくり	実技室	うち 子ども 24
		3/16	日	36	解説員	スライムであそぼう	実技室	うち 子ども 20
		3/23	日	36	解説員	石から絵の具をつくろう	実技室	うち 子ども 18
		3/30	日	31	解説員	ガラスの万華鏡	実技室	うち 子ども 17
チャレンジ!はく ぶつかん 〔全55回〕 ※皆勤13名	1558	4/13	土	23	八木勝枝	おしゃれ	館内	子ども 23
		4/14	日	36			館内	子ども 36
		4/20	土	18			館内	子ども 18
		4/21	日	40			館内	子ども 40
		5/11	土	17	佐々木勝宏	虫	館内	子ども 17
		5/12	日	33			館内	子ども 32
		5/18	土	17			館内	子ども 13
		5/19	日	29			館内	子ども 29
		6/8	土	13	川向富貴子	花	館内	子ども 13
		6/9	日	26			館内	子ども 26
		6/15	土	15			館内	子ども 15
		6/16	日	30			館内	子ども 30
		7/13	土	18	丸山浩治	海	館内	子ども 18
		7/14	日	64			館内	子ども 64
		7/15	月祝	56			館内	子ども 56
		7/20	土	43			館内	子ども 43
		7/21	日	45	八木勝枝	青	館内	子ども 45
		8/10	土	52			館内	子ども 52
		8/11	日	73			館内	子ども 72
		8/12	月	26			館内	子ども 26
		8/17	土	59	川向富貴子	黒	館内	子ども 59
		8/18	日	92			館内	子ども 91 高校生 1
		9/14	土	16			館内	子ども 16
		9/15	日	58			館内	子ども 54 大人 4
		9/16	月祝	33	川向富貴子	黒	館内	子ども 32 大人 1
		9/21	土	8			館内	子ども 8
		9/22	日	20			館内	子ども 19 大人 1
9/23	月祝	22	館内	子ども 22				
10/12	土	21	鎌田勉	食	館内	子ども 21		
10/13	日	39			館内	子ども 39		
10/14	月祝	24			館内	子ども 24		

チャレンジ！はくぶつかん 〔全 55 回〕  ※皆勤 13 名		10/19	土	3	鎌田勉	食	館内	子ども 3
		10/20	日	37			館内	子ども 37
		11/9	土	11	目時和哉	骨	館内	子ども 11
		11/10	日	36			館内	子ども 36
		11/16	土	14			館内	子供 13 大学生 1
		11/17	日	38			館内	子ども 38
		12/14	土	7	丸山浩治	水	館内	子ども 7
		12/15	日	29			館内	子ども 29
		12/21	土	17			館内	子ども 17
		12/22	日	15			館内	子ども 15
		12/23	月祝	23			館内	子ども 23
		1/11	土	41	笠原雅史	人	館内	子ども 41
		1/12	日	41			館内	子ども 40 大人 1
		1/13	月祝	22			館内	子ども 20 大人 2
		1/18	土	9			館内	子ども 9
		1/19	日	22			館内	子ども 22
		2/8	土	24			笠原雅史	鉄
		2/9	日	18	館内	子ども 18		
		2/15	土	5	館内	子ども 5		
		2/16	日	15	館内	子ども 15		
3/8	土	14	丸山浩治	金	館内	子ども 14		
3/9	日	26			館内	子ども 26		
3/15	土	11			館内	子ども 11		
3/16	日	15			館内	子ども 10		
【事業団自主事業】 夏休み！たいけん 博物館	405	7/26	金	75	目時和哉, 笠原 雅史, 丸山浩治, 八木勝枝, 解説 員	企画展見学、光るバッジづ くり、ワークシートを用い た展示見学	館内	普代村・ 久慈市
		7/27	土	44			館内	洋野町・ 岩泉町・ 田野畑村
		8/2	金	92			館内	山田町・ 宮古市
		8/3	土	72			館内	大槌町・ 釜石市
		8/9	金	76			館内	大船渡市
		8/10	土	46			館内	陸前高田 市・住田 町
冬休みたいけん教 室	324	1/10	金	147	解説員, 鎌田勉, 八木勝枝, 丸山 浩治, 笠原雅史, 目時和哉, 川向 富貴子	まが玉アクセサリー・化石 のレプリカ・ちぎり絵のペ ン立てづくり	実技室	保護者 40 子ども 107
		1/11	土	177				保護者 80 子ども 97
こども☆ひかりキ ラキラ復興フェス ティバル	5061	6/29	土	2005	博物館職員, ポ ランティアほか		館内	
		6/30	日	3056				
さかなクン特別ト ークショー	148	7/25	木	148	さかなクン〈ア ンインターナ ショナル〉		講堂	
深海生物ペーパー クラフト教室	197	8/3	土	197	藤井千春		体験学 習室	
光の実験室	88	7/27	土	21	笹川浩美氏〈公 益財団法人国際 科学振興財団研 究開発部研究 員〉, 藤井千春		講堂	
		7/28	日	67				
冬の写生会	69	12/14	土	7			館内	保護者 3 子供 4
		12/15	日	4			館内	保護者 1 子ども 3

冬の写生会		12/22	日	3			館内	保護者 1 子ども 2
		12/23	月	3			館内	保護者 1 子ども 2
		12/25	水	2			館内	保護者 1 子ども 1
		12/26	木	4			館内	保護者 2 子ども 2
		12/27	金	2			館内	保護者 1 子ども 1
		12/28	土	4			館内	保護者 2 子ども 2
		1/5	日	3			館内	子ども 3
		1/7	火	3			館内	保護者 2 子ども 1
		1/8	水	4			館内	保護者 1 子ども 3
		1/9	木	2			館内	子ども 2
		1/10	金	16			館内	保護者 4 子ども 12
		1/11	土	7			館内	保護者 3 子ども 4
		1/12	日	3			館内	保護者 1 子ども 2
		1/13	月	2			館内	保護者 1 子ども 1
冬の写生会展示会 見学	9	2/4	火	1			館内	一般 1
		2/6	木	1			館内	一般 1
		2/11	火	5			館内	一般 4 子ども 1
		2/16	日	2			館内	一般 1 子ども 1
第 5 回博物館まつり	2134	10/6	日	2134	博物館職員, 事業団職員, ボランティア		芝生広場ほか	※総合受付申込者数: 内訳は別表のとおり

#### 第 5 回博物館まつり来場者数内訳

	子ども	大人	計
全体受付	1,100	1,034	2,134
入館者数		1,021	1,021
来場者数			3,155

#### コーナー参加者内訳

まが玉づくり	181	145	326
化石レプリカづくり	179	132	311
土版づくり	176	133	309
火おこし	119	120	239
缶バッジづくり	750	-	750
石うす	235	367	602
むかしあそび	882	-	882
変身	311	-	311
チャレンジ! はくぶつかん	434	-	434
映画上映	67	60	127
アンダーパスコンサート	119	120	239
気仙太鼓演舞	40	71	111
合計			4,402

#### V 県博出前講座 ※当館旅費負担

月日	依頼者	依頼事由	演題・テーマ・依頼内容	対象	参加者数	実施場所	派遣職員
5/24	住田町教育委員会	学校教育課程	縄文時代の住田「出土品・遺跡・いわての特色」	中学 1 年	29	世田米中学校	羽柴直人 八木勝枝 丸山浩治 笠原雅史



5/27	住田町教育委員会	学校教育課程	縄文時代の住田「出土品・遺跡・いわての特色」	中学1年	19	有住中学校	羽柴直人 八木勝枝 丸山浩治 笠原雅史
5/31	奥州市立母体小学校	学校教育課程	マエサワクジラの発掘に携わって	全校生徒、職員、地域住民	43	母体小学校	大石雅之
9/14	滝沢村教育委員会		春子谷地について	滝沢村内小学4～5年生	14	春子谷地	鈴木まほろ
11/1	花巻市立内川目・亀が森・大迫小学校	学校教育課程	大昔の暮らし・貴族の暮らし	児童	45	大迫小学校	八木勝枝 佐々木勝宏 川向富貴子

## VI 職員派遣 ※主催者旅費負担

月日	依頼者	依頼事由	演題・テーマ・依頼内容	対象	参加者数	実施場所	派遣職員
4/18	紫波町志和公民館	岩手町との公民館交流事業	八戸藩主家ゆかりの木々	一般	30	沢口観音堂・別当成海家座敷	佐々木勝宏
5/10	科学談話会・盛岡市立図書館	科学談話会5月例会	習わしにみる日本人の身体観～ゆりかごから墓場まで～	会員、一般	16	盛岡市立図書館	川向富貴子
5/26	稲荷山新仙寺護持会	檀家総代会研修会講座	内堀家と川口家	檀家	46	新仙寺本堂	佐々木勝宏
6/14	昭和女子大学	文化財レスキュー	被災文化財の救出と修復の意義について	学生	122	昭和女子大学	佐々木勝宏
6/19	白山神社大日堂	見学会説明	大日堂と大日如来の変遷について	一般	32	大日堂	佐々木勝宏
6/20	北三陸大地の恵み・ジオパーク推進連絡会	平成25年度総会記念講演会	久慈地域のための三陸ジオパーク地質学古生物学術総論	一般	48	久慈ステーションホテル	大石雅之
6/21	北三陸大地の恵み・ジオパーク推進連絡会	平成25年度総会記念講演会関連現地調査	久慈層群玉川層炭層・琥珀産出層調査	久慈市職員	1	久慈市大川目町ほか	大石雅之
7/1	久慈市	久慈市職員研修講演会	久慈地域におけるジオ的資源利活用のための基礎情報	久慈市幹部職員およびGP推進連絡会事務局員	82	久慈市役所3階大会議室	大石雅之
7/21	秋田県埋蔵文化財センター	平成25年度第1回ふるさと考古学セミナー	土偶ユニバース「土偶まんだらの世界」	一般	43	秋田県立博物館	八木勝枝
7/21	花巻のブナ原生林に守られる市民の会	講演会	大津波後の海岸植物の現状について	一般	10	花巻市総合福祉センター	鈴木まほろ
7/31	紫波町教育委員会	学校教育課程	八戸藩の成立と志和が八戸藩の飛び地になったわけ	児童・教員・一般	103	志和代官所跡地	佐々木勝宏
7/31	岩手県総合教育センター	学校教育課程	児童の主体的、意欲的な博物館などの学習利用について	教員	25	岩手県立総合教育センター	佐々木勝宏
8/5	高教研理科部会生物部会	平成25年度高教研理科部会生物部会現地研修会	展覧会解説ほか	教員	30	岩手県立博物館	藤井忠志 藤井千春 鈴木まほろ
8/7	八幡平市立寺田公民館		展覧会解説	一般	17	岩手県立博物館	藤井千春
8/8	岩手県総合教育センター	学校教育課程	高等学校地理歴史科・博物館資料・史料の活用	教員	25	岩手県立総合教育センター	佐々木勝宏

8/18	八幡平パークボランティア	講演・観察会	大津波後の海岸植物の現状について・八幡平の植物について	会員	40	八幡平ビジターセンター	鈴木まほろ
8/24	盛岡市西部公民館	盛岡市西部公民館	南部鉄の生産と流通 ～たたら吹き製鉄から洋式高炉への移行をめぐって～	一般	51	盛岡市西部公民館	赤沼英男
9/9	日本教育会岩手県支部下北地区会	日本教育会岩手県支部下北地区会研修会「講演会」	岩泉・田野畑地域のための三陸ジオパークのジオ的資源の利活用	下北地区小中学校校長・副校長・退職校長等	34	岩泉町 龍泉洞温泉ホテル	大石雅之
9/26	盛岡市見前公民館	盛岡市見前公民館	『南部絵巻』について	一般	30	盛岡市見前公民館	瀬川修
10/19	住田町教育委員会	森林環境学習「目指せ 森の達人(マイスター) 講座」	秋の花と果実 ～多様さの秘密～	一般	15	遊林ランド種山	鈴木まほろ
10/23	岩手県文化財愛護協会	郷土史学習会	盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし	会員	29	岩手県立博物館	齋藤里香
10/28	ひとさじの会	大肝入吉田家の文化財と観音信仰	気仙の宝 誇れる大切なもの	会員・地元市民	117	陸前高田市浄土寺	佐々木勝宏
11/10	仙台藩直参今泉御足軽御組後裔者会	本吉気仙両郡絵図見学など	今震災で失って価値を再認識したものについて説明	会員	26	岩手県立博物館	佐々木勝宏
11/16	第34回東北自然保護の集い実行委員会	東北自然保護の集い	岩手県の絶滅危惧植物の保全上の問題	一般	50	大沢温泉自炊部	鈴木まほろ
11/19	岩手町立川口中学校	郷土理解	川口城と明圓寺と八戸藩について	生徒・保護者	116	岩手町立川口中学校	佐々木勝宏
12/11	岩手県立学校事務職員協会	県立学校事務職員の研究活動	平成の多津波で被災した文化財の再生	一般	25	岩手県立一関第一高等学校	目時和哉
12/11	岩手県高等学校事務職員協会一関支部		被災した文化財の再生について	事務職員	20	岩手県立一関第一高等学校	目時和哉
12/14	早池峰フォーラム実行委員会	第15回早池峰フォーラム「早池峰山のニホンジカ対策を考える」	早池峰山の自然植生とその価値	一般	50	岩手県民情報センターアイーナ	鈴木まほろ
1/10	四十四田ダム水源地域ビジョン推進会議	第1回四十四田ダム水源地域セミナー	川砂と地質	一般	32	岩手県立博物館	吉田充
1/10	金ヶ崎町生活環境課	生物多様性にかかる自然観察会	おらえのあだりになにいろべ?	児童・一般	22	金ヶ崎町大沼家住宅	鈴木まほろ
1/13	金ヶ崎町生活環境課	生物多様性にかかるワークショップ	「未来に残したい自然環境」	一般	8	金ヶ崎町長志田公民館	鈴木まほろ
1/17	盛岡の歴史を語る会	盛岡の歴史を語る	江戸時代に描かれた岩手山	会員	90	岩手県公会堂	齋藤里香
1/30	盛岡白百合学園小学校	学校教育課程	昔の道具とくらし	児童生徒	20	盛岡白百合学園小学校	目時和哉
2/1	日本技術士会東北本部岩手県支部	新春講演会	世界に誇る三陸地域遺産の魅力～三陸ジオパークについて～	技術士会会員および一般	100	盛岡市 エスポワールいわて	大石雅之
2/8	金ヶ崎町生活環境課	生物多様性にかかる自然観察会	おらえのあだりになにいろべ?	児童・一般	13	上平沢公民館・赤石堤	鈴木まほろ
2/22	盛岡市西部公民館	今、語り継ぎたい人物たち 岩手にゆかりのある画家	川口月嶺	一般	35	盛岡市西部公民館	齋藤里香

2/22	日本植物園協会	津波被災地の絶滅危惧植物の保全を考える会	岩手県における現状と問題点	一般	80	東北大学片平キャンパス	鈴木まほろ
3/8	八幡平市立寺田公民館	公民館運営	旧暦と年中行事	一般	60	八幡平市寺田公民館	瀬川修
3/11	岩手日報社事業部	鎮魂復光鶴住居身代わり観音像開眼供養法要奉讃会	観音様と結縁	申し込み者	51	移動バス中	佐々木勝宏

## イ. 学校教育との連携

### (ア) 博物館展示活動を活用した学習利用の受け入れ

〔関連事業〕

表(2) - 2 平成25年度学習利用状況一覧

No.	月日	都道府県	学校名	引率	生徒	合計	内容
1	4月2日	宮城県	鶴巣町立鶴巣小学校	1	0	1	下見
2	4月2日	宮城県	名取市立愛島小学校	3	0	3	下見
3	4月3日	宮城県	仙台市立柳生小学校	5	0	5	下見
4	4月4日	宮城県	仙台市立台原小学校	4	0	4	下見
5	4月4日	宮城県	仙台市立加茂小学校	4	0	4	下見
6	4月4日	宮城県	仙台市立南光台小学校	3	0	3	下見
7	4月4日	宮城県	仙台市立落合小学校	1	0	1	下見
8	4月13日	岩手県	雫石町立明神小学校	1	2	3	下見
9	4月25日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	2	0	2	下見
10	4月30日	岩手県	八幡平市立大更小学校	4	67	71	教科 社会科
11	4月30日	岩手県	二戸市立浄法寺小学校	2	29	31	教科 社会科
12	5月2日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	2	40	42	遠足
13	5月10日	岩手県	盛岡市立緑が丘小学校	4	92	96	見学
14	5月23日	宮城県	名取市立那智が丘小学校	5	38	43	修学旅行
15	6月5日	宮城県	大和町立落合小学校	4	13	17	修学旅行
16	6月6日	岩手県	岩泉町立小本小学校	4	14	18	修学旅行
17	6月7日	岩手県	宮古市立津軽石小学校	1	13	14	修学旅行
18	6月7日	岩手県	山田町立山田北小学校	4	10	14	修学旅行
19	6月12日	宮城県	仙台市立南光台小学校	6	137	143	修学旅行
20	6月13日	岩手県	一関市立涌津小学校	3	20	23	修学旅行
21	6月13日	宮城県	大和町立鶴巣小学校	5	21	26	修学旅行
22	6月14日	宮城県	仙台市立八幡小学校	1	14	15	修学旅行
23	6月14日	宮城県	気仙沼市立九条小学校	6	61	67	修学旅行
24	6月15日	岩手県	岩手大学教育学部附属小学校	3	0	3	下見
25	6月19日	宮城県	仙台市立虹の丘小学校	5	77	82	修学旅行
26	6月20日	宮城県	仙台市立松森小学校	37	5	42	修学旅行
27	6月20日	宮城県	気仙沼市立階上小学校	46	7	53	修学旅行
28	6月25日	岩手県	岩手大学教育学部附属小学校	4	123	127	見学
29	6月27日	宮城県	仙台市台原小学校	9	117	126	修学旅行
30	7月2日	岩手県	久慈市立来内小学校	3	11	14	校外学習
31	7月10日	岩手県	滝沢村立一本木小学校	2	17	19	総合学習(講義・見学)
32	7月12日	秋田県	鹿角市立八幡平小学校	3	29	32	修学旅行・遠足
33	7月24日	宮城県	大崎市立沼部小学校	4	0	4	下見
34	7月25日	宮城県	大崎市立敷玉小学校	3	0	3	下見
35	7月31日	宮城県	大崎市古川第5小学校	5	0	5	下見
36	8月20日	岩手県	盛岡市立仁王小学校	1	0	1	下見
37	9月11日	宮城県	大崎市立敷玉小学校	3	28	31	修学旅行
38	9月11日	岩手県	盛岡市立山岸小学校特別支援学級	3	2	5	教科学習
39	9月11日	岩手県	盛岡市立仁王小学校特別支援学級	6	20	26	遠足
40	9月11日	宮城県	大崎市立古川第五小学校	9	117	126	修学旅行

小学校

41	9月12日	宮城県	大崎市立沼部小学校	5	51	56	校外学習
42	9月13日	岩手県	滝沢村立一本木小学校	2	33	35	総合学習
43	9月13日	岩手県	盛岡市立北松園小学校	2	49	51	見学
44	9月15日	岩手県	盛岡市立城北小学校	1	0	1	下見
45	9月20日	秋田県	鹿角市立十和田小学校	4	50	54	社会科
46	9月20日	宮城県	南三陸町立志津川小学校	5	51	56	修学旅行
47	9月27日	岩手県	奥州市立南都田小学校	3	44	47	遠足
48	10月12日	岩手県	滝沢村立鶴飼小学校	3		3	下見
49	10月18日	岩手県	盛岡市立太田東小学校	2	37	39	教科学習(社会科)
50	10月25日	岩手県	陸前高田市立竹駒小学校	4	23	27	教科学習(社会科)
51	10月25日	岩手県	滝沢村立鶴飼小学校	7	154	161	教科学習(社会科)
52	10月29日	岩手県	盛岡市立巻堀小学校	2	6	8	見学
53	10月30日	岩手県	二戸市立中央小学校	3	53	56	社会科見学
54	11月1日	岩手県	盛岡市立洪民小学校	3	47	50	見学
55	11月1日	岩手県	北上市立南小学校	4	104	108	見学
56	11月4日	岩手県	盛岡市立城北小学校	1	0	1	下見
57	11月6日	岩手県	一戸町立鳥海小学校	2	10	12	校外学習
58	11月8日	岩手県	盛岡市立城北小学校	5	128	133	総合学習
59	11月8日	岩手県	紫波町立佐比内小学校	2	8	10	校外学習
60	11月26日	岩手県	花巻市立石鳥谷小学校	3	67	70	校外学習
61	11月27日	岩手県	八幡平市立寺田小学校	3	9	12	総合学習
62	1月24日	岩手県	盛岡市立北厨川小学校	3	53	56	教科学習(社会科)
63	2月9日	岩手県	滝沢市立滝沢東小学校	1		1	教科学習(社会科)
64	2月12日	岩手県	盛岡市立青山小学校	5	104	109	教科学習(社会科)
65	2月14日	岩手県	滝沢市立滝沢東小学校	2	59	61	教科学習(社会科)
66	2月21日	岩手県	盛岡市立生田小学校	2	9	11	教科学習(社会科)
67	3月5日	岩手県	盛岡市立厨川小学校	3	55	58	教科学習(社会科)
			合計	303	2328	2631	

No.	月日	都道府県	学校名	引率	生徒	合計	内容
1	4月17日	北海道	壮瞥町立壮瞥中学校・久保内中学校	7	19	26	修学旅行
2	4月17日	岩手県	岩泉町立岩泉中学校	1	1	2	職場体験
3	5月9日	岩手県	盛岡市立米内中学校	2	26	28	見学
4	5月10日	青森県	八戸市明治中学校	3	38	41	見学
5	5月15日	青森県	八戸市立市川中学校	4	22	26	見学
6	5月15日	宮城県	石巻市立山下中学校		6	6	職場体験
7	5月16日	秋田県	横手市立横手明峰中学校	10	166	176	学習旅行
8	5月22日	東京都	筑波大学附属駒場中学校	0	5	5	総合学習
9	5月23日	青森県	弘前市立第二中学校	0	6	6	総合学習
10	5月23日	東京都	筑波大学付属駒場中学校	0	5	5	総合学習
11	5月28日	岩手県	矢巾町立矢巾北中学校特別支援学級	2	3	5	見学
12	7月5日	岩手県	花巻市立東和中中学校	6	78	84	総合学習
13	7月9日	岩手県	北上市立飯豊中学校	0	7	7	職場訪問
14	7月9日	岩手県	釜石市立甲子中学校	12	102	114	総合学習
15	7月10日	岩手県	久慈市立大川目中学校	2	22	24	校外学習
16	8月8日	東京都	桐朋中学校	1	0	1	修学旅行下見
17	8月8日	岩手県	奥州市立前沢中学校	1	28	29	その他(美術部活動)
18	8月21日	北海道	八雲町立熊石第二中学校	3	6	9	修学旅行
19	8月28日	岩手県	釜石市立釜石東中学校	4	51	55	研修
20	8月29日	北海道	北斗市立浜分中学校	0	6	6	自主研修
21	9月12日	岩手県	盛岡市立飯岡中学校	6	71	77	総合学習
22	10月9日	岩手県	久慈市立侍浜中学校		2	2	職場体験
23	10月9日	岩手県	久慈市立侍浜中学校	1			職場体験見学
24	10月17日	岩手県	岩手町立沼宮内中学校	1	2	3	教科学習(社会科)
25	10月17日	東京都	桐朋中学校	1	18	19	修学旅行
26	10月23日	岩手県	岩手県立一関第一高等学校附属中学校	1	14	15	総合学習
27	10月24日	岩手県	滝沢村立滝沢南中学校	0	8	8	職場体験

	28	10月25日	岩手県	滝沢村立滝沢南中学校	0	8	8	職場体験
	29	12月17日	沖縄・岩手	那覇市・盛岡市	7	80	87	交流事業
				合計	75	800	874	

高等学校	No.	月日	都道府県	学校名	引率	生徒	合計	内容
	1	6月30日	岩手県	一関学院高等学校通信制過程	5	22	27	遠足
	2	7月7日	岩手県	岩手県立岩谷堂高等学校	2	28	30	見学
	3	10月11日	岩手県	岩手県立宮古高等学校定時制	7	26	33	遠足
	4	10月25日	岩手県	岩手県立杜陵高等学校奥州校定時制	8	33	41	教科学習(社会科)
	5	12月27日	岩手県	岩手県立盛岡北高等学校	1	7	8	総合学習
				合計	23	116	139	

大学	No.	月日	都道府県	学校名	引率	生徒	合計	内容
	1	4月13日	岩手県	岩手大学人文社会科学部	3	37	40	研修
	2	6月8日	岩手県	岩手大学, 県立大学, 盛岡大学, 富士大学	4	75	79	いわて学講座
	3	6月16日	岩手県	岩手大学人文社会科学部	1	13	14	博物館実習
	4	8月30日	東京都	國學院大學	3	29	32	博物館実習
	5	9月14日	東京都	学習院女子大学	2	22	24	研修
				合計	13	176	189	

支援学校	No.	月日	都道府県	学校名	引率	生徒	合計	内容
	1	5月15日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校	5	5	10	教科学習(社会科)
	2	7月12日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校 小学部	3	3	6	見学
	3	7月17日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校 中学部	2	2	4	教科学習(社会科)
	4	7月19日	岩手県	岩手県立盛岡聴覚支援学校 小学部	2	2	4	総合学習
	5	7月23日	岩手県	岩手県立青松支援学校	7	9	16	教科学習(社会科・理科)
	6	8月29日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校 小学部	6	5	11	校外学習
	7	10月10日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校	2	2	4	総合学習
	8	10月11日	岩手県	岩手県立盛岡視覚支援学校 高等部	3	5	8	見学
	9	10月14日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校 中等部	1		1	校外学習
	10	10月18日	岩手県	岩手県立盛岡青松支援学校	4	2	6	校外学習
	11	2月4日	岩手県	岩手県立盛岡視覚支援学校 小学部	2	3	5	校外学習
	12	2月20日	岩手県	岩手県立盛岡となん支援学校 小学部	1	1	2	教科学習(社会科)
	13	2月26日	岩手県	岩手県立盛岡視覚支援学校 小学部	1	1	2	校外学習
14	3月4日	岩手県	岩手県立盛岡視覚支援学校 中学部	3	4	7	校外学習	
				合計	42	44	86	

その他	No.	月日	都道府県	学校名	引率	生徒	合計	内容
	1	4月14日	岩手県	盛岡市教育委員会生涯学習文化課	4	0	4	下見(交流事業関係)
	2	10月5日	岩手県	雫石町立橋場小学校	1	0	1	教員10年経験研修
	3	10月6日	岩手県	雫石町立橋場小学校	1	0	1	教員10年経験研修
	4	10月6日	岩手県	盛岡市立高等学校	2	0	2	教員10年経験研修
	5	1月11日	岩手県	岩手県立黒沢尻工業高等学校	1	0	1	教員10年経験研修
				合計	9	0	9	

保育園	No.	月日	都道府県	学校名	引率	生徒	合計	内容
	1	5月1日	岩手県	社会福祉法人アイリス会アイリス保育園	4	0	4	下見
	2	5月8日	岩手県	大新保育園	2	0	2	遠足下見
	3	5月22日	岩手県	社会福祉法人アイリス会アイリス保育園	14	61	75	遠足
	4	7月5日	岩手県	ハレルヤ保育園	3	24	27	見学
	5	7月11日	岩手県	ハレルヤ保育園	2	12	14	園外学習
	6	7月25日	岩手県	ハレルヤ保育園	3	12	15	見学
	7	8月30日	岩手県	ハレルヤ保育園	4	39	43	遠足
	8	11月21日	岩手県	ハレルヤ保育園	5	38	43	園外学習
	9	11月27日	岩手県	ハレルヤ保育園	2	12	14	見学
	10	1月16日	岩手県	わかば保育園	2	16	18	園外学習
11	1月24日	岩手県	北松園風の子保育園	2	13	15	園外学習	

12	2月13日	岩手県	前潟保育園	3	20	23	社会科学学習
13	3月28日	岩手県	わかば保育園	2	12	14	園外学習
合計				48	259	307	

No.	月日	都道府県	学校名	引率	生徒	合計	内容
1	5月5日	岩手県	めぐみ幼稚園	11	9	20	教科学習(社会科)
2	6月7日	岩手県	盛岡大学附属松園幼稚園	2	0	2	下見
3	6月20日	岩手県	盛岡大学附属松園幼稚園	44	7	51	見学
4	7月18日	岩手県	めぐみ幼稚園	12	26	38	園外学習
5	8月23日	岩手県	盛岡大学附属松園幼稚園	2	0	2	下見
6	8月28日	岩手県	盛岡大学附属松園幼稚園	3	20	23	園外学習・見学
7	10月19日	岩手県	スコーレ幼稚園	4		4	下見
8	10月22日	岩手県	スコーレ幼稚園	8	143	151	遠足
9	11月6日	岩手県	みどりが丘幼稚園	2	17	19	園外学習
10	1月23日	岩手県	盛岡白百合学園幼稚園	2	20	22	園外学習
11	3月7日	岩手県	学校法人川村学園青葉幼稚園	6	89	95	卒園遠足
合計				96	331	427	

### (イ) 教材貸し出し

申込は9件あり、88点貸し出した。出前講座との併用が多く、4件63点を貸し出した。昨年度は単独の貸出がなかったが、今年度は3件23点の貸出を行った。内訳は下のおりである。考古資料や民俗資料の他、平安時代の衣装(水干、小桂、白拍子装束)、模造刀などが人気である。鉄砲の貸出希望があったが、日程の調整がつかず実施に至らなかった。

表(2)-3 平成25年度教材貸出一覧

貸出日	貸出先	点数	資料
4/6	紫波町立長岡小学校	11	土器、石器等
5/24	住田町立世田米中学校	30	縄文土器他
5/27	住田町立有住中学校	30	縄文土器他
5/6	紫波町立御明神小学校	7	平安期衣装
6/23	紫波町立御明神小学校	2	模造刀など
7/9	盛岡白百合学園高校	3	平安期衣装
11/1	花巻市内川目小学校	3	平安期衣装
2/1	盛岡市立厨川小学校	1	糸車
2/11	盛岡市立松園小学校	1	石臼

### (ウ) 職場体験・インターンシップ

24年度から中学校の職場体験への申し込みが増加し、今年度は6件26名の申込があった。盛岡以北の中学校からの申し込みが多い。

表 平成25年度実施職場体験参加校一覧

実施日時	所属校	人数	体験内容
4/17	岩泉町立岩泉中学校	1	パネル作成
5/15	石巻市立山下中学校	6	資料の管理
7/9	北上市立飯豊中学校	7	資料の管理
9/25~27	一戸町立小鳥谷中学校	2	展示の工夫
10/9	久慈市立侍浜中学校	2	パネル作成
10/24~25	滝沢村立滝沢南中学校	8	資料の整理

## (エ) 学校教育機関向け出前講座

出前講座として47件の申し込みがあり、うち10件が学校教育機関（小学校・中学校・高等学校）からの申し込みであった。人文系部門では展示資料に関連した講演や講座の依頼、自然系部門では観察会などの希望が多かった。学校教育機関以外では公民館などから37件の申し込みがあり、現状では教育機関以外での講座が多い。

日時	依頼者	演題・テーマ・依頼内容	人数	実施者
5/24	住田町教育委員会 (世田米中学校)	縄文時代の岩手と住田町	29	羽柴直人・八木勝枝・丸山浩治
5/27	住田町教育委員会 (有住中学校)	縄文時代の岩手と住田町	19	羽柴直人・八木勝枝・丸山浩治
5/31	欧州市立母体小学校	マエサワクジラの発掘に携わって	43	大石雅之
7/31	岩手県総合教育センター	児童の主体的、意欲的な博物館などの学習利用について	25	佐々木勝宏
7/31	紫波町教育委員会	八戸藩の成立と志和が八戸藩の飛び地になったわけ	103	佐々木勝宏
8/8	岩手県総合教育センター	「博物館資料・史料の活用」	25	佐々木勝宏
9/14	滝沢村教育委員会	春子谷地について	12	鈴木まほろ
11/1	花巻市立内川目小学校・大迫小学校・亀ヶ森小学校	大昔の暮らし 貴族の暮らし	45	佐々木勝宏・八木勝枝・川向富貴子
12/11	岩手県高等学校事務職員協会一関支部	被災した文化財の再生について	20	目時和哉
1/30	盛岡白百合学園小学校	昔の道具と暮らし	20	目時和哉

## ウ. 博物館実習

学芸員資格取得に係る館務実習について、当館の実習生受入方針に基づいて実施した。当館における実習は、おもに県内大学に在学する者、また県出身者を対象としている。地質・考古・歴史・民俗・生物・文化財科学に係る博物館資料の整理や展示作業、教育普及事業の実務などの実習、及び社会教育機関としての博物館の役割について講義等を行っている。実習期間と受け入れ人数等は次のとおり。

平成25年8月22日(木)～8月29日(木)(26日(月)休館日除く7日間)

盛岡大学5名、日本女子大学1名、弘前大学1名、帝京科学大学1名、茨城大学1名 計9名

## エ. 問合せ受付

日常的に学芸員が対応する問合せについて、集計を行っている。計画されている事業にかかわるものや外部研究者等との日常的な連絡以外、対応したすべての事項となっている。質問等は多岐にわたっており、即答で済む場合や回答に相当期間を要する場合など内容によってさまざまである。調査研究にかかわるものも含んでいる。

表(2)－4 平成25年度問合せ受付状況

部門	件数	問合せ方法	件数	主な対応内容
地質	153	来館	62	宮古層群化石、県内貝類化石リスト、三陸ジオパーク、地質観察会案内書、小村悦夫氏の業績、岩石の鑑定、鯨類化石の閲覧調査
		電話	43	岩手県の地質図、I L C 予定地の鉱山、一戸の珪化木新産地、「北リアス線」、用語の不適切性、鉱物の鑑定、南部及び北部三陸海岸の成因
		FAX、メール、手紙、その他	48	恐竜展示室設置希望、津波石、紫波町地質図、鳥羽源蔵関係資料、「北上山地」の地名、平成25年8月水害、おしかホエールランド資料



生物	146	来館	28	ブッポウソウとコノハズクの標本閲覧、キジバトの卵2個持参、標本閲覧、標本の作成用具、トンボ・チョウの標本作成、海浜性昆虫、虫えい、ジンガサハムシの同定、マシジミ
		電話	36	黒いへび、ツキノワグマ、鳥の同定、鳥のねぐら、標本レスキュー、収蔵資料データベースシステム、ラベンダーの効能、水生生物調査、イタチの剥製製作、山形のモリアブラコウモリ
		FAX、メール、手紙、その他	82	写真の鳥及び植物・動物の同定、植物の生育情報の提供、学会発表の添削、論文査読、海藻水槽、奥家科学書籍コレクション、被災昆虫標本レスキューボランティア
考古	24	来館	9	須恵器、アテルイと縄文人、土偶、ヒスイ、北上川流域の貝塚、縄文土器、岩偶、石皿、石器・石製品の器種及び石材鑑定、軽米町出土ヒスイ製品
		電話	14	土偶、縄文土器、釜石環状列石、円筒土器、中沢浜貝塚、舌崎遺跡、畠中遺跡、宍岐の樋詰城、小田島コレクション、岩手の郷土史家、土器の復元、遺物表採の可能な場所、金取遺跡の年代
		FAX、メール、手紙、その他	1	
歴史	218	来館	39	荒川文助、蔵から出てきた写真・器等、川口月嶺、掛軸
		電話	153	アテルイ、源義経の妻、奥州藤原氏と蝦夷、金山、鉄瓶、刀、鐔
		FAX、メール、手紙、その他	26	絵画の作者、落款、古文書
民俗	98	来館	23	幽霊画、火の玉、田の労働歌、清水不棲魚、菱刺し、墓の土饅頭、写真整理法、むかしのくらし、SL、資料館運営、金津流、明子姫
		電話	55	精米搗粉、ツツガムシとDTT、救荒食、味噌玉、船箆、語り部定義、馬、カルタ、龍神、稲架、隠し念仏、被災文化財、津波の歴史、地芝居、麻栽培、横断歩道、通電、内藤春治、日光街道、正信偈
		FAX、メール、手紙、その他	20	小麦倉、東遊雑記、オオカミ、藁灰、藁人形、海女、金勢信仰、巫覡、女の立ち小便、藁馬、出産アンケート、葬送儀礼、郷土菓子
文化財科学	90	来館	3	文化財の保存科学的処理・科学分析
		電話	46	燻蒸、金属製品保存処理、木製品保存処理、紙資料修復、文化財レスキュー、文化財の科学分析
		FAX、メール、手紙、その他	41	燻蒸、金属製品保存処理、木製品保存処理、紙資料修復、文化財レスキュー、文化財の科学分析
合計	729			

### (3) 調査研究活動

調査研究活動は、博物館の根幹をなす活動である。各研究テーマは小テーマ、および小テーマを包括する研究領域を大テーマとした。調査研究テーマの推進にあたって、外部委託した事業もあった。年度末には「館内調査研究報告会」が実施され、研究の進捗状況や成果の報告があった。また、研究成果は学術情報として『岩手県立博物館研究報告』第31号、『岩手県立博物館調査研究報告書』第30冊のほか、学会、学術誌等で発表された。文化財科学部門では、外部機関からの研究受託を実施し、考古学部門では前平泉文化の研究を進めた。なお、当館の調査研究活動の一部は研究協力員によって支えられている。調査研究を進めるにあたって、外部団体の助成金により進められた研究テーマもあった。

#### ア. 調査研究活動の概要

地質部門3テーマ、生物部門6テーマ、考古部門3テーマ、歴史部門5テーマ、民俗部門4テーマ、文化財科学部門3テーマで調査研究活動が推進された。

表(3) - 1 平成25年度岩手県立博物館調査研究テーマ一覧

テーマI 中・長期的計画に基づいたテーマ(各部門・個人)

部門等	大テーマ	小テーマ	氏名	研究成果
地質	地域地質に関する研究A	北上山地における地質学的資料に関する基礎的研究	大石 雅之 吉田 充	北上山地根田茂帯から南部北上帯北縁部にわたる地域で概査を行い、地域地質情報・資料の教育的利活用について検討を行った(日本地質学会第120年学術大会, 仙台市)。久慈層群で脊椎動物化石産地の調査を行った。田野畑村で津波石および津波石と誤認されてきた巨岩の調査を行った(日本古生物学会第163回例会、三田市; 化石, 93)。地質標本レスキューの現状と課題および関連する事項についての報告を行った(日本地質学会第120年学術大会, 仙台市; PULSE News from the Linnean Society of London - A living forum for biology, 19)。被災遺構の保存と三陸ジオパークについて論考した(災害伝承-命を守る地域の知恵-; いわて文化財, 000)。北上山地から流れ出る河川の砂鉄を採集し、組成を調べるとともに砂金を採集できる河川の分布を調べた。山口鉱山跡の地質及びとズリ跡の分布調査を行った。
	地域地質に関する研究B	奥羽山脈ならびに北上低地帯における地質学的資料に関する基礎的研究	吉田 充 大石 雅之	二戸市白鳥川流域および周辺地域の中新統白鳥川層群について概要を報告した(二戸市文化財調査報告書, 2「白鳥川層群の化石と地層」)。5万分の1地形図「花巻」に宮澤賢治が着色した地質図草稿新資料を見出した(宮澤賢治学会発表会, 花巻市)。花巻市東部地域の地質調査を行い下部更新統土澤層のフィッション・トラック年代を報告し、北上低地帯の形成史を考察した(研究報告, 31; 岩手県地学教育研究会発表会, 盛岡市)。奥羽山脈から流れ出る河川の砂鉄を採集し、その組成を調べた。
	古生物学的研究	海生哺乳類に関する古生物学的研究	大石 雅之	秋田県三種町の海岸で発見されたヒゲクジラ2件の記録を報告した(日本セトロジー研究会第24回大会, 富山市)。陸前高田市小友町でストランディングしたミンククジラの調査を行った。日本と台湾の中型のナガスクジラ科の3種の分類について報告した(International Symposium for Marine Biology and Cetacean Conservation, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan)。
生物	地域生態系の研究	北東北三県のブナ林を中心とした森林生態系の生物相に関する研究	藤井 忠志 藤井 千春 鈴木 まほろ	2012年度から引き続き、岩手県雫石町内で繁殖活動を行っているサンコウチョウ <i>Terpsiphone atrocaudata</i> 2つがいの生態観察を実施した(藤井忠)。2010年4月より2013年12月まで岩手県龍泉洞地底湖の藻類調査を行った。その第一報を2014年3月刊行予定の日本洞穴学研究所報告書に掲載予定である(藤井千)。
	日本産鳥類の生態学的研究	北東北三県における本州産クマガラ個体群の生息状況およびその生態に関する研究	藤井 忠志	秋田県森吉山、青森県白神山、岩手県安比のブナ自然林において、本州産クマガラの痕跡調査を実施した。結果、秋田県森吉山において1つがいの繁殖行動を確認・継続観察し、雄雌2羽の巣立ちを見届けた。また、樹洞内撮影システムを導入(セブン-イレブン記念財団の助成による)して、巣立ち後の巣内部およびねぐら木内部を撮影・観察した。その他の地域においては情報のみで、個体そのものの確認には至らなかった。「クマガラの世界」展にむけ、図録の代替として単行本「日本のクマガラ」(岩手県立博物館調査研究報告書第29冊を大幅改訂)を2014年中に北海道大学出版会より刊行予定。
	国内および県内における鳥類分布に関する研究	岩手県産の鳥相に関する研究	藤井 忠志	岩手県内初のカムリカイツブリ <i>Podiceps cristatus</i> の繁殖現場を発見し、その行動を観察記録した。また、岩手県レッドデータブック改訂版編集のために、鳥類5種について分担執筆した。その他、希少鳥類の追加記録、同定およびマスコミ等からの問い合わせに随時、対応した。
	発光生物と環境指標生物に関する研究	東日本における発光生物を中心とした生態環境に関する研究	藤井千春	特に、岩手県滝沢市におけるホタル科の分布調査、三陸沖のエゾイソアイナメ・アオメエソの発光、東日本でのウミホタルの分布調査、生態環境の結果を第64回企画展展示物、図録、展示解説アプリケーションにて公開した。その一部を改良し、常設展示とした。

生物	地域の植物相と植物生態に関する研究	県内の絶滅危惧植物を中心とする生態系の研究	鈴木 まほろ	県内の植物、特に絶滅が危惧される種の分布・生育環境および繁殖システムや昆虫との相互作用系について、研究を行った。津波被災地ではマルミノシバナ、チャボイ、ミズアオイ、カワツルモなど絶滅危惧種の生育調査を行い、標本記録を残すとともに、試験的系統保存を行った。また、植物に訪花する昆虫の多様性研究について特集論文を出版した。
	地域の植物相と植物生態に関する研究	県内の植物相の研究	鈴木 まほろ	『岩手県植物誌』の改訂に備え、県内の植物相について現地調査および標本調査を行った。特に、資料の少ない沿岸地域の植物相と津波被災後の変化を前年度から継続して調査し、記録した。これにより、県内に記録の少ない帰化植物数種を新たに記録した。
考古	考古学史の研究	岩手県における埋蔵文化財保護、研究のあゆみ	羽柴直人 八木勝枝 丸山浩治	岩手県内から流出した考古資料の追跡調査として、養虫山人所蔵資料および奈良国立博物館所蔵資料の詳細調査を行った。
	先史時代の考古学的研究	縄文時代集落の研究	八木勝枝	奈良国立博物館所蔵岩手県内出土土偶の詳細調査および単孔土器など特殊資料の集成によって、集落検討構成要素を追加した。
	歴史時代の考古学的研究	古代集落の研究	丸山浩治	本県沿岸北部地域で発掘調査された古代の堅穴建物を対象に、To-a もしくは B-Tm テフラの堆積有無と様相について悉皆調査を行い、テフラ降下前後の集落継続性と土師器の形態変化を検討した。
		平泉文化についての研究	羽柴直人 八木勝枝 丸山浩治	紫波町比爪館跡の微細地形測量調査をおこない、南西部分において、寺院跡と想定される痕跡を見出した。調査結果は「前平泉文化研究報告」として岩手県教育委員会生涯学習文化へ提出した。
	中・近世の考古学的研究	羽柴 直人	紫波郡内の板碑の採拓、計測をおこない資料化を図った。作成した図面は、当館平成 26 年度研究報告書にまとめる予定である。	
歴史	古代～中世史の研究	陸奥国北部の瓦についての研究	鎌田 勉	12 世紀平泉町花立Ⅱ遺跡出土瓦の詳細な観察、11～12 世紀頃の平安京出土瓦との比較検討を行った。岩手県立博物館研究報告第 31 号等で成果を公表した。
		岩手県内の経塚についての研究	鎌田 勉	県内に所在する 12 世紀の経塚資料を収集し検討を行った。平泉町毛越地内の経塚の現地確認を行った。
	近世史の研究	八戸藩成立期の家臣団の形成についての研究	佐々木勝宏	初代藩主南部直房生母仙寿院甥中里弥次右衛門が中里家の口伝から、光行下向随行侍数を八戸藩分士の数にちなみ、直房官職名左衛門佐も中里家が足軽大將あるいは御者頭に出世した閉伊郡田鎖氏を討伐した南部信時の官職名を嘉例として選んだことがわかり、研究報告でまとめ紹介した。
	前近代における美術工芸の研究（古美術）	藩政期の美術工芸の研究	齋藤 里香	絵師川口月嶺に関する調査を行い、テーマ展「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」、岩手県立博物館研究報告第 31 号等で成果を公表した。また、岩手山の絵画資料のデータ収集を継続して実施した。
	近代・現代史の研究	明治・大正期の岩手県についての研究	笠原 雅史	明治 11 年（1878）に開催された第 1 回岩手県物産会を中心に県内の産業の概況についてまとめ、他の博覧会・物産会の概況とともに考察し、博物館だより 140 号で成果を公表した。
	陶磁器に関する研究	岩手県内出土の陶磁器についての研究	笠原 雅史	上鬼柳遺跡出土の奈良二彩に関連し、各地の唐三彩の影響を受けた陶磁器についてまとめ、日曜講座で成果を公表した。
民俗	有形民俗資料に関する研究	漆に関連する生業及び用具に関する研究	瀬川 修	菓子盆の漆絵について、分類を行い、その特徴について会津、川連などの他産地との比較を行った。
		岩手の民具一般に関する研究	瀬川 修 川向富貴子 目時和哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館蔵資料を中心として戦後生活資料に関する調査を進め、その成果の一部をテーマ展内で公表した。（目時）</li> <li>・寄贈された伝統こけし 398 点の産地と作者を調べ、その系統分類を行った。（川向）</li> <li>・照会を受けた洋野町・太神楽装束等の所蔵調査を行い、所蔵者並びに関係機関へ簡易報告書を提出した。（川向）</li> </ul>

民俗	無形民俗資料に関する研究	岩手の無形民俗一般に関する基礎研究	瀬川 修 川向富貴子 目時和哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手の人形芝居の歴史・分布などの文献調査を行い、現在活動中の団体については活動状況などを記録した。</li> <li>・岩手で行われる蘇民祭の比較対象として県外事例の実地調査を行った。その成果の一部を県博日曜講座並びに友の会会報で公表した。(川向)</li> <li>・盛岡市・山賀橋開通セレモニーの記録撮影を行い、その成果を博物館だよりで公表した。(川向)</li> </ul>
		画像資料の保存活用に関する研究	川向富貴子 瀬川 修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森口多里コレクション画像のデジタル化に伴う被写体の確認調査を行い目録を作成した(岩手デジタルミュージアム構築事業の一環)。(川向)</li> <li>・岩手県立農業科学博物館所蔵・穀物直播に係る人糞尿施肥の記録写真を調査した。また、軽米町内で聞き取りを行い、新たに県指定文化財となった『軽邑耕作鈔』記述との比較を行った。(川向)</li> </ul>
	民家の保存と活用に関する研究	岩手の民家に関する研究	瀬川 修	当館の民家の活用について、試案を練るとともに試行を行い、課題を考察した。
	地域研究	沿岸部の生活・文化に関する総合的な研究	目時 和哉	気仙地方を特徴づける漁撈用具であるアワビ採取用鉤をはじめ、三陸沿岸部に特徴的な漁撈用具および漁撈習俗について、関連史・資料を収集するとともに、現地において調査・記録を進めた。
文化財科学	文化財の保存環境に関する研究	省エネを意識した文化財の湿度環境保全方法の開発	赤沼 英男 川又 晋	館内設置データロガーのデータ収集および整理、施設内温湿度変動に関する調査を行った。大形ガラススクリーンケース内の震災前後の温湿度変動について解析した。
		岩手県立博物館における博物館資料生物学的劣化防除システムの開発	川又 晋 赤沼 英男	環境調査報告書および職員から提供された情報等を整理し、館内害虫菌生息動向の把握に努めた。資料・資材収納・保管状況等を確認し、塵埃等生物学的劣化要因の除去および侵入経路遮断といった館内生物学的劣化防除対策を実施した。
	文化財の製作技法に関する研究	前近代の鉄製文化財の製作技法に関する研究	赤沼 英男	東北地方の古代および中世の遺跡、および北海道の続縄文時代、擦文・オホーツク・アイヌ文化期の遺構から出土した鉄器・鉄塊・鉄滓の金属考古学的調査を行い、地金の製造法と組成に基づく分類結果をまとめ、発掘調査報告書にその成果を報告した(『シヨロマ3遺跡』厚真町教育委員会 他3編)。トルコ共和国カマン・カレホック遺跡前期青銅器時代出土資料の金属考古学的調査を実施し、その成果を第24回トルコ調査研究会(2013年12月 東京都武蔵野市)で発表した。
		前近代の非鉄金属文化財の製作技法に関する研究	赤沼 英男 川又 晋	北海道の擦文文化期の遺構から出土したガラス玉、および中世アイヌ文化期の遺構から出土した銭貨の組成を調査し、その結果を発掘調査報告書にまとめた(『幌内D遺跡』公益財団法人北海道埋蔵文化財センター、2014)。
		前近代における彩色・塗膜技法の変遷解明	赤沼 英男 川又 晋	中世漆器の下地調整技法の特徴をまとめ、日本文化財科学会第30回大会(2013年7月、弘前市)、文化財保存修復学会第35回大会(2013年7月、仙台市)、東アジア文化遺産保存学会第3回大会(2013年9月、韓国慶州市)で共同発表した。
	文化財の保存修復に関する研究	有機物を素材とする資料の保存処理方法の開発	川又 晋 赤沼 英男	出土漆塗膜の保存処理に関する基礎実験を行い、実資料を用い保存処理を実施した。
海水損資料の安定化処理方法の確立		赤沼 英男 川又 晋	海水損した民具資料の安定化処理方法を民俗部門と共同で確立し、被災資料の処理を行った。岩手県立博物館で実施している被災文化財の安定化処理方法を被災機関に伝達し、被災機関における安定化処理の進展を図った。その成果の一部を日本文化財科学会第30回大会(2013年7月、弘前市)、文化財保存修復学会第35回大会(2013年7月、仙台市)で共同発表し、併せて江戸東京博物館における巡回展等で公表した。	

表(3)-2 調査研究活動に関わる製作・同定・借り上げ

部門	事業名	内容
地質	岩石鉱物薄片製作	一関市東山町夏山付近を流れる夏山川支流の岩倉沢で採集した礫資料について、偏光顕微鏡観察用薄片11枚を製作した。
生物	植物等標本同定	変形菌標本51点を玉山光典氏(当館研究協力員)に同定していただいた。

文化財科学	石質系文化財等構成鉱物の同定法およびデータ解析法に係る指導・助言	金属生産関連炉跡から出土した土製資料の構成鉱物同定を、岩手大学教育学部教授土谷信高氏に依頼した。
	銅生産過程での金属鉄生成条件に関する指導・助言	銅生産過程での金属鉄生成条件に関する指導・助言を、早稲田大学理工学部教授伊藤公久氏に依頼した。
	X線構造解析	遺跡出土鉄器の錆層中に存在するセメンタイトの同定を委託した。
	マイクロスコープ借り上げ	文化財表面観察用デジタルマイクロスコープをリースし、文化財の表面観察およびデジタル画像撮影を行った。

## イ. 館内調査研究報告会

日時：平成 26 年 3 月 3 日（月）9：30～16：00

会場：講堂

### I 個別調査研究

- ①南部直房の官職名と分士数（佐々木 勝宏）
- ②当館総合展示室「いわての歩み[歴史分野]」における展示を考えるー近現代以降を中心に（笠原 雅史）
- ③落款の異なる月嶺作品について（齋藤 里香）
- ④12 世紀平泉の瓦について（鎌田 勉）
- ⑤三陸地方におけるアワビカギの製作技法について（目時 和哉）
- ⑥呪符のこと（川向 富貴子）
- ⑦民家展示の活用試案と民俗展示の一例について（瀬川 修）
- ⑧To-a, B-Tm テフラを指標とした古代集落研究ー沿岸北部地域ー（丸山 浩治）
- ⑨釜石市片岸貝塚発掘調査成果（八木 勝枝）
- ⑩比爪館跡測量調査成果（羽柴 直人）
- ⑪岩手県新記録の帰化植物について（鈴木 まほろ）
- ⑫岩手県御所湖におけるカンムリカイツブリの初繁殖（藤井 忠志）
- ⑬砂金について（吉田 充）
- ⑭花巻市東部の下部更新統からみた北上低地帯形成過程の一考察（大石 雅之）
- ⑮大量の被災資料の円滑な抜本修復について（川又 晋）
- ⑯2013 年トルコ共和国カマン・カレホユック遺跡出土鉄関連資料の組成と成因（赤沼 英男）
- ⑰岩手の発光生物(v)～企画展「いわての光る生きものたち」から生み出されたもの～（藤井 千春）

### II 部門別調査研究

地質・生物・考古・歴史・民俗・文化財科学部門

## ウ. 調査研究成果の公表

### （ア）『岩手県立博物館研究報告』第 31 号

（A4 判・94 頁・600 部・平成 26 年 3 月 25 日発行）

- 大石雅之・吉田裕生・吉田充「花巻市小船渡の下部更新統のフィッシュン・トラック年代」1～4 頁  
 玉山光典「変形菌の稀産種タマゴホソホコリ *Machbrideola ovoidea* ー北日本初の発見ー」5～8 頁  
 草間裕子・吉谷梓・高橋奏恵・原光二郎・小峰正史・山本好和「岩手県御所湖畔の地衣類」9～13 頁  
 目時和哉・赤沼英男・川又晋・熊谷賢「使用痕を有する被災木製民俗資料の安定化処理方法」15～24 頁  
 鎌田 勉「平泉町花立Ⅱ遺跡出土の瓦について（その 1）」25～36 頁  
 工藤紘一「「聞き書き岩手の年中行事」から思うこと」37～56 頁

瀬川 修「天明三年田山曆の蛇足庵本版と岩手県博本版の違いについて」57～64 頁

佐々木勝宏「八戸分士人数と直房の官職名—八戸藩家老中里弥次右衛門家家系からの考察—」65～74 頁

鈴木幸彦「一関藩領磐井郡東山寺沢村千葉家文書 —その分散経緯と史料の概要—」75～80 頁

齋藤里香「絵師川口月嶺の職務 —盛岡藩『覚書』『御側雑書』を中心に—」81～94 頁

## **（イ）「岩手県立博物館調査研究報告書」第30冊「岩手県における東北地方太平洋沖地震被災文化財等の再生へ向けた取り組み —被災から3年目における成果と課題—」**

(A4判・104頁・600部 平成26年3月3日発行)

東日本大震災で被災した岩手県内の博物館等施設および文化財等資料の救出と再生に向けて、当館が文化財科学部門を中心に総力を挙げて取り組んだ、3年間の活動に関する総括的内容である。

第1章では、岩手県における東日本大震災の被害概況と沿岸部における津波被害の歴史、第2章では岩手県沿岸部の主な文化施設の被災状況と救援活動について概説した。第3章では、主に当館が携わった被災資料の安定化処理へ向けた取り組みについて分野ごとに詳述し、また収蔵環境の整備の経過について述べた。これらを受けて第4章では、岩手県におけるこれまでの文化財レスキュー活動の成果と反省点および課題について述べ、さらに今後の大規模災害に備えて博物館において必要と考える課題をまとめた。第5章では、当館テーマ展「平成の大津波被害と博物館」をはじめとして、被災博物館等施設の機能再生に向けて行われた情報発信・共有の活動を紹介した。第6章では、前述のテーマ展の関連事業として当館で行われた講演およびシンポジウムの内容の一部を、各講師の方々に執筆いただいで収録した。

## **（ウ）学会・研究会・他機関での発表、および著作**

(\*共同発表の際の当館職員)

### **a. 口頭発表等**

- ・大石雅之\*・梅津一史：秋田県三種町の海岸からヒゲクジラ 2 件の記録. 日本セトロジー研究会第24回大会, 2013年5月, 富山市.
- ・武田昭子・赤沼英男\*・土谷信高・中村敦(故人)：山科本願寺出土炭化漆器断片にみる下地混和材と下地調整技法. 日本文化財科学会第30回大会, 2013年7月, 弘前市.
- ・佐藤嘉則・木川りか・青木 睦・赤沼英男\*・大林賢太郎：津波被災した紙質文化財等から分離した微生物の諸性質. 文化財保存修復学会第35回大会, 2013年7月, 仙台市.
- ・和田 浩・神庭信幸・本多文人・熊谷 賢・赤沼英男\*・陸前高田市立博物館における一時保管環境の改善過程. 文化財保存修復学会第35回大会, 2013年7月, 仙台市
- ・神庭信幸・八木三香・本多文人・熊谷 賢・赤沼英男\*：被災文化財等救援活動における人材育成. 文化財保存修復学会第35回大会, 2013年7月, 仙台市.
- ・新田 香・貴田啓子・赤沼英男\*・稲葉政満：セルロースの分子量分布へ超音波処理の影響. 2013年7月, 仙台市.
- ・武田昭子・赤沼英男\*・熊谷 賢・土谷信高：平成の大津波で流失した瀬沢貝塚出土堅櫛の塗膜下地調整技法. 文化財保存修復学会第35回大会, 2013年7月, 仙台市.
- ・武田昭子・赤沼英男\*・熊谷 賢(陸前高田市立博物館)・土谷信高：平成の大津波で流失した瀬沢貝塚出土堅櫛の塗膜下地調整技法. 文化財保存修復学会第35回大会, 2013年7月, 仙台市.
- ・目時和哉・鈴木まほろ・竹高昭：大規模自然災害発生時における被災文化財等救援体制の整備状況

- について. 日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会合同研修会, 2013年7月, 二戸市
- ・武田昭子・赤沼英男\*・土谷信高: 山水人物堆朱食籠一對の下地材を中心とした製作技法に関する研究: 東アジア文化遺産保存学会第3回大会, 2013年9月, 韓国慶州市.
  - ・大石雅之: 地質標本を中心とした標本レスキューの現状と課題. 日本地質学会第120年学術大会夜間小集会「東日本大震災と博物館; 標本レスキューから復興に向けて」, 2013年9月, 仙台市.
  - ・加藤碩一・沢井敬一・大石雅之\*・横山一己: 賢治着色地質図草稿新資料の検討. 宮澤賢治学会発表会, 2013年9月, 花巻市.
  - ・川村寿郎・内野隆之・今野 亨・大石雅之\*・吉田 充\*: 5万分の1地質図幅「早池峰山」の地域地質情報・資料の教育的利活用. 日本地質学会第120年学術大会, 2013年9月, 仙台市.
  - ・Oishi M: A study of skeletal morphology in middle sized balaenopterid species, *Balaenoptera edeni*, *B. brydei*, and *B. omurai* based on Japanese and Taiwanese specimens. International Symposium for Marine Biology and Cetacean Conservation, National Cheng Kung University, November, 2013, Tainan, Taiwan.
  - ・藤井千春\*・松浦啓一・後藤友明・河合俊郎: 被災液浸標本レスキュー. 東京大学大気海洋研究所共同利用シンポジウム「水族館との共同研究. その現状と、将来展望に期待を込めて」, 2013年12月, 柏市.
  - ・藤井千春: 光る生きものたち. 平成25年度東北海洋生態系調査船新青丸KS-14-1次研究航海研修, 2014年3月, 東北海域沖.
  - ・赤沼英男\*: カマン・カレホユック第IV層～第II層出土鉄関連資料の組成とその文化史的意味(1)～. 第24回トルコ調査研究会, 2013年12月, 東京都三鷹市.
  - ・大路樹生・大石雅之\*: 岩手県田野畑村羅賀の津波石はどこからきたのか? 日本古生物学会第163回例会, 2014年1月, 兵庫県三田市.
  - ・大石雅之: 北上低地帯東縁の下部更新統に関する課題. 岩手県地学教育研究会平成25年度研究発表会, 2014年2月, 盛岡市.
  - ・赤沼英男: 被災文化財のレスキューと博物館復興の現状. 公益財団法人日本博物館協会研究協議会, 2014年3月, 東京都

## b. 論文・報文

- ・赤沼英男(2013)岩手県立博物館における被災文化財等救援の経過と課題. 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会(編), 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成24年度活動報告書: 141-142
- ・赤沼英男(2014)シヨロマ3遺跡出土鉄器の金属考古学的調査結果. 厚真町教育委員会編, 厚真町シヨロマ3遺跡: 103-111
- ・赤沼英男(2014)ヲチャラセナイ遺跡出土コイル状鉄製品の金属考古学的調査結果. 厚真町教育委員会編, 厚真町 ヲチャラセナイ遺跡: 287-294
- ・赤沼英男(2014)幌内D遺跡出土遺物の文化財科学的調査. 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター編, 幌内D遺跡:
- ・赤沼英男(2014)オニキシベ4遺跡出土環状金属製品の自然科学的調査結果. 厚真町教育委員会編, 厚真町 オニキシベ4遺跡: 245-247



- ・大石雅之 (2014) 二戸市白鳥川流域および周辺地域の地質概要. 二戸市文化財調査報告書第2集「白鳥川層群の化石と地層」: 2-13.
- ・大路樹生・大石雅之 (2014) 岩手県田野畑村羅賀の津波石はどこからきたのか? 化石 95: 1-4.
- ・鈴木まほろ・藤井千春 (2013) 平成24年度の岩手県における生物標本および写真資料のレスキューについて. 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会 (編), 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成24年度活動報告書: 149-151
- ・鈴木まほろ\*・石井博・安部哲人 (2014) ハナバチと訪花性双翅目の多様性研究の必要性. 日本生態学会誌 64: 3-6
- ・多田内修・大石久志・鈴木まほろ\* (2014) 日本産ハナバチ類と訪花性双翅目に関するインベントリ一の現状と課題. 日本生態学会誌 64: 27-35
- ・藤井千春\*・柳沢忠昭・田鎖康之 (2014): 龍泉洞地底湖における藻類の生育. 日本洞穴学研究所報告 32: 45-51.
- ・藤井千春\*・猿渡敏郎 (2014): 三陸沿岸の海洋発光生物に関する研究. 平成25年度東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター外来研究員報告書 No.126:1-4.
- ・目時和哉 (2013) 岩手県における被災民俗資料の再生へ向けた取り組みについて. 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会平成24年度活動報告書: 146-148
- ・八木勝枝 (2014) 岩手県 2012年度 土偶報告. 第11回土偶研究会: 151-152

### c. 新聞その他の著作

- ・大石雅之・吉田 充 (2013) 平成24年度岩手県立博物館第63回地質観察会報告「二戸市白鳥川の門ノ沢動物群～亜熱帯～熱帯の貝化石～」. 岩手の地学 43: 99.
- ・大石雅之 (2014) 三陸の新たな魅力「三陸ジオパーク」. いわて文化財 258: 5.
- ・藤井忠志・五味靖嘉 (2013) 「北上山地の獣害問題と縄文柴犬」 Jomon Shiba Vol.20:2-5  
特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター
- ・藤井忠志 (2014) 「縄文柴犬は社会的貢献ができるか?」 Jomon Shiba Vol.21:2-3  
特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター
- ・藤井千春 (2013) 「岩手県立博物館ーさあ!この夏、博物館は秘密基地!ー」理科教室 通巻 702号:80-81.
- ・丸山浩治 (2013) 「震災復興と埋蔵文化財」『東日本大震災 弘前大学からの展望【2011-2012】—それぞれの3.11—』弘前大学震災研究交流会 編 弘前大学出版会: 119-133
- ・吉田 充・大石雅之・ (2013) 平成24年度岩手県立博物館第64回地質観察会報告「川砂から鉱物をさがす」. 岩手の地学 43: 100.
- ・Oishi M, Obata F & Tohyama K (2013) Cultural recovery - How Japanese museums were affected by the tsunami disaster-. *PULSE, News from the Linnean Society of London - A living forum for biology*, 19: 4-5.

## エ. 研究受託実施状況

文化財の内部構造、素材、製作技法等の解明を目的とする自然科学的調査を実施することにより、過去の物質文化交流を解明する上での重要な情報を得ることができる。同時に文化財の劣化状況を把握し、的確な修復を施すことが可能となる。文化財の自然科学的調査結果に基づいた保存処理を実施している機関は全国的にみてもきわめて少なく、その実践には多くの困難を伴う。

このような状況をふまえ岩手県立博物館では、岩手県立博物館で実施した調査研究成果の還元と学術情報の一層の収集を目的として、平成2年度から文化財の自然科学的調査・保存処理に関する研究受託を実施している。平成25年度の研究受託実施実績は表(3)―3に示すとおりである。一連の研究を通して得られた学術情報に、人文社会科学の研究成果を重ね合わせ、文化財の保存に取り組むとともに、失われた過去を解明するうえでの基礎資料となる学術情報の発信に努めている。

**表(3)―3 平成25年度研究受託実施実績**

受託内容	件数	委託機関
鉄製資料の保存処理	13	埋蔵文化財センター、教育委員会
鉄製資料の科学分析	1	埋蔵文化財センター、教育委員会
銅製資料の保存処理	1	埋蔵文化財センター
銅製資料の科学分析	1	教育委員会
木製資料の保存処理	2	埋蔵文化財センター、教育委員会
琥珀製資料の保存処理	1	教育委員会
金属製資料X線撮影	2	教育委員会
金属製資料X撮影及びマイクロスコープ撮像	1	教育委員会
保存環境分析	1	教育委員会
被災考古資料抜本修復保管管理	1	教育委員会
被災民俗資料抜本修復保管管理	1	教育委員会
被災自然史標本修復及びデータベース化	1	教育委員会
被災紙製資料の修復及び長期保管	1	教育委員会
資料の生物学的劣化防除(くん蒸)	4	教育委員会、資料館

## オ. 前平泉文化関連遺跡調査事業(前平泉文化の研究)

当館考古部門では、岩手県教育委員会の委託により平成12年度から奥州藤原氏関連に関連した遺跡の考古学調査を実施してきた。平成24年度からは、調査地域を平泉と密接な関連のある紫波町域を対象としている。平成25年度は、紫波町南日詰字箱清水所在の比爪館跡の微細地形測量調査をおこなった。測量範囲は、これまで発掘調査があまりおこなわれていない比爪館跡の南西部を対象とし、標高10cm毎の等高線の地形図を作図した。屋外での測量作業は平成25年の10月9日から11月12日までおこなった。

測量のデータは縮尺1:500に調整し、岩手県教育委員会への成果報告と館内調査研究報告会等で報告を行っている。発掘調査があまり進展していない地点の微細測量図であり、今後の比爪館研究の基本資料になるものである。

## カ. 自然史標本データ整備事業

独立行政法人国立科学博物館が運営する科学系博物館情報ネットワークシステムの自然史標本情報検索システムに掲載するため、当館で所蔵する生物標本資料7,000件について、データ整理・整形を行い、提供した。

## キ. 研究協力員制度

当館の調査研究活動の増進に資するため、当館学芸員の推薦により館外研究者を研究協力員として認定し、当館の調査研究等に従事する制度を平成11年度から実施している。研究協力員としての活動期間は3年間で、申請・審査を経て更新することができる。

平成25年度は新規1名および6名の更新が承認された。平成25年3月末現在で20名(下記一覧、順不同)となっている。

### ○研究協力員（新規）

- 1 沼宮内信之（日本森林技術協会）：岩手県の植物相〔生物部門〕

### ○研究協力員（更新）

- 2 沼宮内明（元当館学芸調査員）：岩手県の植物相〔生物部門〕
- 3 鈴木幸彦（元当館主任専門学芸調査員）：藩政期の基礎的研究、蘭学・洋学の地方への浸透・発展、和算浸透・発展の歴史的基礎研究〔歴史部門〕
- 4 吉田裕生（元当館学第二課長）：東北地方産鉱物の記載鉱物学的研究、とくにマンガン硼酸塩・硫酸塩鉱物の研究〔地質部門〕
- 5 佐竹邦彦（元県立学校校長）：昆虫標本の整理、とくに双翅目昆虫の同定、標本作製、調査の研究手法に関する助言〔生物部門〕
- 6 竹内基（県立福岡高等学校教諭）：淡水魚類に関する調査、研究の助言・同定等、調査研究手法に関する助言〔生物部門〕
- 7 千葉竹勝（元岩手県病害虫防除所長）：昆虫標本の整理、とくに鞘翅目、膜翅目昆虫の同定、標本作製、調査研究手法に関する助言〔生物部門〕

### ○研究協力員（継続）

- 8 飯坂 真紀（県立博物館協議会委員）：民俗慣行と当館所蔵資料の有効活用法の研究〔民俗部門〕
- 9 岡田 現三（団体職員）：北東北の民俗芸能〔民俗部門〕
- 10 女鹿 潤哉（県立杜陵高等学校副校長）：文献史学からみた古代北方社会における物質文化交流の変遷〔文化財科学部門〕
- 11 土谷 信高（岩手大学教育学部教授）：岩石・鉱物を素材とする文化財の製作技法および劣化状態に関する研究〔文化財科学部門〕
- 12 関 博允（いわて三陸ジオパーク推進協議会）：鉄製文化財の金属考古学的方法による研究〔文化財科学部門〕
- 13 沼宮内耕作（元友の会長、元当館学芸部長）：蕨類標本の整理、リスト作成、同定、スケッチ作成〔生物部門〕
- 14 工藤鉱一（元県文化財保護審議会委員、元当館学芸第二課長）：民俗資料の調査および分類整理〔民俗部門〕
- 15 片山千賀志（元県立学校教諭、県環境影響評価技術審査委員）：岩手県における鱗翅目昆虫を中心とした翅野生動植物の分布および生態に関する研究〔生物部門〕
- 16 玉山光典（盛岡第三高等学校常勤講師・岩手大学教育学部非常勤講師）：変形菌類の標本同定、岩手県の変形菌類相〔生物部門〕
- 17 後藤友明（岩手県水産技術センター漁業資源部）：岩手県沿岸底魚類の資源評価と管理に関する研究〔生物部門〕
- 18 大友令史（岩手県病害虫防除所）：病害虫の生態的研究〔生物部門〕
- 19 中田功一（元当館主任専門学芸員、現北上市立博物館）：通過儀礼・信仰・年中行事・まつりを中心とする無形伝承記録資料の調査と整理、東日本大震災を受けて、無形伝承の衰退と復活の経過の記録と整理〔民俗部門〕
- 20 日下和寿（宮城県白石市教育委員会生涯学習課技術主査）：岩手県の洞穴遺跡の研究 特に沿岸南部の洞穴遺跡について〔考古部門〕

## ク. 外部助成

○研究助成 平成 25 年度は、研究助成として 3 件の採択があった。

	氏名	部門	研究テーマ名	助成の名称	申請先
1	鈴木まほろ	生物	岩手県沿岸地域を中心とする植物相の市民調査その 2	平成 25 年度科学系博物館活動等助成	(財) 全国科学博物館振興財団
2	藤井千春	生物	「いわての光る生きものたち ～大震災からの復興の光～」	2013 年度日本財団通常助成	公益財団法人日本財団
3	本州産クマゲラ研究会 (代表：藤井忠志)	生物	本州産クマゲラ個体群の生態調査およびその研究	2013 年度セブン-イレブンみどりの基金	(財) セブン-イレブン記念財団

## (4) 資料収集保管活動

### ア. 資料の収集整理

表(4)-1 平成 25 年度資料登録状況

	年度区分	地質	生物	考古	歴史	民俗	区分計
採集	24 年度末累計	2,806	18,880	769	3	57	22,515
	25 年度計	1	3	0	0	0	4
	累計	2,807	18,883	769	3	57	22,519
発掘	24 年度末累計	209	-	3,439	-	-	3,648
	25 年度計	0	-	0	-	-	0
	累計	209	-	3,439	-	-	3,648
寄贈	24 年度末累計	4,372	93,918	53,292	29,364	15,548	196,494
	25 年度計	0	5,736	0	273	456	6,465
	累計	4,372	99,654	53,292	29,637	16,004	202,959
購入	24 年度末累計	1,391	12,166	267	6,970	2,511	23,305
	25 年度計	0	0	0	1	4	5
	累計	1,391	12,166	267	6,971	2,515	23,310
製作	24 年度末累計	115	503	94	108	365	1,185
	25 年度計	0	0	0	0	0	0
	累計	115	503	94	108	365	1,185
所管換	24 年度末累計	1	84	0	1,104	277	1,466
	25 年度計	0	0	0	0	1	1
	累計	1	84	0	1,104	278	1,467
合計	24 年度末累計	8,894	125,551	57,861	37,549	18,758	248,613
	25 年度計	1	5,739	0	274	461	6,475
	累計	8,895	131,290	57,861	37,823	19,219	255,088

表(4)-2 主な受贈資料

部門	寄贈者(敬称略)	居住・所在地	資料名	数量
地質	出原 和子	東京都	今井功氏の地質学関連資料	8790
生物	岩渕 道子	盛岡市	蘚苔類標本、植物関係図書	2050
	武田 眞一	盛岡市	スミレ科押し葉標本	363
	玉山 光典	盛岡市	変形菌標本(日本新産変種)	1
	盛岡中央高校科学部	盛岡市	変形菌標本	10
	山本 好和	秋田県秋田市	地衣類標本	54
	小川 英治	盛岡市	岩手県産他昆虫標本ほか	78
	武田 眞一	盛岡市	スミレ科押し葉標本	461
	沼宮内 信之	盛岡市	植物関係雑誌	206
歴史	餘目 忠吉	盛岡市	仙台通宝	15
	北田 郁夫	盛岡市	海軍水路部作成海図	2
	小山祐吾	盛岡市	小笠原家史料一式	100
	小山祐吾	盛岡市	小笠原家教育関係資料	118
	藤田 雄平	盛岡市	初代明珍宗介「兜」	1
	柏崎 睦	盛岡市	柏崎家資料	31
民俗	阿部 茂巳	盛岡市	エジコ、円座	2
	佛玉沢	盛岡市	盛岡じゃじゃめん食品サンプル	1

民俗	北條 静	紫波町	下駄	1
	菅原 順子	盛岡市	ながもち ほか	8
	矢幅 ミヨ	盛岡市	蚊張ほか	5
	鈴木 雅雄	盛岡市	フイゴ	1
	菊池 英孝	矢巾町	菊池家昭和生資料	7
	牟田 水城	滝沢村	南部めくらものシリーズ第四集ほか1	2
	菊池 幸子	遠野市	茅屋根葺き用具	一式
	野崎 他夫	盛岡市	伝統こけし	397
今野 幸正	盛岡市	民家スライド写真	2	
考古	高橋 昭治	岩手町	岩洞湖大橋遺跡出土旧石器時代石器	114

表(4)－3 資料の製作

部門	名 称	内 容 の 概 略
歴史	歴史資料複製製作	「源勝寺あて南部信直寺領寄進状」等4点の複製品製作を行った。
民俗	天明3年田山曆複製写真製作	「天明3年田山曆」1点の複製を製作するため複製用写真、原稿の製作、資料調査および色見本の作製を行った。

表(4)－4 資料の補修、用品類の購入

部門	事 業 名	内 容
地質	岩石収納用木箱の購入	岩石・鉱物・化石標本の収蔵点数の増加により、これらを収納する収蔵庫専用の標本木箱24個を購入した。
歴史	古美術資料表装・修復	狩野存信筆「福祿寿図」の表装等を行った。 刀（無銘）の研磨及び白鞘製作を行った。
考古 歴史 民俗 共通	中性紙保存箱等の購入	文書・写真資料の恒久保存のため、これらを収納し保管する中性紙使用保存箱を購入した。

表(4)－5 機器類の保守点検と修繕

項 目	部 門	機 器 名 また は 内 容
保守点検	歴 史	マイクロリーダープリンター
	文化財科学	文化財科学実験システム(文化財科学室・器具庫・X線分析室空気清浄化システム)、表面分析装置(蛍光X線分析装置・走査型電子顕微鏡)、微量化学分析装置(ICP発光分光分析装置・ガスクロマトグラフ質量分析装置)、汎用科学分析装置(赤外分光光度計・微小表面拡大装置・示差熱重量同時分析装置)、保存処理機器(大型真空凍結乾燥機・小型真空凍結乾燥機・真空樹脂含浸装置)、博物館資料滅菌システム(文化財滅菌装置・ガス漏れ検知器)
修 繕	文化財科学	蛍光X線分析装置、小型真空凍結乾燥機(コールドトラップ・真空ポンプ等)、滅菌装置(Ar流量計等部品交換・活性炭交換)、マイクロウェーブ分解装置、ガスクロマトグラフ質量分析装置(制御部PC交換)、分析天秤(校正)、イオンメーター(電極交換)、グラインダー、電動マイクロピペット、乾湿両用クリーナー
その他	文化財科学	全館くん蒸消毒、文化財科学作業環境測定、使用済薬品等廃棄処分

## イ. 資料の保管管理

収集整理した資料は部門別または材質別に、第1～5収蔵庫で保管される。収集した資料について調査研究が行われ、学術的に重要と判定されたものが博物館資料として登録される。調査研究の過程で得られた学術データはデータベース化される。登録資料および学術データは常設展示や特別展示で公開されるほか、「収蔵資料目録」の刊行、資料貸出し等をとおり、他機関における活用にも積極的に協力している。

### (ア) 資料の貸出

博物館や出版社をはじめとする様々な機関から、所蔵資料および写真類について多数の貸出しの要請があり、実物資料については14件51点、画像(写真)資料については、68件170点の貸出しを行った。昨年度に引き続き被災文化財等レスキューに関する借用や、海外の雑誌に掲載するための借用もあった。

表(4) - 6 資料の貸出

担当部門	貸出先	資料名	点数
地質	久慈琥珀博物館	ダイノニクス	1
	久慈琥珀博物館	ダイノニクス1 モササウルス類の歯久慈標本1 モササウルス類の歯野田標本1	3
生物	岩手植物の会	笹村祥二「岩手県沿岸帯植物誌」、「御箱崎半島及び三貫島調査報告書」、 村井三郎「岩手植物誌」、「宮城縣植物目録」、「岩手県基準帯植物目録」、 「邦産ハンノキ属の植物分類地理学的研究」、「三陸町植物調査報告書」	7
考古	東和ふるさと歴史資料館	「衝角付胃 複製品」	1
	北上市立博物館	北上市和賀町愛宕遺跡出土接合資料(3063, 2172, 2432) 同石刃状剥片(384) 同基部整形石器(661) 同石刃状剥片(681)	6
民俗	盛岡市先人記念館	金田一コレクション「盃」	1
歴史	八戸市博物館	大矢文治・長澤文作「三閉伊日記」1 長崎俵物模型1	2
	青森県立美術館	吉田初三郎「岩手県観光鳥瞰図原画」	1
	盛岡市先人記念館	盛岡火力発電所工事概要	1
	もりおか歴史文化館	庭訓往来1 名頭字・開化商売往来1 子供早学問1 無覚悟状1 実語教・童子教1 九九・八算1 文字覚帳1 字之覚1 諸国はんくハの地 道の里案内1 おもしろい物とおもしろくない物取組1 安いものと大きいもの取組1 武勇合戦 古録1 扶桑名将寿語録1	13
	パナソニック汐留ミュージアム	高橋萬治「鬼霧丸釜」1 「月に時鳥文南部形鉄瓶」1 十九代有坂富右衛門「松 皮肌鉄瓶」1 「鏡肌鉄瓶」1 「第一回国勢調査記念品鉄瓶」1	5
	花巻新渡戸記念館	松岡円平(稻坂)短冊	1
	大阪歴史博物館、佐野美術館	黒漆塗燕尾形兜1 銀本小札紫糸威二枚胴具足1 鉄杵目鍛菊花鐔1 鍬形透栗 穂象嵌鐔1 三重輪透鐔1 桐透鐔1 胃鉢図鐔1 時雨亭透鐔1	8
合計			50

表(4) - 7 画像資料の貸出

部門名	貸出先(所在地)	資料名	点数
地質	仙台市科学館	おしかホエールランド外観(震災前)3 おしかホエールランド標本 レスキュー作業状況(震災後)1 歌津魚竜館ウタツギョリュウ(複 製)展示状況(震災前)2	6
	沿岸広域振興局	岩手県地質概略図	1
	岩手日報社	床板サンゴ類日石サンゴ1 シダ植物リンボク類1 四放サンゴシフ オノデンドロン1 腕足類レプトダス1 マメンキサウルス全身骨格 1 アンモナイト類アナパキディスキス1 ソテツ類ダイオーン1	7
	北三陸大地の恵み・ジオパーク推進 連絡会	アンモナイト(アナパキディスキス)	1
生物	(株)同成社	イヌワシの山	1
	久慈琥珀博物館	ウメバチソウ、バラ	2
	芥川緑地資料館	陸前高田市立博物館被災状況ほか3	4
	講談社サイエンティフィック	イヌワシ営巣地のジオラマ	1
考古	八重樫忠郎(平泉町)	兜跋毘沙門天立像(レプリカ)	1
	奈良国立博物館	豊岡遺跡遺物集成写真	1
	NHK山形放送局	一関市花泉町寺場遺跡出土土偶	2
	野田村教育委員会	蕨手刀(野田村上新山出土)	1
	NHK山形放送局	豊岡遺跡出土遮光器土偶	1
	雫石町教育委員会	岩手県東山町熊穴洞穴遺跡出土土製紡錘車図版	1
	(株)平凡社	盛岡市葦内遺跡出土大型土偶頭部正面画像	1
	(株)国際電気通信基礎技術研究所社会 メディア総合研究所	一関市花泉町寺場遺跡出土土偶1 雫石町塩ヶ森I遺跡出土土偶1 盛岡市手代森遺跡出土遮光器土偶1	3
	Archaeology Magazine	盛岡市葦内遺跡出土大型土偶頭部	1
	(株)新泉社	葦内遺跡出土大型土偶頭部2 手代森遺跡出土遮光器土偶1 豊岡遺 跡出土遮光器土偶1	4
	(株)岩手めんこいテレビ編成部	盛岡市葦内遺跡出土大型土偶頭部複製品1 同トーテムポール様木 製品複製品1 同漆塗り櫛複製品1	3
	(株)岩手県文化財愛護協会	豊岡遺跡出土遮光器土偶	1
	鹿児島県立埋蔵文化財センター	豊岡遺跡出土浅鉢形土器1 日戸遺跡出土鐔形土製品1	2
民俗	愛知県防災局防災危機管理課	「大津波記念碑(宮古市姉吉地区)」	1
	宮古市教育委員会	おしらさま	1
	(株)大悠社	旧佐々木家住宅	1

民俗	ふるさと岩手の芸能とくらし研究会	種市の駒踊	1	
	岡田 現三	綴り「神風神楽記」1 ノート (紫波町紫野シシ踊りほか) 1	1	
	映像制作 Y.M.O	杯	1	
	奥州市文化遺産活用実行委員会	奥野流富士麓行山鹿踊盃盆会奉納風景	1	
	(有)トコちゃんドットコム	えじこ	1	
	(有)青葉	えじこ	1	
	(株)本作り空	オカザリ (正月の餅花) 2 オカリアゲ 1 スルメツリ 1 ミズキダ ンゴ 2	6	
	(株)平凡社	めくら心経 2	2	
	二戸市立浄法寺歴史民俗資料館	二戸市浄法寺町子安地藏尊写真	1	
	岩手県立大学盛岡短期大学部	及川全三作品 21 及川全三写真アルバム 1 雑誌「暮らしの手帖」9 賞状 1 クリアブック 1	25	
	歴史	仙台市教育委員会	長母寺蔵『養虫山人絵日記』「田遊舞」	1
(株)東京サウンド・プロダクション		刺し子ジブ 1 釜石の漁港風景 1	2	
茂木 明子 (さいたま市)		釜石市鶴住居町常楽寺十王堂供養絵額	1	
(有)リゲル		「ペリー横浜行列及図並江戸湾警備諸大名絵図」	1	
大槌町教育委員会		三閉伊日記	1	
奥州市教育委員会		源勝寺所蔵像	1	
(有)三猿舎		「奥羽寒図記」の内盛岡停車場の場面、「三陸大津波惨状之美図」 「盛岡藩参勤交代図巻」	3	
(株)エフオインターナショナル		「毛越寺復元模型」	1	
(株)クリエイティブ・オルエッジ		源勝寺所蔵 銅造聖観音菩薩立像	1	
(株)帝国書院		長崎俵物「いりこ」「ほしあわび」「ふかひれ」いずれも複製	3	
(株)新潮社「芸術新潮」編集部		鯰尾兜 (燕尾形兜)	1	
(株)レマン		錦絵「義経蝦夷渡之図」歌川芳虎画	1	
(株)吉川弘文館		毛越寺・観自在王院模型	1	
(株)岩手めんこいテレビ平泉 FAN		前九年合戦屏風	1	
(株)同成社		金沢御山大盛之図	1	
(株)NHK エンタープライズ		錦絵「文治三年奥州高館合戦自衣川白竜昇天」	1	
(有)ハユマ		毛越寺・観自在王院模型	1	
(株)かみゆ		鯰尾兜 (燕尾形兜)	1	
NHK 大阪放送局		鯰尾兜 (燕尾形兜)	1	
(株)東日本放送コンテンツ制作部		当館寄託参勤交代絵巻	1	
金ヶ崎町教育委員会		艦船 模型	1	
(株)帝国書院		俵物 (いりこ・干鮑・ふかひれ) 複製	3	
(株)テレビ東京		鯰尾兜 (燕尾形兜)	1	
(株)日本国際放送		鯰尾兜 (燕尾形兜) 銀本小札紫糸威二枚胴具足	2	
八戸市教育委員会		南部信直書状 十月廿二日 (木村文書) 南部信直書状 十一月十六日 (木村文書) 南部信直書状 七月二十一日 (木村文書)	3	
(株)PHP エディターズ・グループ		「私残記」「三国通覧図説」	3	
新潮社		鯰尾兜 (燕尾形兜)	1	
八戸市教育委員会		「新編八戸市史 中世資料編」	1	
共通		盛岡市教育研究所	岩手県立博物館の外観	1
		神奈川県真鶴町立遠藤貝類博物館	海と貝のミュージアム被災状況 1 階玄関付近 1 同外観 1 海と貝の ミュージアム所蔵標本に生えたカビ 1 陸前高田市立博物館被災状 況玄関付近 1 同 1 階収蔵庫 1	5
		(株)オールアバウト	恐竜マメンキサウルス 1 手代森遺跡遮光器土偶 1	2
合計			136	

## (イ) 収蔵資料目録の刊行

『岩手県立博物館収蔵資料目録』第 26 集 民俗Ⅳ

(デジタルブック、平成 26 年 3 月 31 日)

平成 7 年度に刊行した第 12 集 民俗Ⅱの続編で、平成 7 年度 (1995-6) に登録された民俗資料 524 件の情報を収録した。その大部分は盛岡市の大村次盛氏旧蔵の多彩なコレクションである。

なお、収蔵資料目録は平成 24 年度発行の第 25 集をもって印刷物の出版をやめ、今年度から博物館ホームページ上でデータを一般公開することとした。



## (ウ) 文化財科学部門

岩手県立博物館には先人により今日に伝えられた貴重な文化財、自然界の営みを知るうえで重要な自然史標本をはじめとする多くの学術資料が収蔵・展示されている。これらの資料が携えている過去の情報および未来へのメッセージを自然科学的方法で解析し読み解くと共に、貴重な学術資料をできるだけ長くそのままの状態の後世に伝えることを目的として、文化財科学部門が設置されている。

### a. 資料の保管・管理

博物館資料をできるだけ長く後世に伝えるためには、資料の素材に適した保存環境を設定する必要がある。岩手県立博物館では収蔵庫および展示場に温湿度記録計を設置し、温湿度変化を継続的に観察している。その結果をふまえ空調機をコントロールして、展示場および収蔵庫内の温度を 18～23℃、湿度を 55～65%に維持することに努めている。

特に精度の高い湿度管理を行う必要がある資料については、調湿剤をセットしたエアタイトケースを使い展示している。出土金属器及び木器については、脱酸素剤及び調湿剤を入れた透湿抵抗の高いフィルムに封入し、劣化の進行防止を図っている。平成 19 年度からは空調機の稼働方法を見直し、省エネと二酸化炭素排出の抑制にも取り組んでいる。

### b. 生物学的劣化からの防除

有機化学物質を素材とする資料は、虫や黴により食害される心配がある。新たに博物館に搬入される資料には有害な虫や黴が付着している可能性があり、そのままの状態では収蔵庫や展示場に運び込まれた場合、急激に繁殖する恐れがある。有害な虫や黴から資料を守るため、岩手県立博物館では新規に搬入された資料については必ず滅菌機でくん蒸処理を行っている。平成 25 年度の滅菌機によるくん蒸実施状況は表(4)―8 に示すとおりである。

表(4)―8 滅菌装置によるくん蒸実施状況

部門	資料種別	数量	単位	備考
生物	昆虫標本（ドイツ箱入）	105	箱	書籍・撮影機材・企画展用資材等
	押し葉標本	25	箱	
	その他	22	件	
考古	テーマ展用資料	25	箱	土器・井戸杵・仏像等
歴史	古文書・書籍等	33	箱	屏風・軸物・仏像等
	その他	10	件	
民俗	民俗資料	65	件	書籍等
	その他	10	件	
被災資料	陸前高田市立博物館所蔵紙製資料	83	箱	古文書・書籍類・紙芝居等

平成 25 年 9 月 1 日から 10 日まで、密閉くん蒸法により、第一・第二・第四収蔵庫、歴史・古美術整理室、及び第二書庫をくん蒸した。平成 25 年 6 月及び平成 25 年 10 月には、館内の害虫生息状況について実態調査を実施した。さらに全館くん蒸実施後、有害な虫や黴の発生源となる空調機の送排風口、収蔵庫の棚に固着する塵埃の除去を行った。

平成 26 年度についても、有害な虫や黴の発生を抑制する良好な展示・収蔵環境の確立を図るため、労働安全衛生法および関連諸規則を順守しつつ、生物学的劣化防除のための対策を施す予定である。

### c. 資料の科学分析・保存処理

資料を現状のまま長く保存するためには、資料の内部構造、製作に使用された素材を正確に把握する必要がある。そこで岩手県立博物館では、EPMA(電子線・プローブ・マイクロアナライザー)、蛍光X線分析装置をはじめとする表面分析装置、高周波誘導結合プラズマ発光分光光度計、及びガスクロマトグラフなどの微量分析機器を駆使し、文化財を自然科学的方法で調査している。なお、開館以来使用し続けている分析装置の多くは、老朽化によりその使用に支障を来たしており、機器の更新を順次計画している。平成25年度は「文化財対応特水平型X線回折装置」の更新を行った。

劣化の進行が著しく、形状保全が難しいと判断された資料については、保存処理を行い、形状保持を図っている。平成25年度の岩手県立博物館関係資料の分析・保存処理実施状況は表(4)―9のとおりである。

表(4)―9 館関係資料の分析・保存処理実施状況

分析・処理内容	点数
漆資料の自然科学的調査	33
紙資料の自然科学的調査	23
土器資料の自然化学的調査	15
出土銅製品の修復・自然科学的調査	63
出土鉄器の自然科学的調査・保存処理	252
ガラス資料の自然科学的調査	3
出土木製品の保存処理	7

文化財を科学分析するにあたり、機器の安全で円滑な使用を図るため、労働安全衛生法および関連諸規則等の法令に定められている機器保守点検、作業環境測定、及び使用済薬品の無害化処理の委託(表(4)―10)を実施した。これらの科学分析によって得られた情報は、資料の保存方法、保存環境の設定に生かされている。

表(4)―10 委託事業

委託事業名	数量	単位	備考
全館くん蒸消毒(6,669m <sup>3</sup> )	5	箇所	第一・第二・第四収蔵庫、歴史・古美術整理室、第二書庫
文化財科学機器保守点検	6	件	表面分析装置、微量化学分析装置、汎用科学分析装置、保存処理機器、博物館資料滅菌システム、文化財科学実験システム
文化財科学作業環境測定	1	件	
使用済薬品等廃棄処分	1	件	

## (5) 総務企画調整

### ア. 総括出版広報

#### (ア) 印刷物

##### a. 博物館だより No.137~140 (A4判、8頁、各3,200部)

**137号**：目次／川の上を飛ぶゲンジボタル 表紙／エッセイ「地図の魅力」p.2／事業報告「チャレンジ! はくぶつかん」、活動レポート「みんなでつくる植物誌」p.3／展覧会案内「いわての光る生きものたち」p.4-5／いわて文化ノート「新発見! 天明三年田山暦の謎」p.6-7／インフォメーション p.8

**138号**：目次／川口月嶺筆「花籠図屏風」表紙／いわて自然ノート「世界の早池峰山が危うい」p.2-3／展覧会案内「盛岡藩絵師 川口月嶺のまなざし」p.4-5／事業報告「伝統芸能鑑賞会 一戸の山伏神楽～高屋敷神楽公演」「こども☆ひかりキラキラ復興フェスティバル」p.6／事業報告「第65

回自然観察会 津波に耐えた砂浜の植物」 「第 65 回地質観察会を終えて」 p.7/インフォメーション p.8

**139 号**：目次/田鎖鶴立斎筆「花鳥図」 表紙/いわて文化ノート「1 枚の絵をひも解く」 p.2-3/ 展覧会案内「新収蔵資料展—2008～2012 新コレクション—」 p.4-5/事業報告「第 1 回考古学セミナー現地見学会」「早池峰山周辺の地質（県博日曜講座・第 66 回地質観察会）」 p.6/事業報告「夏休み子ども招待事業～夏休み！たんけん博物館」「よりよいものに 進化する博物館まつり」 p.7/インフォメーション p.8

**140 号**：目次/比爪館跡出土遺物 表紙/いわて文化ノート「明治期の博覧会と物産会」 p.2-3/展覧会案内「比爪—もう一つの平泉—」 p.4-5/活動レポート「釜石市片岸貝塚・野田村平清水Ⅲ遺跡」 p.6/事業報告「関西での「平成の大津波被害と博物館」巡回展」、平成 25 年度 岩手県文化振興事業団プレゼンツ「文化・芸術が集うとき in 紫波町」 p.7/インフォメーション p.8

## **b. 平成 24 年度岩手県立博物館年報**

(A4 判相当 PDF 版、60 頁、平成 25 年 5 月 31 日発行)

## **c. 行事案内リーフレット**

**平成 25 年度下半期分** (B4 変形・巻四ツ折、26,000 部、平成 25 年 8 月発行)

**平成 26 年度上半期分** (B4 変形・巻四ツ折、26,000 部、平成 26 年 3 月発行)

## **(イ) 広報活動**

- a. **当館独自の広報** イベントガイド（毎月、市内公共施設および松園地区配布、約 1,600 部）、新聞広告（岩手日報ぽらん 読売新聞）、その他各事業別ちらし（随時） 等。
- b. **その他の公所** ①教育記者クラブ、②日博協、③全科協、④県生涯学習推進センターHP「まなびネット」、⑤県観光協会、⑥盛岡観光コンベンション協会 等。
- c. **新聞各社への情報** 胆江日日新聞、デーリー東北、東海新報、盛岡タイムス 等。
- d. **ミニコミ誌等** acute、Amuse、vivitto、マ・シェリ、游悠、rakra 等。

## **(ウ) 博物館公式ホームページの運営**

岩手県立博物館公式ホームページ

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

公式ホームページは、平成 13 年 3 月 1 日に正式公開された。平成 24 年度末に委託製作によりデザインを刷新し、またウェブ上のプログラムを介して内容を更新できるシステムを導入することにより、更新頻度を高めた。その結果、平成 25 年度はトップページの閲覧回数が 79,311 回と前年度より 13%増加し、特に 5 月と 7・8 月の閲覧回数が多かった（図）。その他のページでは、博物館の概要、企画展・テーマ展などの展覧会案内、続けて展示室案内のページの閲覧回数が多かった。

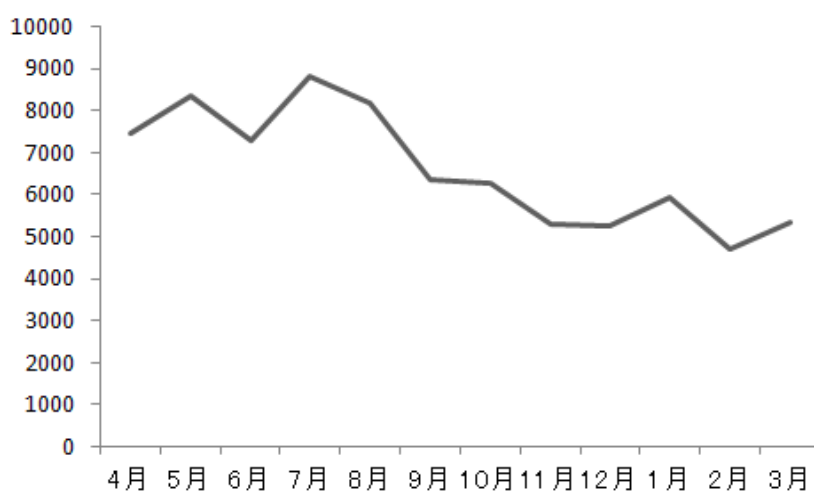


図 トップページの月別閲覧回数 (平成 25 年度)

## イ. 情報機器の管理

平成 25 年度は、インクジェットプリンター1 台を更新した。

## ウ. 委員会等職員派遣

表 (5) - 1 平成 25 年度外部団体等への委員の派遣一覧

No.	月 日	委嘱元	委員会等名称	内 容	派遣職員
1	6 月 4 日	釜石市教育委員会	平成 25 年度第一回釜石市橋野高炉跡史跡整備委員会	国指定史跡・橋野高炉遺跡の整備と活用についての検討	赤沼英男
2	6 月 21 日	北三陸大地の恵み・ジオパーク推進連絡会	委員会名なし	久慈層群現地調査	大石雅之
3	7 月 14 日	二戸市	折爪岳振興協議会	地域の宝ヒメボタルフェスティバル in 折爪岳運営	藤井千春
4	7 月 18 日	生物多様性 JAPAN	「大規模災害と生物多様性 DAB」プロジェクト実行委員会	ワークショップのための事前打ち合わせ	鈴木まほろ
5	8 月 5 日	岩手県高等学校教育研究会理科部会生物部会	高教研理科部会生物部会実験書編集委員会	平成 25 年度高教研理科部会生物部会第 1 回実験書編集委員会	藤井千春
6	8 月 30 日	東京国立博物館	東京国立博物館列品修理請負候補選定委員会	東京国立博物館所蔵考古資料の修理機関選定のため	赤沼英男
7	10 月 8 日	釜石市教育委員会	平成 25 年度第 2 回岩手県釜石市橋野高炉跡整備検討委員会	国指定史跡・橋野高炉遺跡の整備と活用についての検討 (世界遺産に向けた取り組み)	赤沼英男
8	11 月 19 日	岩手県高等学校教育研究会理科部会生物部会	高教研理科部会生物部会実験書編集委員会	平成 25 年度高教研理科部会生物部会第 2 回実験書編集委員会	藤井千春
9	12 月 3 日	東京大学大気海洋研究所	東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会	「水族館との共同研究。その現状と、将来展望に期待を込めて」被災液浸標本について	藤井千春
10	12 月 13 日	株式会社グリーンシグマ	早池峰山周辺地域のニホンジカの生息状況・森林影響等調査に係る検討委員会	平成 25 年度早池峰山周辺地域のニホンジカの生息状況・森林影響等調査に係る検討委員会 (第 1 回)	鈴木まほろ
11	12 月 20 日	岩手県環境生活部自然保護課	いわて RDB 改訂検討委員会	いわて RDB 改訂検討委員会	鈴木まほろ
12	12 月 21 日	生物多様性 JAPAN	「大規模災害と生物多様性 DAB」プロジェクト実行委員会	国内ワークショップ「大規模自然災害と生物多様性—2014 国際シンポジウム事前集會—」	鈴木まほろ
13	1 月 22 日	釜石市教育委員会	平成 25 年度第 3 回釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	国指定史跡・橋野高炉遺跡の整備と活用についての検討 (世界遺産に向けた取り組み)	赤沼英男
14	1 月 25 日	日本洞穴学研究所	日本洞穴学研究所事務局	平成 25 年度龍泉洞調査	藤井千春

15	1月29日	生物多様性 JAPAN	「大規模災害と生物多様性 DAB」プロジェクト実行委員会	国際ワークショップ「大規模自然災害と生物多様性」	鈴木まほろ
16	2月18日	株式会社グリーンシグマ	早池峰山周辺地域のニホンジカの生息状況・森林影響等調査に係る検討委員会	平成25年度早池峰山周辺地域のニホンジカの生息状況・森林影響等調査に係る検討委員会(第2回)	鈴木まほろ
17	3月1-9日	東京大学大気海洋研究所	東京大学大気海洋研究所国際・研究推進チーム	平成25年度「新青丸」KS-14-1次研究航海(東北海域総合調査)	藤井千春
18	3月6日	福島県立博物館	収集展示委員会	平成25年度事業実施状況および平成26年度開催予定企画展等について	大石雅之
19	3月28日	盛岡市子ども科学館	盛岡市子ども科学館協議会	平成25年度第2回盛岡市子ども科学館協議会	藤井忠志

## 6. 文化財レスキュー活動

### (1) はじめに

多くの尊い生命と財産を一瞬にして奪った東日本大震の発生から3年4ヶ月が経過した。わが国観測史上最大の自然災害発生を受け岩手県立博物館(以下、当館)では、平成23年4月2日から今日に至るまで、岩手県太平洋岸に設置された被災博物館及びその関連施設に保管されている貴重な文化財・自然史標本等の救出と再生を図るため、岩手県教育委員会と連携し、平成25年3月末日までは文化庁が設置した東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会(以下、救援委員会)をはじめとする様々な機関ならびに個人の支援を得ながら、救援委員会が解散した平成25年4月1日以降は文化庁が準備した被災ミュージアム再興事業を活用し、東京国立博物館、国立科学博物館をはじめとする様々な機関と広域連携を図りながら救援活動を行ってきた。ここでは平成25年度の活動状況を報告し、併せて平成25年度以降の課題について述べる。

### (2) 被災ミュージアム再興事業による救援活動

平成25年度は文化庁が定めた被災ミュージアム再興事業を活用し、陸前高田市立博物館及び釜石市郷土資料館所管救出資料修復の支援を行った。陸前高田市は岩手県沿岸部の中でも最も深刻な被害を受けた自治体の一つで、文化施設に限っても、陸前高田市立博物館、陸前高田市立図書館、海と貝のミュージアム、埋蔵文化財保管庫の4施設が被災し、合計31万点を超える資料が救出された、とされる。陸前高田市から救出された資料のうち、古文書や雑誌といった紙を素材とする未処理資料を除く救出資料は、仮設陸前高田市立博物館(旧陸前高田市立生出小学校)、当館、奥州市埋蔵文化財センター及び県立美術館に分散保管されている。紙を素材とする未処理資料については、そのままの状態でも保管した場合一層腐朽が進む。平成26年3月末現在、紙を素材とする35,000点以上の未処理資料は、山形文化遺産防災ネットワーク(以下、山形ネット)が調達した民間冷凍庫、盛岡市近郊の民間冷凍庫、仮設陸前高田市立博物館、及び当館敷地内設置冷凍庫内で保管されている。

釜石市では釜石市郷土資料館別館収蔵庫として民俗資料の保管に活用されていた旧釜石市立第一中学校1階教室に、大津波が床から数十センチの高さまで浸入した。212点の民俗資料が海水損し、壁や天井にもカビの発生が確認された。平成22年8月に開館した釜石市戦災資料館は海沿いの市街地に立地するビルの1階を利用し開設されていたため、大津波の直撃で壊滅的被害を受けた。収蔵・展示資料もその大半が流失し、かろうじて流失を免れた戦災資料(弾頭・艦砲射撃の砲弾・軍服・大型のプロ

ペラ等) 12点が釜石市郷土資料館に移送された。

既述のとおり、当館では震災が発生した年の平成23年4月2日から平成25年3月31日まで、文化庁が設置した救援委員会と連携し、緊急雇用制度の活用と外部機関及び個人からの人的・物的支援を得ながら、被災資料の救出及び安定化処理(救出した資料の劣化要因を可能な限り取り除き、資料の劣化進行を防止し長期にわたり安定的に保管できる状態にすること)を実施してきた。陸前高田市から救出された紙を素材とする資料(古文書等)、大工道具や絵馬をはじめとする民俗資料、考古資料、及び自然史標本等約9万点が、平成23年7月頃までに岩手県立博物館に運び入れられ、順次安定化処理が施されてきた。当館では、安定化処理が完了した資料については原則として一年以上の経過観察期間を設け、様々な措置を施した資料の経年劣化の有無について調べている。

いうまでもなく海水損した資料の安定化処理方法は、わが国はもとより、国際的にみても未確立であるため、文化財あるいは自然史標本を取り扱う専門の機関、個々の研究者と連携し、試行錯誤を重ねながら処理方法を構築してきた。釜石市郷土資料館別館収蔵庫については代替保管場所が確保できなかったため、平成23年7月に浸水した室内のクリーニングと、汚れた資料の洗浄処理作業を行った(写真1)。この作業は釜石市教育委員会職員、当館職員、遠野市立博物館、岩手歴史民俗ネットワーク、山形ネット、及び釜石市民ボランティアの支援を得て行われた。一



写真1 釜石郷土資料館での救援活動

方、戦災資料館から救出された資料については、その脱塩方法および乾燥方法を釜石市教育委員会職員に説明し、劣化防止を図った。確立した安定化処理方法については、被災機関はもとより、被災資料の安定化処理および修復を行っている機関にも積極的に公表してきている。

平成24年5月、文化庁は新たに被災した博物館またはその類似施設が所管し、救出された資料もしくは救出され安定化処理が施された資料を対象に、その抜本修復と長期保管に必要な施設・設備の整備を図るため、被災ミュージアム再興事業を定めた。岩手県では陸前高田市、大船渡市、釜石市、及び山田町の4市町がこの事業を活用し、被災資料の修復・仮設保管庫の整備に着手した。当館では陸前高田市及び釜石市からの要請を受け、大工道具を主体とする民俗資料の安定化処理・抜本修復、金属考古資料の保存処理、及び富士製鐵株式会社(現新日鉄住金)釜石製鉄所において生産されたなまこ銑等の安定化処理と保存処理を実施し、陸前高田市からの依頼資料については現地の受け入れ態勢が整うまで、当館において保管することとした。既述のとおり、平成25年度についても平成24年度同様、陸前高田市及び釜石市からの要請を受け、被災資料の安定化処理及び抜本修復を実施した。

### (3) 平成25年度の救援活動

平成25年度、陸前高田市から依頼された資料は、紙を素材とする資料の安定化処理または抜本修復、漁撈用具(国登録有形民俗文化財)540点の安定化処理及び防錆処理、金属考古資料37点の保存処理、おし葉標本3,000点の抜本修復及び3,000点のデータベース化の4つに大別される。紙を素材とする資料については紙芝居の安定化処理及び抜本修復、漫画本・和綴本の安定化処理、教科書の抜本修復の3つに細分され、合計4,000点に上る資料の処理を実施した。紙芝居及び教科書の抜本修復ははじめて行



う作業だったことから、東京都中央図書館で書籍の修復業務に従事されている佐々木紫乃氏から修復に必要な基礎技術を指導していただき、作業を続けた。

陸前高田市立博物館が所蔵していた国登録有形民俗文化財「陸前高田の漁撈用具」は被災以前2,045点あったが、平成24年11月、文化庁伝統文化課石垣悟調査官立ち会いの下、最終的に1,922点の現存と123点の流失が確認された。現存が確認された資料は様々な素材で構成されていて、木部や藁、繊維の一部にカビが発生し、鉄部については錆の進行が著しかった。再生方法について担当官の指導・助言を基に、以下の方法で臨むこととした(写真2)。



写真2 文化庁担当官による被災漁撈用具再生法についての指導

- ① 安定化処理および防錆処理は岩手県立博物館で実施
- ② 岩手県立博物館の設備では対処できない大形資料については元興寺文化財研究所で実施
- ③ 解体・修理が必要な資料については、①または②いずれかの方法で安定化処理を施した後、広田半島において伝統的に培われてきた技術を有する陸前高田市立博物館・民俗資料収集協力員村上覚見氏の手で実施

なお、岩手県立博物館で実施している安定化処理手順は図1に示すとおりである。

- ① X線透過撮影による資料内部構造の確認。
- ② 水(水道水)に浸しながら、資料表面に固着した土砂を刷毛及びブラシにより除去。
- ③ 次亜塩素酸ナトリウム水溶液(市販されている12%溶液を水道水で希釈し、400~600ppmに調製したもの)に約30分浸漬した後、水溶液中で刷毛を用い資料表面をクリーニング。資料を水溶液から取り出し、流水で洗浄。
- ④ 15分間水道水を用いて超音波洗浄処理。
- ⑤ 水道水に浸漬し脱塩処理。
- ⑥ 24時間毎に塩化物イオン濃度を測定。塩化物イオン濃度が水道水(6ppm)以下に達するまで脱塩を継続。
- ⑦ 目標値に到達した後、精製水に72時間浸漬し塩化物イオン濃度が6ppm以下にあることを確認し、脱塩処理を終了。
- ⑧ 金属部の表面に浮き出た錆を、ステンレス製ブラシを使い除去。
- ⑨ 素材・形状に応じ真空凍結乾燥または自然乾燥。
- ⑩ 乾燥した資料をくん蒸。
- ⑪ ガスバリアフィルム製袋に脱酸素剤とともに資料を入れ密封。
- ⑫ 経過観察。



図1 民俗資料の安定化処理手順 {目時和哉(2014)岩手県立博物館調査研究報告書 第30冊「岩手県における東北地方太平洋沖地震被災文化財等の再生へ向けた取り組み-被災から3年目における成果と課題-」岩手県立博物館編による}

#### (4) 活動成果の公表

当館では、平成25年1月5日から3月17日までテーマ展「2011.3.11 平成の大津波被害と博物館 ―被災資料の再生をめざして―」を特別展示室において開催した。上記テーマ展の主要部分は、同年5月15日から6月22日まで、東京都世田谷区にある昭和女子大学光葉博物館において展示された。その後、公益財団法人日本博物館協会及び特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク主催、

陸前高田市立博物館及び当館の共催により、大阪市立自然史博物館（会期：8月24日～10月14日）、奈良県橿原市昆虫館（10月22日～11月17日）、兵庫県伊丹市昆虫館（11月21日～12月23日）において巡回展示された。上記巡回展示は、自然史資料の再生に関する部分を中心に構成された。

平成26年2月8日から3月23日まで、東京都及び江戸東京博物館主催、公益財団法人日本博物館協会、岩手県立博物館、陸前高田市教育委員会、及び昭和女子大学の共催により、平成25年1月5日から3月17日まで当館において展示された内容に、その後新たに安定化处理・修復がなされた資料を加えた特集展示が、江戸東京博物館において開催された(写真3)。平成26年2月10日には天皇、皇后両陛下が同展示を視察された。避難者の多くが犠牲になった岩手県陸前高田市民体育館の壁掛け時計、海水を含んだ泥が固着した状態から修復された昆虫標本や、釜石市鶴住居地区から救出された観音立像などをご覧になられ、救出、修復に携わった方々の労をねぎらわれた。会期中、根本復興大臣、谷復興副大臣をはじめ、多くの方々が特集展示を視察された。会期中の入館者は最終的に49,000人を超えた。被災資料、そして博物館機能再生が被災地域の復興に重要な役割を果たすことを主題とした特集展示の目的が、多くの方々に理解されたものと思われる。



写真3 江戸東京博物館で開催された特集展

## （5）被災資料再生における今後の課題

平成25年度の活動成果について述べてきた。これまで順調に進んできた被災資料の再生も新たな局面を迎え、解決すべき複数の課題に直面している。その一つに、作業スペースの確保がある。これまで安定化处理および抜本修復は、当館実技室、教室、写真室等を使用して行ってきたが、博物館の業務が本来の姿に戻るにつれ、現行スペースでは、両者の両立が難しい状況となってきた。膨大な被災資料をこれまで以上に効率よく再生させるためには、新たな作業施設の確保が不可欠である。この課題を解決するため、関係機関と協議し、岩手県立博物館本館に併設する仮設作業施設の設置を進めてきた。幸い、平成26年3月末日に設置が完了し、現在本格稼働に向けた準備が進められている。

被災資料の中には、インクで書かれた書簡類、水彩画、油彩画等水洗不能で、これまで確立した安定化处理方法では対処が困難な資料が多数含まれている。これらの資料に対しては今後新たな方法を構築し、措置を施していかなければならない。このような第二の課題解決のためには、これまで以上に国立の博物館、大学等との連携を密にし、新たな措置方法の確立と実資料への応用を図って行く必要がある。今回設置した仮設作業施設の2階は、広域連携による技術開発と確立された技術の実践を進めるべく設置された空間である。平成26年度はこの仮設作業施設を被災資料再生の核として有効に活用していく予定である。皆様におかれては、当館の取組にご理解いただき、これまで同様、暖かいご支援、ご指導をお願いしたい。





二戸市折爪岳 ヒメボタルを育む森に会いに行こう

7月14日(日) 参加者 41人

講師 兵庫県立人と植物の博物館 八木剛氏

**(エ) 第4回 「地質観察会」** (県博と共催)

盛岡市築川～花巻市大迫町早池峰ダム

9月23日(月・祝) 参加者 36人

講師 宮城教育大学 川村寿郎氏

産業技術研究所 内野隆之氏

**ウ. 話のサロン(講演会)**

**(ア) 第1回「四百年の時空を超えて」**(「集い」と兼ねる)

博物館教室 5月11日(土) 参加者 38人

講師 第39代北家当主(企画委員) 北敏昭氏

**(イ) 第2回「新春を彩る岩手の蘇民祭」**(県博日曜講座)

博物館講堂 8月25日(日) 参加者 31人

講師 県博専門学芸員 川向富貴子氏

**(ウ) 第3回「蝦夷の経済活動」**

博物館教室 11月17日(日) 参加者 36人

講師 岩手大学 八木光則氏

**(エ) 第4回「みんなでつくろう岩手の植物誌」**

博物館講堂 2月9日(日) 参加者 66人

講師 東北大学植物園 米倉浩二氏

東北植物研究会宮城植物の会 上野雄規氏

**エ. 「集い」(総会)「第1回話のサロン」と兼ねる**

博物館教室 5月11日(土)

**オ. 会報発行等**

**(ア) 「友の会会報」発行** (A4版8頁、500部)

4回(No.92～95)発行 (4, 7, 10, 2の各月)

**(イ) 「友の会通信」発行** (A4版両面刷り2頁、500部)

4回(No.97～100)発行 (6, 9, 12, 3の各月)

**(ウ) 「博物館だより」発送**

年4回発送(No.137～140) (6, 9, 12, 3の各月)

**(エ) 「博物館行事案内」発送**

年2回(4, 9各月)

**(オ) 県博の行事等の案内、要項を年9回開催の友の会企画委員会で随時発送**

**(カ) ボランティア活動**

「文化財レスキュー」被災標本・古文書などのレスキュー ボランティア募集したところ会員数名が、現在被災標本のカビ等を洗浄・除去、乾燥・整理などの活動に従事している。

**カ. 博物館事業への協力**

県博日曜講座の一部を博物館と共催とし、博物館まつりの昔遊びでは企画委員のほかに数名の会員の協力を得て、いろいろな昔遊びを子供たちと一緒に遊び指導することができた。

## 8. 博物館入館者利用状況

### 開館以来の入館者数（総利用人数）

年度	総利用人数				開館日数	1日平均 利用人員
	一般	高大学生	小中学生	計		
昭 55	95,469	6,563	22,960	124,992	146	856
昭 56	145,756	10,908	50,621	207,285	298	696
昭 57	106,400	8,673	44,210	159,283	297	536
昭 58	87,531	8,903	34,405	130,839	298	439
昭 59	81,247	8,451	36,357	126,055	299	422
昭 60	78,701	10,825	36,703	126,229	297	425
昭 61	69,226	9,765	37,551	116,542	298	391
昭 62	65,570	9,500	40,731	115,801	299	387
昭 63	58,908	9,526	36,922	105,356	296	356
平元	56,379	11,139	37,960	105,478	297	355
平 2	65,021	11,049	34,432	110,502	299	370
平 3	60,880	11,917	30,926	103,723	298	348
平 4	55,309	10,793	28,354	94,456	298	317
平 5	98,842	9,995	32,034	140,871	298	473
平 6	42,164	6,246	19,460	67,870	297	229
平 7	52,296	5,546	19,038	76,880	298	258
平 8	44,719	4,855	16,773	66,347	297	223
平 9	34,682	4,123	14,435	53,240	289	184
平 10	43,966	4,980	12,669	61,615	298	207
平 11	26,762	4,576	9,997	41,335	298	139
平 12	24,315	3,624	12,175	40,114	297	135
平 13	24,436	2,780	11,709	38,925	300	130
平 14	28,859	2,219	12,281	43,359	297	146
平 15	23,742	1,852	11,741	37,335	298	125
平 16	27,149	1,337	10,099	38,585	297	130
平 17	39,795	2,090	12,081	53,966	299	180
平 18	23,947	1,644	12,649	38,240	303	126
平 19	24,473	1,515	13,221	39,209	304	129
平 20	25,287	836	14,858	40,981	302	136
平 21	25,010	1,279	15,051	41,340	300	138
平 22	23,510	1,293	11,276	36,079	292	124
平 23	16,021	1,018	13,604	30,643	301	102
平 24	21,069	1,027	15,309	37,405	302	124
平 25	25,006	960	18,244	44,210	302	146
総計	1,722,447	191,807	780,836	2,695,090	9,989	9,482
平均	50,660	5,641	22,966	79,267	294	270

### 平成 25 年度月別入館者数

区分 月	総利用人数				開館日数	1日平均 利用人員
	一般	高大学生	小中学生	計		
4	1,861	63	812	2,736	26	105
5	2,650	130	1,350	4,130	27	153
6	3,805	152	3,711	7,668	26	295
7	3,041	101	2,302	5,444	26	209
8	3,262	170	2,344	5,776	29	199
9	885	52	934	1,871	17	110
10	3,028	105	2,543	5,676	27	210
11	1,692	56	1,060	2,808	26	108
12	893	18	622	1,533	24	64
1	1,006	37	884	1,927	24	80
2	1,054	29	693	1,776	24	74
3	1,829	47	989	2,865	26	110
計	25,006	960	18,244	44,210	302	146

開館以来の入館者数（利用区分別）

区分 年度	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計
昭 55	69,259	4,275	16,657	90,191	24,506	465	2,036	27,007	1,704	1,823	4,267	7,794
昭 56	87,659	5,233	21,762	114,654	54,724	637	4,458	59,819	3,373	5,038	24,401	32,812
昭 57	66,727	3,275	16,722	86,724	35,538	648	3,498	39,684	4,135	4,750	23,990	32,875
昭 58	51,058	2,348	11,723	65,129	33,072	775	2,743	36,590	3,401	5,780	19,939	29,120
昭 59	48,286	2,195	11,338	61,819	28,982	635	2,378	31,995	3,979	5,621	22,641	32,241
昭 60	46,054	2,137	10,007	58,198	29,308	411	2,104	31,823	3,339	8,277	24,592	36,208
昭 61	39,516	1,911	8,830	50,257	25,888	445	2,010	28,343	3,822	7,409	26,711	37,942
昭 62	39,761	1,803	8,647	50,211	22,645	339	1,860	24,844	3,164	7,358	30,224	40,746
昭 63	37,362	1,910	8,018	47,290	18,817	551	2,155	21,523	2,729	7,065	26,749	36,543
平元	34,617	1,866	7,386	43,869	18,465	208	1,224	19,897	3,297	9,065	29,350	41,712
平 2	38,272	2,034	8,334	48,640	21,014	827	1,046	22,887	5,735	8,188	25,052	38,975
平 3	35,073	1,851	6,993	43,917	18,810	1,026	2,031	21,867	6,997	9,040	21,902	37,939
平 4	33,581	1,743	6,735	42,059	15,239	1,423	1,190	17,852	6,489	7,627	20,429	34,545
平 5	36,726	2,018	8,406	47,150	10,300	844	1,197	12,341	51,816	7,133	22,431	81,380
平 6	26,121	1,415	5,588	33,124	9,112	755	673	10,540	6,931	4,076	13,199	24,206
平 7	30,654	1,768	5,980	38,402	9,193	947	610	10,750	12,449	2,831	12,448	27,728
平 8	25,328	1,464	4,674	31,466	7,597	559	593	8,749	11,794	2,832	11,506	26,132
平 9	21,204	1,463	4,277	26,944	4,955	314	483	5,752	8,523	2,346	9,675	20,544
平 10	20,459	1,211	4,189	25,859	6,477	749	276	7,502	17,030	3,020	8,204	28,254
平 11	15,532	928	4,055	20,515	4,808	207	292	5,307	6,422	3,441	5,650	15,513
平 12	14,262	1,149	4,564	19,975	4,174	299	184	4,657	5,879	2,176	7,427	15,482
平 13	12,301	833	3,548	16,682	6,491	42	213	6,746	5,644	1,905	7,948	15,497
平 14	18,160	1,012	6,704	25,876	4,147	208	362	4,717	6,552	999	5,215	12,766
平 15	13,957	676	5,335	19,968	2,660	60	348	3,068	7,125	1,116	6,058	14,299
平 16	13,897	661	4,033	18,591	3,850	138	363	4,351	9,402	538	5,703	15,643
平 17	26,603	1,164	6,935	34,702	3,417	128	218	3,763	9,775	798	4,928	15,501
平 18	14,019	666	7,102	21,787	1,479	298	335	2,112	8,449	680	5,212	14,341
平 19	14,436	622	7,226	22,284	1,739	119	381	2,239	8,298	774	5,614	14,686
平 20	14,317	511	6,928	21,756	1,822	71	320	2,213	9,148	254	7,610	17,012
平 21	12,914	547	7,055	20,516	1,516	82	374	1,972	10,580	650	7,622	18,852
平 22	14,016	634	6,448	21,098	1,536	443	286	2,265	7,958	216	4,542	12,716
平 23	8,833	374	6,135	15,342	830	110	806	1,746	6,358	534	6,663	13,555
平 24	12,603	458	7,437	20,498	1,084	251	521	1,856	7,382	318	7,351	15,051
平 25	14,799	532	9,106	24,437	1,169	230	638	2,037	9,038	198	8,500	17,736
総計	1,008,366	52,687	268,877	1,329,930	435,364	15,244	38,206	488,814	278,717	123,876	473,753	876,346
平均	29,658	1,550	7,908	39,116	12,805	448	1,124	14,377	8,198	3,643	13,934	25,775

平成 25 年度月別入館者数（利用区分別）

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計
4	1,337	26	618	1,981	23	37	0	60	501	0	194	695
5	1,603	49	700	2,352	227	72	1	300	820	9	649	1,478
6	1,426	41	1,194	2,661	150	75	10	235	2,229	36	2,507	4,772
7	2,146	73	1,395	3,614	185	0	160	345	710	28	747	1,485
8	2,650	125	1,824	4,599	166	2	233	401	446	43	287	776
9	619	30	327	976	10	22	30	62	256	0	577	833
10	1,392	40	900	2,332	129	0	17	146	1,507	65	1,626	3,198
11	801	32	391	1,224	122	22	17	161	769	2	652	1,423
12	507	11	383	901	22	0	0	22	364	7	239	610
1	596	30	415	1,041	4	0	43	47	406	7	426	839
2	578	29	323	930	55	0	72	127	421	0	298	719
3	1,144	46	636	1,826	76	0	55	131	609	1	298	908
計	14,799	532	9,106	24,437	1,169	230	638	2,037	9,038	198	8,500	17,736

教育普及事業参加人数 23,825 人

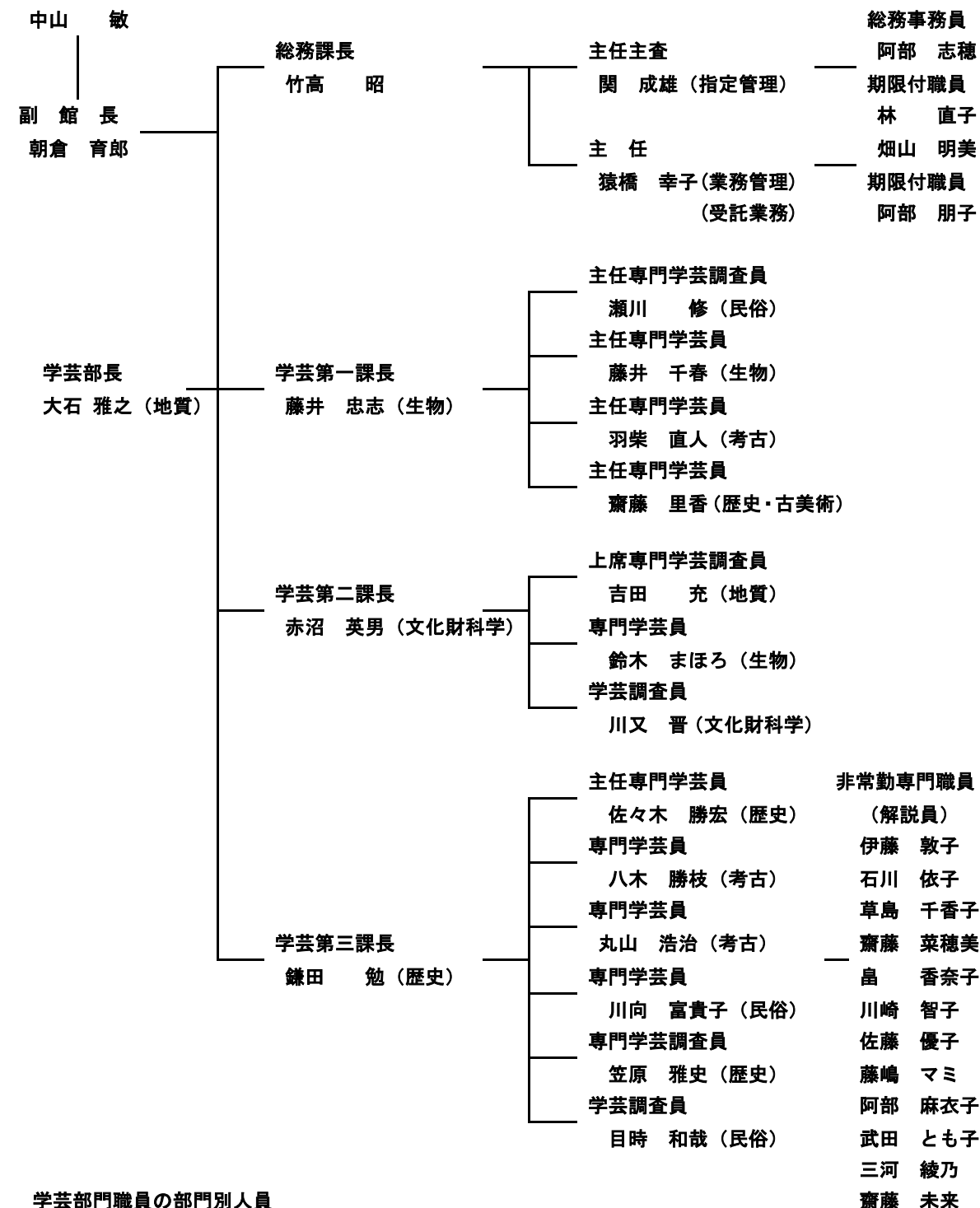
移動展入館者数 545 人

平成 25 年度総利用者数 68,580 人

# 9. 平成 25 年度公益財団法人岩手県文化振興事業団博物館組織図

H25. 4. 1

館長（県立博物館館長兼任）



学芸部門職員の部門別人員

地質	考古	歴史	民俗	生物	古美術	文化財科学	計
2人	3人	4人	3人	3人	(1)人	2人	17(1)人

## 10. 岩手県立博物館使命書

(平成20年3月25日制定)

私たち岩手県立博物館は、岩手県が誇る豊かな自然史及び文化史に関する資料と情報を収集保管して、調査研究によりその資料価値を見出し、成果を展示や教育普及などの事業で公開する全県的な機関として、教育・学術・文化の振興・発展に大きく貢献してきました。

近年の地球環境保全に対する危機意識の高まり、急速に進む国際化及び生活様式の多様化といった社会情勢の変化の中で、県民の学習意欲に応える生涯学習中核機関として、より一層充実した役割を果たすことが期待されています。

このため、私たち岩手県立博物館は、5億年にわたる大地、多様な生物相、縄文・平泉などの歴史の変遷、地域性豊かで多彩な民俗事象を背景とし、広大な岩手の地域的特性を活かしながら新たな価値の発見に努め、県民の要請に応じて県民とともに歩む博物館としての機能を強化し、新たな地域文化の創造を目指して博物館の使命を次のようにまとめました。

### 1 ユニークで多彩な資料の蓄積とその活用に基づく岩手の自然史・文化史の拠点

- (1) 岩手県及び関連する地域の自然や人間の営みの証拠となる資料と情報を継続的に収集・整理して適切に保管・管理し、県民共有の知的財産として次世代に確実に継承していきます。
- (2) 収集した自然史・文化史資料と情報について、自らの研究を通して岩手の地域的特性を明らかにするとともに、グローバルな視点に立って資料の価値を新たに見出します。
- (3) ユニークで多彩な質の高い資料とその情報を各種の事業によって公開・活用し、県民の知的欲求を刺激する場を提供します。

### 2 幅広い交流による知的活動への寄与と新たな地域文化の創造

- (1) さまざまな機関との資料の相互交流を進めながら、県民はもとより国内外に情報を発信し、自然環境や文化遺産の保全を支援して県民の知的活動に寄与することにより、岩手県の教育・学術・文化の振興・発展に貢献していきます。
- (2) 開かれた博物館として県民との積極的な交流を進めながら、自主的な学習の場を提供することにより、県民の生涯学習活動と次世代の育成のための学校教育活動を積極的に支援します。
- (3) 資料を公開・活用する各種の事業について県民の要請に応え、わかりやすく伝える方法を探り、ともに学び、楽しみを分かちあいながら、新たな地域文化の創造と発展に県民とともに取り組んでいきます。

### 3 社会から託された博物館の役割を実現するための基盤整備

- (1) 使命書に基づいて活動計画を立案し、実績を点検しながら、さらによりよい博物館活動を目指します。
- (2) 社会から託された博物館の役割を積極的に実現するために、機能的で効果的な組織と財務基盤を整備し、優れた人材の育成に努めます。
- (3) 県民が集い、交流・活動し、やすらぎと潤いのある、安全・安心で、清潔な、また来たいと感じてもらえる快適空間を提供し、県民の共有財産である収蔵資料の保管・管理機能の整備を図ります。

# 11. 関係条例・規則等

## (1) 博物館条例

昭和 55 年 7 月 15 日条例第 41 号

(設置)

第 1 条 歴史、芸術、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名 称	位 置
岩手県立博物館	盛岡市

(指定管理者による管理)

第 1 条の 2 博物館の管理は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づき教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 1 条の 3 指定管理者は、この条例の規定により指定管理者が行うこととされた業務のほか、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2) その他博物館の利用の促進に関する業務

(入館等の許可)

第 2 条 博物館に入館しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の入館が次の各号のいずれかに該当する場合は、同項の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失するおそれがあるとき。
- (3) その他博物館の管理上適当でないとき。

3 指定管理者は、博物館の管理上必要があると認めるときは、第 1 項の許可に条件を付することができる。

第 3 条 博物館において、館内の資料の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前条第 3 項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第 3 項中「指定管理者」とあるのは、「教育委員会」と読み替えるものとする。

(行為の禁止)

第 4 条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失すること。
- (2) 指定された場所以外の場所にはり紙若しくははり札をし、又は広告を表示すること。
- (3) 静粛を害し、他人に迷惑をかけること。
- (4) 指定された場所以外の場所で喫煙し、又は飲食をすること。
- (5) 立入禁止区域に立ち入ること。

(入館許可の取消し等)

第 5 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、第 2 条第 1 項の許可を受けた者に対し、当該許可を取り消し、その効力を停止し、同条第 3 項の条件を変更し、又は行為の中止、原状の回復若しくは博物館からの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例の規定による処分に違反したとき。

- (2) 第2条第3項の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他の不正な手段により第2条第1項の許可を受けたとき。
- (4) 博物館の管理上必要があると認めるとき。
- (5) その他公益上やむを得ない必要が生じたとき。

2 前項の規定は、第3条第1項の許可について準用する。この場合において、前項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」と、「同条第3項」とあり、及び「第2条第3項」とあるのは「第3条第2項において読み替えて準用する第2条第3項」と読み替えるものとする。

(入館料)

第6条 第2条第1項の許可を受けた者（以下「入館者」という。）は、別表に掲げる入館料を納付しなければならない。

2 前項の入館料は、許可の際に徴収する。

(入館料の免除)

第7条 知事は、次の各号のいずれかに該当する場合は、入館料を免除することができる。

- (1) 教育課程に基づく教育活動として、小学校児童、中学校生徒又は高等学校生徒を引率する者が入館するとき。
- (2) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者（15歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者その他規則で定める者が入館するとき。
- (3) その他知事が適当と認めるとき。

(入館料の不還付)

第8条 既納の入館料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を還付することがある。

- (1) 第5条第1項第4号又は第5号の規定に基づき指定管理者が入館の許可を取り消したとき。
- (2) 入館者の責めに帰することができない理由により利用することができなかつたとき。
- (3) その他知事が特別の理由があると認めるとき。

(損害賠償等)

第9条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、指定管理者の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは「知事」と読み替えるものとする。

(博物館協議会)

第10条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定に基づき、博物館に岩手県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織し、委員は次に掲げる者のうちから任命する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とす



る。

(補則)

第 11 条 この条例の実施に関し、第 6 条から第 9 条までについて必要な事項は知事が、博物館の管理その他について必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

別表 (第 6 条関係)

区 分	個 人	20 人以上の団体
学生	140 円	1 人につき 70 円
一般	300 円	1 人につき 140 円

備考 1 特別な資料を展示した場合において、その資料を観覧しようとする者については、特別な資料の展示を行うのに要した費用を勘案してその都度知事が定める額 (以下「特別入館料」という。)を別に徴収する。

2 幼児に係る入館料並びに小学校児童、中学校生徒及び高等学校生徒に係る入館料 (特別入館料を除く。)は、無料とする。

## (2) 博物館条例施行規則

昭和 55 年 9 月 26 日

規則第 78 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、博物館条例 (昭和 55 年岩手県条例第 41 号。以下「条例」という。)の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(領収書)

第 2 条 条例第 6 条第 1 項に規定する入館料の領収書については、岩手県立博物館管理運営規則 (昭和 55 年岩手県教育委員会規則第 9 号) 第 4 条第 2 項に規定する入館券をもってこれに代えるものとする。

(条例第 7 条の規則で定める者)

第 3 条 条例第 7 条第 2 号の規則で定める者は、次のとおりとする。

- (1) 知事の定めるところにより療育手帳の交付を受けている者 (知的障害者又は知的障害児につき、その保護者が療育手帳の交付を受けている時は、当該知的障害者又は知的障害児) 及びその介護を行う者
- (2) 条例第 7 条第 2 号の身体障害者手帳の交付を受けている者 (15 歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該 15 歳未満の者) 若しくは精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者又は前号の療育手帳の交付を受けている者 (知的障害者又は知的障害児につき、その保護者が療育手帳の交付を受けているときは、当該知的障害者又は知的障害児) と同等以上の障害があると知事が認める者及びこれらの介護を行う者
- (3) 条例第 7 条第 2 号の身体障害者手帳の交付を受けている者 (15 歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該 15 歳未満の者) 又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の介護を行う者

(入館料の免除及び還付)

第 4 条 条例第 7 条又は第 8 条の規定により入館料の免除又は還付を受けようとする者 (以下「申請者」という。)

は、別に定める様式による入館料免除（還付）申請書を知事に提出しなければならない。ただし、知事が別に定める場合にあっては、この限りではない。

- 2 知事は、前項の入館料免除（還付）申請書を受理したときは、その内容を審査し、入館料を免除し、又は還付することを適当と認めるときは、別に定める様式による入館料免除（還付）承認書を申請者に交付するものとする。

附 則（平成21年3月13日規則第7号）

- 1 この規則は、平成21年から4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の県立学校授業料等条例施行規則、学校施設設備基金条例施行規則、高等学校定時制課程及び通信制課程等修学資金貸付条例施行規則、博物館条例施行規則、岩手県に所有権が帰属する埋蔵文化財の取扱いに関する規則及び美術館条例施行規則（以下「県立学校授業料等条例施行規則等」という。）に規定する別に定める様式は、この規則の施行の日以後に提出し、又は交付する申請書等又は通知書について適用し、同日前に提出し、又は交付した申請書等又は通知書についてはなお従前の例による。
- 3 この規則による改正前の県立学校授業料等条例施行規則等に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

### （3）岩手県立博物館管理運営規則

昭和55年9月26日  
教育委員会規則第9号

（趣旨）

第1条 この規則は、岩手県立博物館（以下「博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- （1）月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日以後の日であって当該休日に最も近い休日でない日）
- （2）資料整理日（資料の整理、点検等を行う9月1日から9月10日までの10日間をいう。）
- （3）12月29日から翌年1月3日まで

2 博物館条例（昭和55年岩手県条例第41号。以下「条例」という。）第1条の2に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）は、必要があると認めるときは、博物館の館長（以下「博物館長」という。）の承認を得て、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

（開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。ただし、入館時間は、午後4時までとする。

2 指定管理者は、必要があると認めるときは、博物館長の承認を得て、前項の開館時間及び入館時間を臨時に変更することができる。

（入館許可の申請）

第4条 条例第2条第1項の規定による許可を受けようとする者は、指定管理者が定めるところにより申請しなければならない。

2 指定管理者は、条例第2条第1項の規定による許可をしたときは、指定管理者が別に定める入館券を交付するものとする。

(撮影、貸出等の許可)

第5条 条例第3条第1項の規定による許可を受けよう

とする者は、別に定める様式による資料撮影等許可(変更)申請書又は別に定める様式による資料貸出許可(変更)申請書を博物館長に提出しなければならない。

- 2 博物館長は、条例第3条第1項の規定による許可をしたときは、別に定める様式による資料撮影等許可書又は別に定める様式による資料貸出許可書を交付するものとする。
- 3 資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、博物館長が特に必要と認めるときは、その期間を延長することができる。
- 4 資料の貸出しを受けた者が、当該資料を汚損し、損傷し、又は亡失したときは、速やかに、別に定める様式による資料汚損(損傷、亡失)報告書を博物館長に提出し、その指示を受けなければならない。

(汚損等の届出)

第6条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、速やかに、指定管理者に届け出なければならない。

- 2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは、「博物館長」と読み替えるものとする。

(協議会の所掌)

第7条 条例第10条の規定による岩手県立博物館協議会(以下「協議会」という。)は、博物館長の諮問に応じ、次に掲げる事項に関し、調査審議するとともに、博物館長に対して意見を述べることができる。

- (1) 資料の収集、保管、展示等に関すること。
- (2) 資料の調査研究、利用等に関すること。
- (3) その他博物館の運営に関すること。

(会長)

第8条 協議会に会長を置き、委員の互選とする。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第9条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(補則)

第10条 この規則の実施に関し必要な事項は、博物館長が定める。

附 則(平成21年3月6日教育委員会規則第2号)

- 1 この規則は、平成21年から4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の岩手県教育教員免許状に関する規則、学校教育法施行細則、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則、博物館の登録に関する規則、教育財産管理規則、岩手県文化財保護条例施行規則、岩手県立図書館管理運営規則、岩手県立博物館管理運営規則、岩手県立総合教育センター宿泊施設の利用に関する規則、技能教育施設の指定等の手続きに関する規則、岩手県教育委員会が行う聴聞の手続に関する規則、岩手県教育委員会の所管に属する公益信託の引受けの許可及び監督に関する規則、岩手県教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則、岩手県立美術館管理運営規則及び岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する等の規則附則第3項の規定によりなおその効力を有することとされる廃止前の岩手県教育委員会の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則(以下「岩手県教育職員免許状に関する規則等」という。)に規定する別に定める様

式は、この規則の施行の日以後に提出し、又は交付する申請書等又は通知書等について適用し、同日前に提出し、又は交付した申請書等又は通知書等については、なお従前の例による。

- 3 この規則による改正前の岩手県教職員免許状に関する規則等に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる

## 平成 25 年度岩手県立博物館年報

平成 26 年 5 月 31 日

編 集： 岩 手 県 立 博 物 館

〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷 34

Tel 019-661-2831 Fax 019-665-1214

発 行： 公益財団法人岩手県文化振興事業団

〒020-0023 盛岡市内丸 13-1

Tel 019-654-2235